

流通證書法目次

緒論

一 丁

第一編 流通證書ノ創製

九 丁

第一章 流通證書ノ要素

一 丁

第一節 本質ノ要件

一 丁

第二節 外形上ノ要件

一 丁

第二章 變格手形

三 丁

第三章 約因

三 丁

第四章 對手ノ能力及權限

四 丁

第一節 能力

四 丁

第二節 對手ノ權限

五 丁

第二編 證書ノ流通

五 丁

第一章 引受呈示

五 丁

第二章 引受

六 丁

第一節	引受	六六丁
第二節	榮譽引受	七七丁
第三節	引受ノ効力	七七五丁
第四節	引受人ノ義務消滅	七九丁
第三章	支拂ノ呈示	八五丁
第一節	呈示ヲナスヘキ者ハ何人ナル乎	八六丁
第二節	何人ニ對シテ呈示ヲナスヘキ乎	八八丁
第三節	呈示ハ何時ナスヘキ乎	八九丁
第四節	恩惠期日及期限ノ計算	九一丁
第五節	呈示ノ場所	九四丁
第六節	呈示ノ方法	九五丁
第三章	流通證書ノ移轉	九六丁

第一節	裏書ノ性質及裏書讓渡人ノ責任	九七丁
第二節	裏書ノ對手	一〇四丁
第三節	裏書ノ種類	一〇四丁
第四節	移轉人ノ責任及被移轉人ノ權利	一一一丁
第五節	變格移轉	一一四丁
第五章	法律ノ抵觸	一二五丁
第六章	拒絕證書及略記	一三三丁
第七章	拒絕ノ通知	一三七丁
第三編	手形ノ消滅關係人間ノ責任及手形ニ關スル訴訟	一五二丁
第一章	手形ノ消滅	一五二丁
第二章	手形關係人間ニ於ケル本人	一五二丁

保證人ノ關係	一五九丁
第三章 手形ノ變造及偽造	一六七丁
第一節 變造	一六七丁
第二節 偽造	一七四丁
第四章 紛失手形	一七七丁
第五章 手形關係人間ノ救濟權	一八〇丁
第六章 手形ニ關スル出訴期限	一八二丁

流通證書法目次終

流通證書法 (Law of Negotiable Instruments.)

法學士 岡野敬二郎 講義

校 友 永瀧久吉 編輯

第一回

緒論 (Introduction.)

緒論

流通證書法トハ文字自ラ示セルカ如ク流通證書ニ關スル法律ヲ云フ然ラハ流通トハ如何ナル意義ヲ有スルヤト云フニ裏書及引渡又ハ單ニ引渡ヲ以テ自由ニ一人ヨリ他人ニ轉轉スルヲ得ル證書ノ謂ナリ然レトモ其證書カ單ニ甲者ヨリ乙者ニ移轉スルノ故ヲ以テ流通ト云フニハアラサズ甲者ヨリ乙者ニ乙者ヨリ丙者ニ丙者ヨリ丁者等自由ニ轉轉スルヲ以テ流通トハ云フナリ

諸君ノ熟知セラルカ如ク英國法律ニ於テハ物件ヲ分テ占有產及訴訟產 (Chose in action) ノ二トセリ而シテ其所謂訴訟產ナルモノハ毫モ他人ニ移轉スルヲ得サルコトハ往時慣習法ノ原則ニシテ英國法律家カ一點ノ疑ヲモ容レザリシ處ナリ然ルニ此原則ノ例外ヲ作りタルモノハ即チ流通證書ヲ以テ嚆矢トス現行英國法

流通證書法



流通證書  
ノ特質

一、權利  
ニ關スル  
特質

ニ於テハ訴訟産モ概テ移轉スルコトヲ得ルヲ以テ本則トナスニ至レリト雖モ其  
 移轉スルコトヲ得ルトハ單ニ他人ニ讓渡スルコトヲ得ルニ止マルモノニシテ決シ  
 テ流通スルト謂フニハ非サルナリ而シテ其唯讓渡スルヲ得ルニ過キサル訴訟産ノ  
 讓渡ハ法定ノ條例ヲ履行セサルヘカラサルハ既ニ諸君カ前學年ニ於テ契約法講  
 義ノ際契約讓渡ノ部ニ於テ學ハレタル所ナルヘシ  
 流通スルヲ得ル證書即チ流通證書ハ最モ自由最モ完全ニ移轉スルコトヲ得ル訴  
 訟産ニシテ左ノ特別ナル性質ヲ有スルモノナリ  
 (第一)權利(Title)ニ關スル特質  
 茲ニ馬或ハ其他ノ動産若クハ流通セサル證書ヲ竊取スルモノアリテ之ヲ他人ニ  
 賣渡ストキハ其買主ハ縱令善意ニシテ不正ノ物品ナルヲ知ラス且相當ノ報酬ヲ  
 與ツルモ尙ホ其所有權ヲ得ルコト能ハス何トナレハ真正ノ所有主ハ如何ナル場  
 所ト如何ナル時トヲ論セス其自己ノ財産タルコトヲ證明シテ之ヲ取戻スコトヲ得  
 ヘケレハナリ例ヘハ甲者乙者ノ馬ヲ竊取シテ之ヲ丙者ニ賣却シタリトセンニ縱  
 令丙者ハ其不正ノ品タルコトヲ知ラスシテ充分ノ報償ヲ附與スルコトアルモ乙

二、金額  
ニ對スル  
性質

者ニ對抗シテ其馬ヲ所有スルコトヲ得サルナリ然レトモ流通證書ニ於テハ善意  
 ニシテ充分ノ報償ヲ附與シタルモノハ權利ハ最モ優等ナリト爲シカ故ニ流通證  
 書ヲ竊取シタル者ヨリ之ヲ買受ケルモ其不正ニ出テタルヲ知ラス且充分ノ報償  
 ヲ與ヘタルトキハ世上一般所有者ヲモ含蓋スニ對シテ完全ノ權利ヲ有スルコト  
 ヲ得ヘシ

(第二)金額(Amount)ニ關スル特質

英國法ノ所謂「ボンド」或ハ其他ノ流通セサル證書ノ讓受人ハ其讓渡人ヨリハ優等  
 ナル權利ヲ得ルコト能ハス例ヘハ甲者ハ乙者ニ對シテ千圓ノ貸金アリ乙者ハ甲  
 者ニ對シテ五百圓ノ貸金アリト假定センニ若シ甲者直ニ乙者ニ係リ貸金ノ返辨  
 ヲ訴求スルトキハ乙者ハ甲者ニ對スル五百圓ノ貸金ノ相殺(Set-off)ヲ抗辨スルヲ  
 得ヘシ然ルニ此場合ニ於テ若シ甲者カ其千圓ノ貸金證書ヲ丙者ニ讓渡ストキハ  
 如何ナル法律上ノ關係起生スルヤト云フニ丙者ハ甲者ヨリハ優等ナル權利ヲ得  
 ルコト能ハサルカ故ニ丙者其證書ヲ以テ乙者ヲ訴フルアルモ亦五百圓ノ金額ヲ  
 得ルニ止マルヘシ畢竟スルニ流通セサル證書ハ必ズ移轉ノ際現物ノ隨伴スルモ

三、約因  
ニ關スル  
特質

ハナレハナリ然レトモ流通證書ノ場合ニ於テハ決シテ反訴(Counter action)反求(Com-  
ter claim)或ハ相殺(Set-off)ヲ許サルモノニシテ荷シモ讓受人ニ於テ情ヲ知ラカ  
ルトキハ讓渡人ヨリハ優等ノ權利ヲ得ルモノトス例ヘハ甲者ハ乙者ヨリ一ノ約  
束手形ヲ受取リ乙者亦甲者ニ貸金アリト假定スヘシ此場合ニ於テ甲者ハ其手形  
ニ裏書シ之ヲ丙者ニ讓渡シタリトセシ後日丙者ヨリ乙者ニ對シテ手形ノ支拂  
ヲ請求スルトキハ乙者ハ前例ノ如ク其甲者ヨリ受取ルヘキ金額ヲ差引シコトヲ  
得サルモノニシテ必ス其金額ヲ支拂ハサルヘカラス要スルニ流通證書ハ金額ニ  
關スル取極ノ附隨スルコトナシテ他人ニ轉轉ズルモノト云フヘシ  
(第三約因(Consideration)ニ關スル特質)  
英國法ニ於テハ契約ヲ分テ特種契約(Special contract)及常種契約(Simple contract)ノ二  
種トス特種契約ハ約因ヲ必要トセス唯其結約ノ方式ヲ踐行シタルト否トニ依リ  
テ其有効ト無効トヲ定ムルモノトス夫レ斯ノ如ク特種契約ノ効力ハ單ニ端式ノ  
踐行ニ依テ生ズルモノナルカ故ニ彼ノ捺印證書ハ約因ヲ包含スト云ヘルカ如キ  
説ハ誤解モ亦甚シキモノト云ハサルヘカラス之ニ反シテ常種契約ニ於テハ必ス

約因ノ存在ナルコトヲ必要トス故ニ約因ノ有無ハ其契約ノ効力ノ有無ヲ判定ス  
ルノ標準トナルモノナリ借流通證書即チ爲替手形及約束手形ハ此二種ノ契約ノ  
孰レニ屬スヘキモノナルカト云フニ學者ニ依テ其説ヲ異ニセリ或ハ手形ハ全ク  
商人ノ慣習ヨリ生ズルモノナルヲ以テ特別ノ一種類ト見做スヘシトスルアリ  
或ハ常種契約ニ屬スヘキモノトスルアリ或ハ特種契約ニ准スヘキモノナリトスル  
アリ是等諸説ノ當否ハ措テ問ハス流通證書ハ約因ニ付テハ特種契約ト異ナリ又  
常種契約ト同シカラズ唯法律ニ於テ約因ノ存在ヲ假認スルモノナリ蓋シ反對ノ證  
據ナキ以上ハ手形ノ讓受人ハ約因ヲ供給シタルモノト推測スルニ在リ然レトモ  
此推測ハ法律上之ヲ覆スコトヲ得サルモノニアラサルヲ以テ往々手形所持人ニ  
於テ約因供給ノ證明ヲ爲サハルヘカラスル場合アリト云ハルナリ一ノ流通證書カ不  
法ノ契約ニ基キタルコト明瞭ナルニ於テハ其所持人ハ充分ノ約因ヲ供給シタル  
コトヲ證明セズンハ其權利ヲ全ク得サルナリ例ヘハ甲者アリ乙者ト賭博  
ヲシテ百圓ノ金額ヲ交付セサルヲ得サルニ至リタルモ其當時ニ於テ毫モ金錢ヲ  
所持セカリシカ故ニ該金錢ニ對スル約束手形ヲ作爲シ之ヲ乙者ニ交付シ乙者ハ

之ヲ丙者ニ丙者ハ丁者ニ丁者ハ戊者ニ之ヲ移轉シタリトセンニ戊者ニ於テ甲者ニ係リ其手形ノ支拂ヲ訴求スルトキハ其充分ノ約因ヲ供給シタルコトヲ證明セサルヘカラス而シテ若シ甲者ニ於テ戊者ハ其手形ノ不法ノ契約ニ基キルヲ知リテ讓受ケタルコトヲ證明セハ戊者ハ到底取訴タルヲ免レサルナリ

諸流通證書ナルモノハ以上三個ノ特質ヲ具備スルモノナリト雖モ此他尙ホ一ノ特質トモ云フヘキモノアリ即チ告知ニ關スルコト是ナリ

(第四)告知(Notice)ニ關スル特質

已ニ述ヘタルカ如ク通常契約上ノ權利ヲ他人ニ移轉セントセハ條例ノ規定ニ從ヒ義務者ニ讓渡ノ通知ヲ爲サ、ルヘカラス然レトモ流通證書ナルモノハ自由ニ轉轉スルヲ得ルモノナルカ故ニ毫モ通知ノ必要ナキナリ

以上講述セル所ハ即チ流通證書ノ他ノ證書ト異ナル諸點ノ概要ナリ以下流通證書ノ起源及其沿革ニ就テ一言スル所アラントス

抑モ流通證書ノ起源ニ就テハ議論百出何人カ始メテ手形ヲ作爲シタルヤ又何レノ時日ニ於テ始メテ世上ニ現出シタルヤノ問題ノ如キハ未ダ確定セル學說ヲ得

四、告知ニ關スル特質

流通證書ノ起源及其沿革

ス彼ノ有名ナルポチエー(Pothier)氏ノ如キハ爲替手形カ羅馬人ノ間ニ行使セラレタル事蹟ナキコトヲ斷言セリ

因ニ嘗テ彼ノ雁河ノ雄辯ヲ以テ英名ヲ世上ニ轟シタルシセロー(Giéro)氏カ

羅馬ニ在リテ當時アゼンスニ存留セル其子ニ金圓ヲ送附セントシクリシカ

幸ニ同都府ノ某羅馬ニ滞在シタリタルヲ以テシセロー氏ハ之ニ金圓ノ送達

ヲ依頼セリ然ルニ其旅人ハアゼンス人ニ金圓ヲ貸附シ置キタルヲ以テ同氏

ト相議シ氏ノ子ニ送附セントスル金額ハ之ヲ其旅人ニ拂渡シ又其旅人ハア

ゼンスニ在ル負債主ニ對シテ同一ノ金額ヲシセロー氏ノ子ニ拂渡スヘキ旨

ヲ命令スルコト、セリ此一例ハ羅馬ニ於テ流通證書ノ行使セラレタルコト

ヲ明示スルモノ、如シト雖モ此場合ノ如キハ全ク命令或ハ依頼ニ過キサルヘ

シボチエー氏ノ如キモ之ヲ以テ爲替手形ノ淵源トナスヲ得サルコトヲ斷言セリ

ケント(Kent)氏ハ爲替手形ノ起原ハ恐ランハ希臘人ニ在リト云ヒントーリー(Story)

氏ハ右ノ例ヲ引用シテ爲替手形ハ羅馬人ニ濫觴スト斷定セリ又或學者ハ手形ノ

起原ヲ以テ猶太人ノ間ニアリトシ其理由ヲ説明シテ曰ク往時猶太人ハ歐洲諸國至

ル處ニ虐待ヲ受ケ履々其財産ヲ盜奪セラレタルヲ以テ此禍害ヲ免レンカ爲メニ  
 現金ヲ懷ニシテ旅行スルコトヲ止メ常ニ金圓ヲ代表スル證書ヲ携帶セリ是レ即  
 ナ流通證書ノ起原ナリト此説ノ如キハ大ニ信ヲ措クニ足ルカ如シト雖モ其細密  
 ノ事項ニ至テハ毫モ確知スルコトヲ得サルナリ英國法ハ千三百七年ニ至テ始メ  
 テ爲替手形ヲ採用シタルコトハ歴史ニ徴シテ明確ナル證據アルカ如シ  
 約束手形ハ羅馬人ニ行ハレタレトモ其證書ハ現今ニ於テ流通證書ニ必要ナリト  
 スル處ノ特質ヲ具備シタルモノニアラサルカ如シ而シテ又歐洲大陸ニ於テハ第  
 十七世紀ニ至リ始メテ約束手形ヲ行使シ其後數十年ヲ經テ漸ク英國ニ輸入セラ  
 レタリト雖モ英國慣習法ニ於テ之カ流通ヲ認メタルヤ否ヤノ點ニ就テハ學者ノ  
 間尙ホ定説ナシ之ヲ要スルニ約束手形ハアン(Ant)女王第三及第四年ノ法律第九  
 章並ニ第七年ノ法律第二十五章ニ依テ確認セラレタルヤ疑フヘカラス而シテ此  
 條例ハ約束手形ト國內爲替手形トノ二者ヲ同一視シ同質ナリト認メタルナリ  
 流通證書ニ就テ一ノ法典ヲ編制シタルハ實ニ佛國ヲ以テ之カ嚆矢トス即チ同國  
 ニ於テハ千六百七十三年ノ勅令ニ依リ流通證書法ニ關スル事項ヲ規定セリ然ル

ニ其勅令ハ頗ル簡短ノモノナリシカ故ニ千八百十八年ニ於テ之ヲ那翁法典(Code  
 Napoleon)ノ内ニ包含セシメタリ而シテ歐洲中其他ノ諸國ニ於テモ佛國ノ制度ヲ  
 模倣シテ條例ヲ制定シタルモノ少カラズ即チ白耳義ハ千八百八十年ニ西班牙  
 ハ千八百三十年ニ葡萄牙ハ千八百三十三年ニ於テ各條例ヲ編制セリ而シテ  
 獨逸ハ千八百四十九年又以太利ハ千八百八十三年迄ハ佛國法典ノ主義ヲ遵守シ  
 タレトモ獨逸ニ於テ其主義ヲ變更スルニ及テ以太利ノ法律モ亦其大休ヲ獨逸ノ  
 流通證書法ニ取ルニ至レリ我カ商法草案第一編第十二章ニ於テモ亦手形ニ關ス  
 ル規定アリ殊ニ又爲替手形及約束手形條例ノアルアレハ諸君ハ之ヲ細テ其要點  
 ヲ得ラルニシ

第二回

第一編 流通證書ノ創製 (Book I-making of Negotiable Instru-  
 ments)

爲替手形(Bill of Exchange)トハ振出人ヨリ支拂人ニ宛テ請求次第又ハ確定シタル期  
 限或ハ確定スルヲ得ヘキ將來ノ期限ニ於テ確定セル金額ヲ特定セル人又ハ其邊

流通證書  
ノ創製  
爲替手形  
ノ定義

圖人又ハ持參人ニ支拂フヘシトノ記名證券ニ於ケル無條件ノ差圖ヲ云フ此定義ハ英國千八百八十二年條例第三條一項ニ記載スル所ナリ  
 此定義ヨリ推究スレハ爲替手形ニハ三ヶノ對手ヲ要ス第一振出人(Drawee)第二支拂人(Drawee)第三受取人(Payee)是ナリ例ハ金壹萬圓ヲ或期限迄ニ丙又ハ其差圖人ニ支拂フヘシト甲ヨリ乙ニ振出シタルトキハ甲ハ振出人乙ハ支拂人丙ハ受取人ナリ而シテ支拂人證書ヲ引受ケタルトキハ支拂人ハ其名稱ヲ變シテ引受人(Acceptor)ト謂フ

若シ甲ヨシテ丙ノミニ支拂フヘシト差圖セル手形ヲ作爲シタルトキハ其手形ハ流通ノ性質ヲ帶ヒサルモノナレトモ丙若シハ其差圖人或ハ持參人ニ支拂フヘシト記載スルトキハ其手形ハ流通スルヲ得ルモノナリ而シテ丙ナル受取人證券ニ裏書シテ丁ニ讓渡シタルトキハ丙ハ素ト受取人ナレトモ名ヲ變シテ裏書讓渡人(Indorser)トナリ丁ナル讓受人ハ裏書讓受人(Indorsee)ナル名稱ヲ得ルモノトス  
 約束手形(Promissory note)トハ振出人ニ於テ請求次第又ハ確定セル期限或ハ確定スルヲ得キ將來ノ期限ニ於テ確定セル金額又ハ其差圖人又ハ持參人ニ支拂ラヘ

約束手形ノ定義

シトノ記名證券ニ於ケル無條件ノ約束ヲ云フ此定義ハ英國千八百八十二年條例第八十六條一項ニ載スル所ナリ

此定義ヨリ推究セハ約束ノ手形ニハ二ヶノ對手アルヲ見ルヘシ即チ一人ハ約束手形ヲ作ル振出人(Payer)ニシテ一人ハ手形面ノ金額ヲ受取ル受取人(Payee)ナリトス約束手形モ爲替手形ノ如シ裏書或ハ唯引渡ヲ以テ移轉スルヲ得ルモノナリ而シテ裏書ヲ以テ他人ニ移轉スルトキハ讓渡人ト讓受人ハ裏書讓渡人(Indorser)裏書讓受人(Indorsee)ナル名稱ヲ得亦唯引渡ヲ以テ他人ニ移轉セルトキ單ニ讓渡人(Assignor)讓受人(Assignee)ト云フ彼ノ日本銀行ガ發行スル兌換券ノ如キハ引渡ヲ以テ移轉スルヲ得ル約束手形ノ一例ナリ

今爲替手形ト約束手形トヲ比較セハ其間大ニ異ナルモノアルカ如シ(一)爲替手形ニハ三個ノ對手アリ約束手形ハ唯二個ノ對手ヲ要スルノミ又(二)爲替手形ノ支拂人ハ金圓ヲ支拂フ第一段ノ義務者ニシテ第二段ノ義務者ハ振出人ナリ前例ニ於テ支拂ノ責任アリテ甲ハ第二ニ支拂ノ責任アル恰モ貸借借主ト保證人トノ關係ノ如シ然レトモ約束手形ノ場合ニ於テハ振出人ノ義務者ノ位地ニ在リテ獨

爲替手形ノ約束手形ノ異同



流通證書ノ要素

支拂ノ實ニ任ナルモノナリ是レ二者ノ間ニ存スル外形上ノ差異ニシテ深ク其本質ヲ釋スレハ毫末ノ差アルヲ見サルナリ若シ約束手形ノ受取人證書ヲ他人ニ移轉シタルトキハ其振出人ハ爲替手形ノ引受人ト同一ノ位置ヲ得又裏書讓渡人ハ振出人トナリ裏書讓受人ハ爲替手形ノ受取人ト同一ナルモノナレハナリ

第一章 流通證書ノ要素 (Chapter I-Requisites of Negotiable Instruments)

流通證書ノ要素ニ二個アリ第一本質ノ要件第二外形ノ要件之レナリ内部ノ要件トハ手形ヲシテ流通ノ性質ヲ得セシムルノ要件ニシテ即チ手形ノ本質ニ關スルモノナリ即チ外部ノ要件トハ外形上ノ要件ニシテ即チ手形ノ方式ニ關スルモノナリ是ヨリ節ヲ分テ細論セントス

本質ノ要件

第一節 本質ノ要件 (Section I-Essentials)

手形ノ本質ニ關スル要件ニ七個アリ今左ニ之ヲ列舉シ逐次詳説スヘシ  
第一手形ハ披書タルヘキコト  
第二支拂ノ約束確定スルコト

手形ハ披書ナラザルヘキコト

第三支拂ノ事實確定スルコト  
第四支拂ノ金額確定スルコト  
第五支拂ノ媒介者ハ金圓タルコト  
第六手形ハ單ニ金圓支拂入ミニ關スルコト  
第七引渡

第一 手形ハ披書ナラサルヘキコト  
爲替手形ハ披キタル證券ニシテ差圖ヲ包含シ約束手形ハ披キタル證券ニシテ約束ヲ包含スルモノナリ

手形ハ披書ナラサルヘキコト故ニ彼ノ會社(Corporation)ハ慣習法ニ於テ流通證券ヲ振出スヲ得ストノ制限ヲ生シタル所以ナリ是レ會社ノ所爲ハ何時ニテモ會社ノ印ヲ用ヰルニアラサレハ會社ノ所爲トナズヘキコトナリ今日ニ於テハ條件ヲ以テ商業會社ハ流通證券ヲ振出スヲ得ルモノトセリ  
第二 支拂ノ約束確定セサルヘキコト  
爲替手形ニ於テハ支拂フヘシトノ差圖確定シ約束手形ニ於テハ支拂フトノ約束

支拂ノ約束確定セサルヘキコト

確定スルニ非ラヌシハ流通證書ノ効力ナキモノトス  
 爲替手形ハ其性質上權利ノ請求ナルカ故ニ嘆願希望依頼等ヲ含マサルナリ若シ  
 甲者爲替手形ヲ乙者ニ振出シ丙者ニ手形面ノ金額ヲ支拂フヲ依頼スル如キ例ハ  
 ハ御支拂被下候様奉願候トカ御願申上候等ノ文辭ヲ用ヰルトキハ乙者ハ丙者ニ  
 支拂フモ或ハ支拂ハサルモ全シ其擇フ所ニ在ルカ如シ要スルニ支拂確實ナラサ  
 ルカ故ニ亦流通ノ性質ヲ具フルモノニアラサルナリ約束手形ノ如キモ亦支拂ノ  
 確實ナルニアラヌシハ流通ノ効力ナキナリ振出人證書面ノ金額ヲ支拂フヘシト  
 記スルニ於テハ支拂ノ約束完全ナルヲ以テ純然タル流通證書ナリトスバイルス  
 (Bills) 氏曰ク約束手形ハ其中支拂ノ約束アリト解釋スルヲ得ルトキハ更ニ一定  
 ノ文辭ヲ用ヰルヲ要セサルナリト蓋シ其要領ヲ得タルモノナリ以是甲者乙者ニ  
 百圓ノ負債アリトノミ記入スルニ於テハ負債アルヲ認ムルト雖モ之カ支拂ヲ約  
 スルノ文字ナキカ故ニ約束手形ト謂フヘカラサルナリ然レトモ差圖人又ハ持參  
 人等ノ文字ヲ記入スルトキハ大概約束手形ナリト見做シテ不可ナカルヘシ畢竟  
 本ルニ約束手形ハ證券全体ヲ通覽シテ支拂ノ約束アルモノト解釋スルヲ得ヘキ

モノタルヲ要スルナリ

第三 支拂ノ事實確定セサルヘカラヌ

手形ヲ流通セシムルニハ手形面ノ金額ヲ支拂フニ條件ノ附帶スルモノアルニ於  
 テハ不可ナリトス故ニ若シ英國ヨリ船舶到着セハ支拂フヘシ婚姻ノ約整フニ於  
 テハ支拂フヘシ或ハ余充分ノ資産ヲ得ハ支拂フヘシ等ノ條件アレハ決シテ流通  
 證書タルヲ得サルナリ米國マッサチユセツ州ニ於テハ金額支拂ノ期限確定セルカ  
 又ハ受取人カ自由ニ確定スルヲ得ル期限ナラハ流通ノ性質ヲ有セシムルニ充分  
 ナリトセリ

以上原則ノ適例ヲ示サシニ甲者丁年ニ達セハ證書面ノ金額ヲ支拂フヘシトノ證  
 書ハ流通スヘカラサルモノトス何トナレハ甲者必ス丁年ニ達スト謂フヘカラサ  
 レハナリ之ニ反シ甲者ノ丁年ニ達スル期限ヲ記入スルトキハ甲者ノ丁年ニ達ス  
 ルハ不定ナレトモ丁年ニ達スヘキ期限ハ確定スルヲ以テ流通證書タルニ妨ナキ  
 モトトス

同一ノ原理ニ基キ若シ手形面ノ金額支拂ノ資金ニ制限ヲ附スルニ於テハ流通證

支拂ノ事  
事實確定セ  
サルヘカラ  
ヌ

書ニ非スト大例之ハ甲者手形ヲ振出スル際シ乙者ニ其債權主ヨリ受取ルルキ金額ヨリ支拂フヘシ或ハ丁者ヨリノ預金ニテ支拂フヘシト記ストキハ是支拂ノ資金ニ制限ヲ附シタルモノナルヲ以テ流通セサルモノトス然レトモ唯支拂人ノ賠償ヲ受クル方法ヲ記入スルカ又ハ手形ノ原由ヲ記入スルモ毫モ流通ノ性質ニ關セサルモノナリ例ヘハ甲者乙者ニ金圓支拂ノ差圖ヲ爲シ其俸給ト差引決算スヘシト記スルカ如キハ支拂資金ヲ制限セルニ非ス唯支拂人ニ賠償ノ方法ヲ命ジタルニ過キサルナリ

### 第三回

前回ハ流通證書ニ必要ナル條件第三ノ場合ヲ講述セルヲ以テ今回ハ第四ノ場合ヨリ講述セム

#### 第四 金額確定セサルヘカラス

爲替手形及約束手形ヲシテ流通ノ性質ヲ得セシムルニハ金額ノ確定セルヲ要スルナリ故ニ或ル物品ヲ賣却シ其代金中ヨリ賣却入費或ハ立替金等ヲ引去リ殘餘金額ヲ以テ支拂フヘシト云フカ如キハ流通證書ノ性質ナキモノト云ハサルヘカラス

金額確定  
セサルヘ  
カラス

又甲者乙者ニ對シ總テ丙者ニ貸與セル金額ヲ支拂フヘシト云フカ如キモ亦前例ト同シ其金額漠然トシテ確定セサルヲ以テ手形ノ性質ヲ有セサルナリ然レトモ確定金額ヲ明記セスト雖モ其證書面上金額ヲ確定スルヲ得ルモノナルトキハ流通證書タルヲ妨ケサルナリ例之ハ一坪ニ付キ金十圓ヲ拂フヘシト記載スルモ其坪數ニシテ確定シタルトキハ容易ニ其總金額ヲ算出シ得ヘキ故ニ流通證書ノ性質ヲ失ハスト判決シタル斷例アリ

#### 第五 支拂ノ媒介ハ金銀ヲササルヘカラス

支拂ノ媒介ハ金銀タルヲ要ス物件ヲ以テ支拂フヘシト云フカ如キハ一種ノ特約ニ過キサルナリ

#### 第六 金銀支拂ヲ以テ唯一ノ目的トセサルヘカラス

流通證書ハ其指圖或ハ約束ハ單ニ金銀ノ支拂ヲ以テ目的トセサルヘカラス金圓或ハ物件ヲ支拂フヘシトカ或金圓物品ヲ與フヘシト約スルカ如キハ是亦一種ノ特約ニ外ナラサルナリ

#### 第七 引渡アルヲ要ス

流通證書法

七、引渡  
アルヲ要  
ス

六、金銀  
支拂ヲ以  
テ唯一ノ  
目的トセ  
サルヘカ  
ラス

五、支拂  
ノ媒介ハ  
金銀タル  
ヲササル  
ヘカラス

爲替手形約束手形ニシテ振出人ノ掌中ニ存在スルトキハ其効力ナキナリ故ニ振出人カ其代人ニ手形ヲ引渡スモ未ダ第七條件ヲ充スモノニアラサルナリ代人ノ證書ヲ所持スルハ恰モ振出人自カラ之ヲ所持スルト同一ニシテ本人ハ代人ヨリ何時ニテモ自由ニ該手形ヲ取戻スコトヲ得ルモノナリ

以是觀之爲替手形約束手形ノ場合ニ於テハ現實又ハ解釋上ノ引渡シヲ受クルコトアラサレハ決シテ手形面ノ金額ヲ得ル能ハス而シテ現實ノ引渡シトハ振出人ノ手ヨリ現ニ受取人ニ渡スモノナニ法律上或ハ解釋上ノ引渡トハ現ニ受取人ニ引渡スコトアラサシテ尙ホ引渡シタルト同一ノ効力ヲ生スヘキ所爲ヲナスヲ謂フ假令ハ甲振出人乙受取人ニ證書ヲ引渡サスシテ己ノ代人ナル丁者ニ引渡セルカ或ハ預ケタリトセハ丁者ハ甲者ノ代人若シハ被托者ナリト雖モ若シ甲者丁者ニ該手形ハ丙受取人ノタメニ保有スヘシト命スルトキハ丁者ハ丙者ノ代人若シハ被托者タルニ至ルヘシ此場合ニ於テ手形ハ始メヨリ丁者ノ掌中ニアルモノトヒ丁者カ丙ノ代人若シハ被托人ノ位地ニ立ツトキハ丙者ハ該手形ヲ自ラ所持スルト異ナル所ナシ則チ甲者直接ニ丙者ニ引渡シタルモノト解釋スルヲ謂フナリ

外形上ノ要件

引渡ナルモノハ流通證書ニ欠クヘカラサル要件ニシテ證書ノ効力亦引渡ノ時ニ生スルナリ故ニ振出期限ハ引渡ノ前ニテ履行トスルモ引渡ノ時ヲ以テ證書正當ノ時日トセサルヘカラス

右ト同一ノ原則ニ基キ振出人若シハ裏書讓渡人手形ノ引渡ノ前ニ死去スルトキハ死者ノ動産相續人ハ代テ引渡ヲナスヲ得ス然レトモ受取人若シハ裏書讓受人カ已ニ手形ニ對シテ金圓ヲ與ヘタルトキハ其手形ヲ受クルノ權利アルヘシ

第二節 外形上ノ要件 (§2. Formal Requisites of Negotiable Instruments)

(Negotiable Instruments)

日本商法草按第七百十六條ニ曰ク爲替證書ニハ左ノ諸件ヲ明瞭詳密ニ記載スルコトヲ要ス

- 第一、振出ノ日附及場所
- 第二、爲替金額但文字ヲ以テ記スヘシ
- 第三、支拂人ノ氏名
- 第四、受取人ノ氏名又ハ其差圖セラレタル人若シハ持參人ニ支拂フ旨及満期日

並ニ支拂地

第五、爲替手形ト引換ニ支拂フヘキ旨

第六、振出人ノ署名捺印

又同草案第八百一十一條ハ約束手形ニ記載スヘキ要件ヲ定ム

第一、振出ノ日附及場所

第二、支拂金額但文字ヲ以テ記スヘシ

第三、受取人ノ氏名又ハ其差圖セラレタル人若シハ所持人ニ支拂フヘキ旨

第四、満期日

第五、約束手形ト引替ニ支拂フヘキ旨

第六、振出人ノ署名捺印

右ノ規定ハ或ル點ニ於テハ英國法ト異ナル所アリト雖モソハ追々講義ノ進ムニ從テ了解スル所アルヘシ而シテ是ヨリ余カ講スル順序ヲ示セハ左ノ如シ

第一、日附 第二、金額 第三、支拂期限 第四、支拂地 第五、振出人氏名

第六、爲替手形ニ於テ支拂人ノ氏名 第七、受取人ノ氏名 第八、流通ノ文字

第九、約因 第十、告知 第十一、副署

是ナリ

一、日附

第一、日附

英國ニ於テハ千八百八十二年爲替手形條例第三條第四節ニ爲替手形ハ日附ナキ理由ノミナリ以テ無効トナサスト規定セリ以是振出日附ハ英國法ニ於テハ流通證書ニ欠クヘカラサル條件トシタルニ非ス然レトモ通常振出ノ期日ヲ記入セサルハ甚タ稀ナリ又之ヲ記入スル場所モ亦法律ノ間フ所ニアラズ而シテ證書面ニ日附ヲ記入セスト雖モ口頭ヲ以テ之ヲ證明スルヲ得ヘシ又日附ニ誤謬アリタルモ亦同シ唯手形ノ振出人ハ裏書讓受人ニ對シテハ其日附ノ誤謬アルヲ證明スルヲ許サ、ルナリ何トナレハ裏書讓受人ハ該證書ノ日附ヲ信憑シテ讓受ケタルモノナレハナリ

以上講述セル如ク日附ハ流通證書ノ要素ニ非サルモ定期拂ノ手形ニハ日附ハ殆ト欠クヘカラサルナリ何トナレハ所持人ハ何時ニ支拂ノ請求ヲナシテ可ナルカ又ハ期限ノ至ルヤ否ヤヲ知ル能ハサレハナリ然レトモ手形ニシテ一覽拂ナルカ

二、金額

或ハ請求次第拂フニキモノヲラハ日附ハ左程必要ニアラサルナリ  
 尙ホ一言セサルニカラサルハ手形ノ日附ハ必スシモ動スヘカラサルモノニアラ  
 ルヤコト是ナリ手形振出日附ハ振出ノ前ニスルヲ得ヘシ又後ニスルヲ得ヘシ手  
 形振出ノ時日ト手形ニ記入シアル日附トノ差異ハ流通證書ノ本性ヲ妨ケサルモ  
 ノトス

第二金額  
 證書面ノ金額ハ通常英米ニテハ二種ニ記入ス即數字及文字是ナリ而シテ若シ數  
 字文字ト抵觸スルトキハ文字ヲ以テ正當ノモノトシ之ヲ證明スルノ反證ヲ許サ  
 ルナリ

又手書シタル文字ト印刷シタル文字ト抵觸スルトキハ手書シタルモノヲ以テ有  
 効ノモノトスサレトモ手書シタル文字或ハ印刷シタル文字曖昧不明ナルトキハ  
 數字ヲ以テ金額ヲ定ムヘシ又手形ヲ振出スニ當リ過テ唯數字ノミ記入シタルト  
 キハ之ヲ以テ有効トセサルハナシ

三、支拂期限

流通證書ハ日附後幾日或ハ何ヶ月ト期限ヲ確定スルカ或ハ一覽後幾日又ハ何ヶ  
 月或ハ一覽次第支拂フヘシトスルヲ以テ通常トス而シテ請求次第支拂フヘシト  
 記入スルカ或ハ全ク支拂期限ヲ定メサルトキハ直ニ支拂ヲ請求スルヲ得ルモ  
 ノトス

凡ソ手形ノ年月ヲ算スルニハ必ス曆ニ從フモノナリ或場合ニ於テハ何日又ハ何  
 ヶ月間ニ支拂フヘシ或ハ何ヶ月後通知次第仕拂フヘシト記入スルコトアリ總テ  
 其文字ニ從テ解釋スヘシ

四、支拂地

第四支拂地  
 英國法ニ於テハ流通證書ノ中ニ支拂地ヲ記入スルヲ以テ要件トナサスト雖モ之  
 ヲ記入セハ爲替手形ノ振出人又ハ裏書人ハ満期日ニ於テ證書ノ提供ヲ受ケサレ  
 ハ證書上ノ責任ヲ免ルヘシ然レトモ約束手形ノ振出人或ハ爲替手形ノ支拂人ハ  
 特ニ其旨ヲ明記スルニ非サレハ單ニ之ヲ以テ其責任ヲ免ル、ヲ得ス若シ手形ニ  
 支拂地ヲ定メサルトキハ通常爲替手形ノ振出人及約束手形支拂人ノ居住地ヲ以  
 テ支拂地トナスナリ

第四回

前回ニ於テ流通證書ニ必要ナル條件第四ノ場合ヲ講述セルヲ以テ今回ハ第五ノ場合ヨリ講述スルニシ

五、振出人ノ氏名

第五振出人ノ姓名 (Name of the drawer)

振出人カ流通證書ニ必要ナルコトハ洵ニ明カナル所ニシテ爲替手形ニマレ約束手形ニマレ振出人ノ氏名ヲ明記セサルニ於テハ支拂人ニ於テ引受クハキモノナシヤ否ヤヲ知ルニ由ナク亦ク所持人カ引受ク拒絶セラレタルトキハ誰ニ對シテ拒絶ノ通知ヲナスヘキヤヲ知ル能ハサルナリ  
流通證書ニハ振出人アルヲ要スルヲ以テ之ナキ證書ヲ引受ルトカ若シクハ支拂人ト云フカ如キハ殆ント意味カキ旨ト云ハサルベカラズ之ヲ引受人ノ方ヨリ觀察スレハ振出人ナキ證書ヲ引受クルト云フコトハアリ得ヘカラサルコトニシテ支拂人ハ誰レヨリモ指圖セラレサルニ支拂ヲ引受クルカ如キコトハ道理上決シテナカルヘク此ノ如キ場合ニ振出人ノ氏名記入ナキニ於テハ之ヲ記入スルノ權カハ委託セラレタルモノト假ニ推測スルニシテ雖モ一般ノ原則及ヒ證書ノ性質上

ヨリ見ルトキハ記名ナキノ證書ハ不完全不充分ノモノト云ハサルヲ得サルナリ  
約束手形ノ振出人約束手形ヲ作爲シタルトキハ受取人ハ金額ヲ受取ルノ權アリ又振出人ニ命令シテ誰レニカ支拂ハシムルノ權カアルヲ以テ振出人ハ其手形ノ所持人即チ受取人ニ對シテ不能力ナリトノ理由ヲ以テ支拂ヒテ拒絶スルコトヲ得ル是ヲ以テ受取人ハ幼者已婚婦若シハ瘋癲人ナル場合ニ於テモ振出人ハ常に支拂ヲナサハルヘカラズ

約束手形ニ二種アリ一チ共同約束手形 (Joint note) 他チ共同及各別約束手形 (Joint and several) ト云フ支拂人ハ必ス一人ニ限ルモノニアラス或ハ數人ノ振出人アルコトアリ振出人數人ナルトキハ其責任或ハ共同ナル場合アリ或ハ共同及各別ナル場合アリ

爲替手形ノ振出人ハ通常一己人ナルカ或ハ組合ナルカ或ハ會社ナリト雖モ時トシテハ數人ナル場合アリ若シ振出人數人アルトキハ其手形ノ受取人ハ手形ヲ拒絶通知シ數人各自ニ對シテナサハルヘカラズ

六、支拂人ノ氏名

第六支拂人ノ氏名 (Name of the drawee)

支拂人ノ氏名カ證書ニ必要ナルコトハ其モカ證書上ノ金額ヲ支拂フノ位地ニ立ツキ以テ知ルヘキナリ支拂人ノ氏名ヲ記入スルトキハ其住所ヲモ併記スルモノナリ支拂人ノ氏名ヲ記入セサルニ於テハ其證書ハ不完全ノモノトシテ流通ノ性質ヲ有セサルヘキナリ

七、受取人ノ氏名

第七受取人ノ氏名 (Name of the payee)

受取人ノ氏名モ流通證書ニ必要ナルモノナリト雖トモ英米二法ニアリテハ受取人ノ氏名ヲ明記スルコトヲ要セズシテ確定スルヲ得ルモノナリセハ充分ナリトス  
流通證書上ニ受取人ヲ記サルヘカラサルコトハ法律ノ要スル所ナレトモ其記入ノ方法及記入ノ文詞ニツキテ議論ノ起ル場合往々之アリトス例之ハ滿期日當時ノ會社頭取又ハ支配人ニ支拂フヘシト記入スルトキハ其證書ハ充分ナリサレトモ當時會社ノ頭取又ハ支配人ニ支拂フヘシト記入スルトキハ充分ニシテ有効ナリトス何トナレハ前者ハ期限滿ルマテハ誰人カ支配人ナルヤ頭取人ナルヤ

八、流通文字

第八流通ノ文字 (Words of Negotiability)

之ヲ定ムルヲ得スシテ後者ハ之ヲ確定スルヲ得ルモノナレハナリ  
又約束手形ニ汝ニ若干金額ヲ支拂フヘシト記スニ於テハ汝ナル代名詞ハ誰人ヲ指稱スルモノナルカ之ヲ知ルヘカラス故ニ不充分ナル手形ヨルヲ免レサルヘシト雖モ汝ナル詞ハ誰人ヲ指稱スルモノナリトコトハ書外ノ證據ヲ以テ之ヲ證明スルコトヲ得ルモノナリ  
右ニ掲グル所ノ例ニヨリ之ヲ見ルモ受取人ノ氏名ヲ記入スル方法數多ナルヲ知ルヘシ其方法數多ナルモ之ヲ記入セサル可カラサルヤ明カナリ故ニ甲者カ又ハ乙者ニ支拂フヘシト記入シタルトキハ其證書ハ流通證書ニアラズ何ントナレハ甲ニ拂ハサルトキハ乙ニ拂フヘシト云フニアリテ振出ノ當時誰人ニ支拂フヘキヤ確定セサルモノナレハナリ然レトモ受取人カ數人アル場合ハ毫モ法律ノ關スル所ニアラズシテ數人アルトキ若シ裏書讓渡ス場合ニハ數人共ニ署名スルヲ要スルナリ

通常流通證書ニハ指圖人又ハ持參人ト記載スルモノナリト雖モ此文字ヤ流通證



九、約因

書ニ必要欠クヘカラサルモノコアラシキ其文字キ異ニナルモ同一ノ意味ヲ有  
 スルモノナルニ於テハ不可ナシトス然レトモ或確定セル一人ニ支拂フヘント云  
 フニ於テハ最早流通證書ト云フヘカラス如何ントナレハ受取人キ一人ニ限ルヲ  
 以テ他人ニ譲渡シ他人ヲシテ受取人ヲラシムルヲ得サレハナリ又持參人拂フ場  
 合ニ於ケルモ持參人何某ニ支拂フヘント云フトキハ亦タ同一ナリトス以是持參  
 人拂ノ證書ナルトキハ甲者或ハ其所持人ト記入シ指圖人拂ノ證書ナルトキハ甲  
 者或ハ其指圖人ト記入セサルヘカラサルモノナリ

第九約因ノ文字 (Words of Consideration) ("Value Received")

通常流通證書ニハ約因ヲ受取リシコトヲ記入スサレトモ流通證書ニアリテハ約  
 因アリト法律上推測スヘキヲ以テ只タ明カニ之ヲ記入スルハ推測スヘキヲ明示  
 スルニ過キス故ニ法律上之ヲ記入スルヲ必要トセサルナリ

約因ヲ受ケタリトハ文字ハ約束手形ノ場合ニ於テハ振出人カ受取人ヨリ之ヲ受  
 ケタルヲ意味シ爲替手形ノ場合ニ於テハ三様ニ解釋スルヲ得ヘシ振出人カ受取  
 人ヨリ受ケタリトノ意ナリトスヘク又支拂人カ振出人ヨリ受取シモノト意味ス

十、告知

ルコトアリト雖モ前者ノ解釋其當ヲ得タルモノトス

第十告知ノ文字 (Words of Advice)

振出人カ支拂人ニ通知スルマテ手形面ノ金額ヲ拂ハシメサルカ爲メニ記入スル  
 詞ニシテ證書上取テ必要ナルモノニアラス之ヲ記入スルハ唯證書ヲ變更ヲ防シ  
 ニ出サタルモノナリ

十一、副署

第十一副署 (Attestation)

副署ハ證書ニ必要ナルモノニアラス唯便宜上ヨリ生ゼシモノナリトス

以上順次講述スル所ヲ以テ外形上ノ要件ヲ説キ尽セリ

終リニ臨ンテ一言スヘキモノハ應急支拂人 (Emergency Payee) ノコト之レナリ應急支拂  
 人トハ若シ證書カ正當ニ支拂ハレサルトキハ其急ニ應シテ支拂フモノヲ云フ證  
 書拒絕セラレタルトキ應急支拂人其金額ヲ支拂フタルニ於テハ振出人ハ之ニ對  
 シテ其金額ヲ仕拂ハサルヲ得サルナリ

第五回

本回ハ外國手形ニ關スル事項ヲ講述セム

國外手形

手形ヲ區別シテ國內手形( inland bill)及ヒ國外手形( foreign bill)ノ二種トス國內手形トハ一國內ニ於テ振出シ支拂フモノナリ云ヒ國外手形トハ一國內ニ於テ振出シ他國ニ於テ支拂フモノナリ云フ外國手形ハ通常二通或ハ三通ヲ振出スモノニシテ各手形トシテ獨立セル効力ヲ有スルモノニアラサルモ同時ニ數通ヲ發スル所以ノモトハ元來遠隔セル地ニ運搬スルモノナルヲ以テ火災破船若シテハ盜難ニ遇ヒ或ハ非常ノ延宕ナキヲ保セヌ斯ノ如キ際ニ當リ唯々一通ノ手形ヲ發スルノミナルニ於テハ手形ノ効果ヲ生スル能ハスニテ止ムニシテ故ニ數通ヲ振出ストキハ其間一通ハ紛失スルコトアリトスルモ他ノ一通若シハ二通ハ受取人ノ手裡ニ歸スヘキヲ以テナリ然レトモ同時ニ發セラレタル二通若シハ三通ハ各手形ノ効力アルニ非ス相合シテ一ノ手形ヲ爲スノミニシテ之ヲ一組( set)ト稱ス故ニ國外手形ヲ振出シ或ハ裏書シ以テ他人ニ之ヲ附與セントスルトキハ己ノ所持スル數通ハ不殘之ヲ讓受人ニ引渡サ、ルヲ得サルナリ然レトモ數通相合シ一ノ手形ヲ成スモノナレハ必ス各自ニ他ヲ支拂ハサルトキニ於テノミ支拂フノ條件ヲ記入スルモノトス例ヘハ第一號ニハ第二號第三號ノ支拂ナケ

レハ此第一號ヲ支拂フヘシト記載シ又四通アルトキハ第二號第三號第四號ノ支拂ヲ爲サ、レハ云々ト記入スルモノナリ然ラサレハ爲替金額ヲ二度若シハ三度ニ任拂ハサルヲ得サルカ如キ結果ヲ生スルニ至ルヘシ例ヘハ三通ノ手形ヲ作爲スルニ方リ第一號ニ條件ヲ記入セズニテ第二號ニハ唯第一號ノ支拂ヲ爲サ、レハ云々ト記載シ第三號ニハ第一號第二號ノ支拂ヲ爲サ、レハ云々ト記載スルニ於テハ其三通共ニ之カ支拂ヲ爲サ、ルヘカラス何トナレハ第三號ノ支拂ヲ爲スモ(情ヲ知ラサル)第二號ノ所持人ノ請求ニ對シテ抗辨トナラズ又第二號第三號ノ支拂ヲ爲スモ第一號ニ基テ起リタル訴訟ニ對シテ有効ノ抗辨トナヌコトヲ得サレハナリ (Davison v. Robertson)

支拂人モ亦唯一通ノミニ對シテ引受ヲ爲スヘシ又一通ヲ引受ケタルトキハ他ノモノヲ支拂フヘカラス何トナレハ之カ支拂ヲ爲スモ尙ホ其引受ケタル手形ニ對シテハ責任ヲ免ル、コトヲ得サレハナリ然レトモ若シ其引受ケ爲シタル一通ノ支拂ヲ爲ストキハ其一組ノ手形全体ノ消滅ヲ來スモノトス蓋數通相合シテ以テ一ノ手形タル効力ヲ生スルモノナレハナリ

第二章 變格手形 (Chapter II Abnormal Bills and notes)

變格手形ニ種々アリ手形ニ要スル條項ノ一部ヲ記入セサルカ又ハ曖昧ナルカ或ハ手形ニ要スル對手ノ氏名ヲ記入セサルカ或ハ受取人假設人ナルカ或ハ生存セサル人ナレハ皆變格手形ト稱スルナリ

爲替手形ニハ通常三個ノ對手アリ即チ振出人支拂人受取人はナリ然レトモ振出人受取人同一人ナルアリ振出人或ハ其差圖人ニ支拂フヘシト記セル爲替手形ニシテ若シ振出人ノ他人ニ讓渡シタルトキハ其手形ハ場合ニ從ツテ差圖人拂ヒ成ハ持參人拂ヒトナルヘシ又振出人支拂人同一人ナルコトアリ即チ一己人ニ對シテ手形ヲ振出シタル場合ヲ謂フナリ總テ振出人支拂人同一人ナルトキハ其手形ハ假令ヒ爲替手形ナルコトヲ明言スルモ法律上ノ効果ニ於テハ約束手形ト毫モ異ナルコトナシ又或ハ爲替手形ト見做スモ己ニ引受ケラレタル爲替手形トスヘシ所持人ハ之ヲ約束手形トスルモ爲替手形トスルモ一ニ其選擇ニ在リ約束手形ト見做ストキハ振出人ハ拒却ノ通知ヲ受ケサルモ責任アルヘシ爲替手形ト見做ストキハ己ニ支拂人ノ引受ケタルモノトスルナリ何トナレハ振出人己レニ對シテ手

形ヲ振出シ其手形ニ氏名ヲ記シタルハ己ニ之カ支拂ヲ爲スヘシト約シタルト同一ナレハナリ一組合ニケ所ニ於テ商業ヲ營ミ甲所ニ於テ乙所ノ組合ニ對シテ手形ヲ振出シタル場合モ亦振出人ト支拂人ト同一人ナルノ一例ナリ又或場合ニ於テハ支拂人受取人同一人ナルコトアリ然レトモ己カ己ニ對シテ義務アリト云フハ理論上有ルヘカヲサルコトナルヲ以テ支拂人ト受取人ト同一人ナルトキハ其資格ヲ異ニセサルヲ得ス例之ハ甲者自カラ一ノ職業ヲ爲シ乙者ヨリ其商業ヲ委任セラレタル場合ニ於テハ甲者一己ノ資格ヲ以テ手形ノ引受ケナシ乙者ノ代人タル資格ヲ以テ己之カ支拂ヲ受ルヲ得ルナリ支拂人受取人共ニ甲者ナル同一人ナリト雖トモ一ハ甲者自身ノ資格ヲ以テシ一ハ乙者ノ代人タル資格ヲ以テナシタルモノナレハ手形ノ流通上毫モ差支アラサルナリ

約束手形ハ己ニ講述スル如シ振出人ト受取人トノ二個ノ對手ヲ要スルモノナルヲ以テ己之ヲ振出シ自カラ之カ支拂ヲ受ルカ如キ約束ハ恰モ右手ヨリ左手ニ移スト同シ然レトモ一ニ受取人裏書ヲ以テ他人ニ讓渡シタルトキハ其手形ハ裏書ノ文字ニ從ヒ或ハ差圖人拂ヒトナルヘシ或ハ持參人拂ヒトナルヘシ是米國ノ

定ムル所ナリト雖トモ反對ノ判例ナキニ非ス又英法ニヨレハ振出人ト受取人ト  
 同一人ナルトキハ其所持人ニ裏審ナクシテ他人ニ移轉セシムルノ目的ナリト解釋  
 ス故ニ持參人拂ノ手形ナリ然レトモ受取人ノ氏名振出人ノ氏名ト同シキハ直ニ  
 以テ同一人ナリト推測ヲ下スヘカラスシテ却テ法律上反對ノ推測ヲ下シ反證ヲ  
 舉グルマテハ同一人ニアラスト推測ヲナスモノナリ  
 亦受取人假設人タルコトアリ受取人假設人ナルトキハ法律上之ヲ無効トス何ト  
 ナレハ世人受取人ノ存在スルコトヲ信シ全ク受取人ノミヲ特信シテ手形ノ讓渡  
 シテ受クルコトアレハ從テ詐欺ヲ行フノ媒介ヲ爲ス恐アルヲ以テナリ然レトモ  
 若シ其手形善意ニシテ且ツ約報ヲ與ヘタル人ニ移轉スルトキハ其人ハ完全ノ  
 權利ヲ得ルモノナリ是レ善意ノモノヲ保護スルノ精神ニ出テタルニ外ナラス以  
 是裏審讓受人受取人ノ假設人ナルノ情ヲ知リテ讓受ケタルトキハ假令支拂人カ  
 等シク之ヲ知ルト雖モ決シテ手形上ノ權利ヲ得ルコト能ハス何ソトナレハ法律  
 之ニ救済ヲ與ヘサレハナリ原被告共ニ其原由ノ不法ナルコトヲ知ルトキハ原告  
 ハ常ニ敗訴スルノ理ニシテ之レ被告ノ權利原告ノ權利ニ優レリトノ謂ヒコアラ

クシテ法律ハ不法ノ契約ニ保護ヲ與ヘストノ法理ヨリ生ズルモノナリ  
 手形ニハ通常手形ニ具備スヘキ事項ノ全部ヲ記入セサルコトアリ或ハ日附ノ  
 ナキコトアリ或ハ手形ニ關スル對手ノ氏名ナキコトアリ或ハ金額若シハ期限ノ  
 記載ナキコトアリ此場合ニ於テハ手形ノ所持人ハ其不完全ナル所ヲ補充スルノ  
 權力アリト推測スヘシ故ニ所持人ノカ補充ヲ爲シタルトキハ支拂人ノ責任ハ始  
 ヲリ完全ナル手形ニ於ケルト毫末ノ差異ヲ存セズ故ニ手形ノ所持人ハ金額ヲ記  
 入スヘシ或ハ支拂期限若シハ支拂地ヲ記入スヘシ或ハ支拂ノ條件等ヲ記入スルノ  
 權力ヲ有スルモノナリ而シテ所持人ノ權力ヲ制限スルモ其制限ハ之ヲ知ラサル  
 正當所持人ニ對シテハ其効力ナキモノトス故ニ金額ノ補充ヲ制限シタルニ之ヨ  
 リ一層大ナル金額ヲ記入シ或ハ補充スヘキ期限ヲ定メタルニ之ヲ經過シタル後ニ  
 至リテ補充ヲ爲シ或ハ條件起生ノ際ニ之ヲ爲スヘシトセルニ條件ノ未ダ起ラサ  
 ル前ニ於テ之ヲ爲シタルトキハ其効果如何アルヘキヤ其事情ヲ知ラサル正當所  
 持人ハ充分ナル手形面ノ權力ヲ得ルモノナリ又手形ノ日附記載ナキトキハ手形  
 ノ所持人ハ真正ノ日附ヲ記入スルヲ得ルモノナリ然ルニ日附ヲ誤マリ記入スル

モ情ヲ知ラサル所持人ハ充分ナル權力ヲ得ルモノトス又通常手形面ニ記入スル  
 數字ハ其實手形ノ一部ヲナスモノニアラサルヲ以テ所持人文字ヲ以テ記入スル  
 トキ數字ヨリ多額ノ金額ヲ記入スルモ手形決シテ無効ナルニ非サルナリ  
 已ニ前回ニ講述セル如ク振出人ナキノ手形ハ手形ニアラサルナリ手形ハ振出人  
 アリテ創生スルモノニシテ振出人ナクシテ成立スルヲ得サルナリ然レト  
 モ若シ支拂人其手形ヲ引受ケ又ハ第三章ニ移轉シタルトキ第三章タル所持人ハ  
 振出人ノ氏名ヲ記入スルノ權力アリト推測スルナリ  
 茲ニ注意スヘキハ縱令不完全ノ手形ナルモ必ス振出人引受人若シクハ裏書人ノ  
 記名アルヲ要シ且之ニ印紙ヲ貼用セサルニカラサルノ制限アルコト是ナリ是ハ  
 千八百八十二年ノ條例ヲ以テ始メテ規定セラレタルナリ  
 凡テ手形ハ如何ナル點ニ於テ不完全ナルモ其事情ヲ知ラサル正當所持人ニ移轉  
 シタルトキハ始メヨリ完全ナルト同一ノ効力ヲ有スルモノナリ然レトモ若シ其  
 移轉ヲ受ケタルモノ其事情ヲ知ルトキハ不完全手形ハ不完全手形ニシテ決シテ  
 完全トナリ得ヘキモノニアラズ

第六回

第三章 約因

第三章 約因 (Chapter III Consideration)

流通證書ニ關スル約因ノコトハ已ニ緒論ニ於テ述ベタルヲ以テ諸君ハ其梗概ヲ  
 知得セラレシナラン素ト流通證書ハ捺印證書ノ如ク證書即チ契約ナリト云フニ  
 アラス又常種契約ノ如ク約因ノ存在ヲ證明スルヲ要スルモノニアラス語ヲ換テ  
 之ヲ言ヘハ流通證書ハ場合ニ於テハ必ス約因アリト推測スルモノナリ其推測ヤ  
 一應ノ推測ニシテ確乎不動ノ推測ニアラサルヲ以テ或場合ニハ約因ヲ必要トス  
 ルアリ或ハ約因ノ存在ヲ證明セサルニカラサルコトアリ  
 爲替手形ハ差圖人拂ナルト持參人拂ナルトモ差圖人又ハ持參人ノ詞ヲ記  
 入セサルモ約因アルモノト推測ス然レトモ爲替手形ノ要件ヲ具備セサルモノ  
 流通證書ニ非サルヲ以テ約因ヲ證明セサルニカラズ例ニハ特定金額中ヨリ或ル  
 金額ヲ支拂フヘシ又ハ條件發生セハ之ヲ支拂フヘシ又ハ物品ヲ以テ支拂フヘシ  
 トノコトヲ記入セラルトキハ其證書ハ爲替手形ニアラス爲替手形ニアラサル以  
 上ハ原告所持人ニ於テ約因ヲ附與セルコトヲ證明セサルニカラズ唯若シ證書面

ニ約因ハ已ニ受取リシコトヲ記載セルカ又ハ之ヲ明記セサルモ他ノ文詞ヨリ約因ヲ受取リタルヲ推測シ得ヘキトキハ其責アラサルナリ  
 約束手形モ今日ニ於テハ爲替手形ト同一ノ規則ヲ適用シテ約因アリシモノト推測ス然レトモ英國習慣法ニ於テハ約束手形ヲ以テ訴訟ヲ起スモノハ負債訴式(Debts)ニ因ルヲ得テ約束訴式(Assumpsit)ヲ以テセサルヘカラス約束訴式ハ常種契約ヲ破リシトキニ用ユルモノナリ而シテ約束手形モ亦約束訴式ヲ以テ訴フヘシトセハ常種契約ト同シ約因アルコトヲ證明セサルヘカラサルヲ知ルヘシ然ルニアン女帝ノ時條例ヲ發シテ約束手形ニハ負債訴式ヲ用ユルコトヲ許セルヲ以テ原告ニ於テ約因ヲ證明スルヲ要セズ被告ニ於テ却テ其約因ナキヲ證明スルノ責任ヲ負フモノトス

約因ノ有無ハ直接ノ對手(Immediate parties)間ニ証明スルコトヲ得ルモノナルカ故ニ約束手形ノ振出人受取人ヨリ手形面ノ金額ヲ請求セラレタルトキハ約因ヲ受取ラサルコトヲ證明セハ其請求ヲ免カレ、コトヲ得ルナリ然レトモ其手形一々ヒ第三者ノ手ニ移轉スルトキハ被告ハ二個ノ證明ノ責任ヲ盡サ、ルヘカラヌ即

約因證明  
ノ二大原則

一 元來其證書ニ約因ナカリシコト及原告カ其對手ヨリ得タルトキニ亦約因ナカリシコト是ナリ然レトモ此證明ニ關スル規則ハ場合ノ事情ニヨリ異ナルモノナリト雖モ古來確定セル二大原則アリ是レ今日英米ニ行ハル、モノナリ

(一) 約因缺乏ノ證明ハ原告ニ約因ヲ附與シタルヲ證明スルノ責任ヲ負擔セシメス例ヘハ被告融通ノ目的ヲ以テ他人ノ爲メニ手形ヲ振出し或ハ引受テ或ハ事實負債ナキニ負債アリト誤認シテ手形ヲ作り或ハ贈與ノ目的ニ出テタルヲ證明スルトモ原告ハ已レ約因ヲ與ヘテ得タルヲ證明シスシテ可ナリミルズ對パーパー(Neiss v. Bantex, 1 m & W425)ノ訴件ニ於テローヤンヤナー(Lord Abinger)ノ云ハル有リ證書カ融通ノ目的ニ出テタルトキ即チ無償ノ證書ナルコトノ證明ト全ク約因ナキコトノ證明トハ其間差異アルモノナリ若シ一人アリテ振出人ヲシテ金圓ヲ得セシムルノ目的ヲ以テ其名義ヲ貸セシトキハ必ズ其人ハ約因ヲ得テ其證書ヲ他人ニ移轉セシニ相違ナカルヘシ故ニ流通證書ノ所持人手形面ノ金額ヲ請求スルトキハ法律上其所持人ハ竊盜若シハ詐偽ヲ以テ之ヲ得タルニ非サレハ約因ヲ與ヘテ得タルモノナリト推測シテ可ナリ即チ舉證ノ責ハ被告ニ在リトスト

如何ナル  
對手間ニ  
約因ヲ檢  
査スルヤ

(二)若シ被告ニ於テ元來ノ手形ニ詐欺或ハ背法アルヲ證明シタルトキハ原告ハ己レ其證書ヲ讓受ケタルトキニ約因ヲ附與シテ得タルモノナルコトノ證明ヲナシハルヘカラス蓋シ如何ナル方法ニテ手形ヲ得タルモノナルカ又ハ如何ナル契約ニヨリテ讓受ケタルモノナルヤヲ證明スルハ所持人ニ取リテ誠ニ易々タルコトナリト雖トモ被告ニ於テ證明スルハ極メテ困難ナリト云フコアリ

凡ソ手形ノ支拂人ト受取人トノ間ニ於テハ約因ニ關スル事項ヲ檢査スルヲ得ルモノナリ而シテ此原則ハ直接ニ契約上ノ關係アルモノノ間ニハ何時ニテモ適用スルヲ得ヘシ又手形ノ振出引受ハ裏書ヲ以テ直接ニ契約上ノ關係ヲ生シタルトキハ其關係者ノ間ニ於テハ約因ノ欠乏消滅等ヲ抗辨スルヲ得ルナリ之ヲ要スルニ直接ニ契約上ノ關係アルモノノ間ニ於テハ約因ナケレハ手形上ノ責任ナシト云フヲ得ヘシ此直接ノ關係者ヲ直接對手ト云フ(Immediate Parties)而シテ直接ノ關係ナキ間接對手或ハ隔離セル對手(Remote Parties)ノ間ニ於テハ是等ノ抗辨ハ立ツサルモノトス

如何ナル人ヲ以テ直接對手トナシ如何ナル人ヲ以テ間接對手トナスヤ

直接對手トハ左ノ四者ノ關係ヲ云フ

- 第一 爲替手形ノ振出人ト引受人
  - 第二 爲替手形ノ振出人ト受取人
  - 第三 約束手形ノ振出人ト受取人
  - 第四 爲替手形或ハ約束手形ノ裏書讓渡人ト其直接ノ裏書讓渡人
- 間接對手トハ

- 第一 約束手形ノ裏書讓渡人ト振出人
  - 第二 爲替手形ノ裏書讓受人ト其直接セサル裏書讓渡人
  - 第三 爲替手形ノ受取人ト引受人
- 等ノ關係ノ如ク契約上直接ノ關係ナキモノヲ謂フ而シテ此對手間ニ對シテハ唯マ約因ノ欠乏消滅ハ原告請求ノ抗辯トナサハルナリ故ニ被告所持人ニ對シテ其責任ヲ免カレント欲セハ(一)己レ其責ヲ負担シタルトキニ約因ナカリシコト及(二)原告他人ヨリ得タルトキニ約因ナカリシコトノ二點ヲ證明セサルヘカラス加之原告被告ノ中間ニ在リシモノ約因ヲ與ヘテ得タルナラハ原告ハ此事實ヲ以テ己

ノ請求ヲ全フナルヲ得ヘシ  
 流通證券上ノ約因ハ通常契約上ノ約因ト毫モ異ナルモノニアラス即チ約束ヲナ  
 シタルモノ、利益便利或ハ約束ヲ受ケタルモノ、毀ル損失不便ヲ云フモノナリ  
 契約法上善約因即チ道德或ハ親族上ノ義務ハ約報トハナラサルヲ以テ流通證券  
 ニ於テモ亦同一ナリトス

自己ノ負債

既ニ成立セル負債アルトキ其負債辨償ノツノ約束手形及爲替手形ヲ與フルハ充  
 分ノ約因ヲ以テ與ヘタルモノトス負債ノ返金ニ代ユルニ約束手形ヲ與フルトセ  
 ハ完全ナル仕拂ノ効力アルヤ否ヤニツキテハ議論アル所ニシテ一ハ有條件ノ仕  
 拂ナリト云ヒ一ハ絶對的ノ仕拂ナリト云フコアリ有條件ノ仕拂ナリトハ支拂ノ  
 拒絶ヲ受ケタルトキハ手形ニ依ラス再々ヒ貸金ヲ理由トシテ訴訟ヲナスヲ得ル  
 ノ謂ニシテ絶對的ノ仕拂トハ金額ヲ仕拂ヒタルト同一ノ効力アルカ故ニ貸金ハ  
 已ニ消滅シ假トヒ手形ノ拒絶セラル、コトアルモ只ツ手形ニ依リ訴ヲナスニ過  
 キサルノ謂ナリ然レトモ英法ニ於テハ手形ヲ以テ仕拂ニ代ヘタルトキハ有條件  
 ノ仕拂トナスヲ以テ原則トス斯ノ其効力ニ付テハ議論アリト雖トモ已ニ成立セ

第三者ノ負債

ル負債ニ對シテ流通證券ヲ與フルハ即チ充分ノ約因ヲ以テ與ヘタルモノナリト  
 見テ不可ナカルヘシ  
 例ニエル氏甲者乙者ニ金百圓ノ貸金アリシニ丙者來リテ甲者ニ手形ヲ與ヘタル  
 ノ例ヲ舉ケテ曰ク乙者負債仕拂ノ期限ト丙者カ甲者ニ附與セル手形ノ満期日ト  
 同一ナルトキハ約因ナキモノナリ然レトモ今丙者ノ請求ニヨリ甲者返済ノ期限  
 ヲ延期セシカ或ハ金額ヲ減少セルカ或ハ乙者ニ對テテ訴フルヲ停止シタルトキ  
 ハ甲者ノ損失トナルヲ以テ手形ニ對スル充分ノ約因ナリト

融通手形

手形ノ約因中融通手形(Accommodation Bill)即チ無償ノ手形ハ約因ナクシテ他人ノ  
 爲メニ之ヲ振出シ引受ケ又ハ裏書セルヲ謂フ而シテ此對手間ニ在リテハ約因ナ  
 キコトノ抗辨ハ充分有効ノモノナリ然レトモ若シ其證書正當所持人ノ手ニ移轉  
 シタルトキハ其抗辨ハ成立セサルナリ又報酬ヲ受ケシテ手形ノ裏書ヲナシタル  
 モノ裏書人ニ手形面ノ金額ヲ仕拂フトキハ勿論其金額ヲ最初ノ振出人ニ對シテ  
 請求スルヲ得ルナリ  
 融通手形ハ素ト約因ナクシテ生シタルモノナルヲ以テ苟モ裏書ニヨリ若クハ引



渡シヨリ第三者ノ手ニ移轉セサル間ハ全ク反古同様ノモノナリ故ニ無償ニテ  
裏書シ或ハ引受テ或ハ振出スト雖トモ何時コテモ隨意ニ之ヲ取消スヲ得ルモノ  
ト大然レトモ一タヒ第三者ノ手ニ移轉スルトキハ其責任ヲ免ル、ヲ得サルナリ」  
手形ノ約因ニモ不法ノ約因アルコトアリ不法ノ約因ハ如何ナルモノナルヤ、契約  
法ニ於テ既ニ論了セル所ノモノトナリト信スルカ故ニ茲ニ之ヲ贅セサルヘシ

### 第七回

前回ニ於テ流通證書ノ約因ニ關シタル事項ヲ講シタレトモ未ク盡サ、ル所アル  
ヲ以テ引續キ講述セム

### 不法ノ約因

抑モ不法ノ約因ヨリ成立シタル契約ハ之ヲ不法ノモノトシ全ク無効ヲシムル  
コトハ契約法ノ原則トシテ動カスヘカラサル所ナリ故ニ甲者ノ約束ハ正當ナル  
モ乙者ノ約因カ不法ノモノナレハ甲乙間ニ成立セル契約ハ無効ニ歸スルコトハ  
既ニ諸君ガ前學年契約法ニ於テ講究セラレシナラシ  
元來英國ニ於テハ賭博ハ無効ナリ然レトモ其ノ契約ニ關シテ生スル流通證書ノ  
効力如何ニ付テハ宜シク左ノ二場合ニ注意セサルヘカラヌ

(第一) 甲者乙者ト賭博ヲ爲シ爲メニ百圓ノ負債ヲ醸セリ甲者ハ現金ニテ支拂フ  
ノ代ハリニ百圓ノ約束手形ヲ乙者ニ渡シタリトモ此場合ヨハ法律ハ該約束  
手形ハ不法ノ約因ヨリ生シタルモノト解釋スルナリ故ニ所持人乙者直接ニ甲者  
ニ對シ手形面ノ金額ヲ請求シタルニ甲者其手形ハ不法ノ約因ヨリ生シタルモノ  
ナルコトヲ證明セハ所持人ハ約因ヲ與ヘテ之ヲ得タルヲ證セサルヘカラヌ是ヲ  
以テ正當ノ所持人(即チ該手形ヲ不法ノ約因ヨリ生シタルコトヲ知ラズ相當ノ約  
因ヲ以テ讓受ケタル人)ニ移轉シタルトキハ其所持人ハ甲者ニ對シテ手形面ノ金  
額ヲ請求スルコトヲ得ルナリ

(第二) 甲者乙者ト今日ノ一大問題ナル條約改正事件ガ果シテ斷行セラル、カ若  
クハ中止セラル、カヲ賭シ甲者終ニ乙者ニ百圓ヲ支拂フコト、爲レリ元來此ノ  
契約タル賭博契約ノ一種ナリト雖モ英國法ニテハ約因不法ノ理由ヲ以テ無効ト  
スルニアラサルヲ以テ若シ甲者カ現金百圓ノ代リニ約束手形ヲ振出ストキハ該  
手形ハ約因ナキモノト解釋ス故ニ所持人ハダトヒ該手形タル約因ナクシテ成立  
シタルコトヲ了知スルモ自ラ充分ノ約因ヲ拂ヘシトキハ甲者ニ對シテ手形面ノ

約因一部  
ノ欠乏

金額ヲ請求スルコトヲ得ルモノトスルハ、  
茲ニ又一言講述セサルヘカテ、  
流通證書ノ約因カ欠乏セルカ又ハ其全  
体若シハ一部分カ消滅スルカ又ハ不法ナル場合ニ適用セル原則如何ト云フニ在  
リ併シ此事ナル契約法ノ原則ト異ナルナケレハ其大要ヲ述フルニ止ムヘシ  
先ツ流通證書ノ約因一部分欠乏セル場合ヲ舉ゲンニ甲者アリ乙者ヨリ百圓ノ借  
財アリト信シ現金ヲ支拂フ代ハリニ百圓ノ手形ヲ渡セリ然ルニ實際甲者乙者  
間ノ貸借ハ五十圓ナルヲ發見セリ乙者ハ甲者ニ對シテ百圓ヲ請求セントキハ甲  
者ハ該手形上唯五十圓ヲ支拂フノ義務アルヲ抗辯スルヲ得而シテ此場合ニ尤モ  
注意スヘキ一事ハ其抗辯ヲ主張シ得ルモノハ必ス直接ノ對手間ナルヲ必要トス  
尙ホ換言セハ約因ノ有無ヲ争ヒ得ル對手間タルヲ要シ其間接ノ對手ニ向ツテハ  
決シテ約因ノ如何ヲ以テ抗辯ノ理由トスルコトヲ得ズト云フニ在リ  
又約因カ最初ヨリ全ク欠乏シアル場合ハ直接ノ對手間ニ在リテハ勿論抗辯ノ理  
由トナルヤ明カナリ又流通證書法ノ原則トシテ賣買ノ際ニ爲シタル担保若シテ  
受合ヲ破リタル事實ハ以テ手形ノ訴訟ニ對シテ抗辯ノ理由トスルコトヲ得ズ

對手ノ能  
力及權限

令ハ甲者乙者ノ動産ヲ買ヘリ然ルニ乙者ハ該動産ニ就キ品質ニ關シテ担保ヲ爲  
シタルヲ以テ甲者ハ百圓ヲ支拂フコトヲ約セリ然ルニ未ダ該動産ヲ引渡サズ  
ハル内ニ甲者ハ代價トシテ百圓ノ約束手形ヲ乙者ニ交付セリ後物品ノ引渡ヲ受  
クルニ及ヒ品質ヲ檢スルニ全ク担保ヲ破リタルコト明カナリ此場合ニ在リテ乙  
者カ甲者ニ向テ先キノ手形面ノ金額ヲ請求シタルトキハ甲者ハ乙者カ担保ヲ破  
リシヨリ生セン損害ヲ差引キ支拂フコトヲ主張スルヲ得ス甲者カ自己ノ損害ヲ  
救正セント欲セハ宜シク他ノ方法ニ依リ一ノ訴訟ヲ提起セサルヘカテ此ノ如  
ク規定セシ理由ハ唯手形ヲシテ自由ノ流通ヲサシメシトスルニ在リ然リト雖  
トモ若シ乙者ノ賣ラントセシ物品全ク消滅シタルトキハ豫メ甲者カ渡セシ約束  
手形ハ甲乙間ニ在リテハ無効ナリトスルコトヲ得ルニ在リ  
第四章 對手ノ能力及權限 (Chapter IV Capacity and  
Authority of Parties)  
能力ト云フレカ己レヲ管束スル所ノ契約ヲ締結スルヲ得ルヤ否ヤニ關シ權限ト  
ハ一人カ他人ニ對シテ權利義務ヲ得セシムルヲ得ルヤ否ヤニ關ス茲ニ一人

リ如何ナル契約上ノ權利義務ヲモ得又如何ナル義務ヲモ負担シ得ルモナルト  
 キハ所謂完全ノ能力者ナリトス  
 又乙者アリ甲者ニ代ハリテ契約シ甲者チシテ契約上ノ權利ヲ有シテ若クハ義  
 務ヲ負ハシムルヲ得ルトキハ乙者ハ即チ契約ナル充分ノ權限ヲ有スルモノト云  
 フヘシ之ニ反シ乙者カ甲者ニ代ハリ丙者ト契約ヲ締結シタルモ其契約上ノ權利  
 甲者チシテ得セシノ若クハ義務ヲ負ハシムルコトヲ得スシテ已レ權義ヲ得或  
 ハ負擔セサルヘカヲサルトキハ乙者ハ契約ヲ結フノ能力アルモ甲者チ約束スル  
 ノ權限ナキモノト謂フヘシ

第一節 能力

凡ソ何人ト雖モ契約ニ依リ權利ヲ得義務ヲ負テ得ルハ是レ契約法ノ原則ナレト  
 モ是原則ニハ自ラ例外ナキコアラサルナリ即チ自然ノ原因若クハ法律上ノ原因  
 ヨリ其能力ヲ制限セラレタルモノアリ仮令ヘハ幼者瘋癲人既婚婦若クハ會社等  
 ハ之レ無能力者中ニ入ルヘキモノナリ而シテ是等無能力者ハ如何ナル契約上ノ  
 能力アルヤハ諸君既ニ契約法ニ於テ了知セラレタルヘシ故ニ余ハ本章ニ於テハ

能力

幼者

第一幼者

極メテ其大要ヲ講述スルノミ  
 英國慣習法ニ於テハ幼者ノ契約ハ取消シ得ヘキモノナリ故ニ亦之ヲ確認シテ有  
 効ヲラシムルコトヲ得タリ然ルニ一千八百七十四年彼ノ有名ナル幼者救護條例  
 ナルモノヲ發布シ幼年中心ニ爲シタル過誤失錯ヲ追認スルノ弊ヲ防カントシ終ニ  
 幼者ノ必需品ニ關シタル契約ノ外ハ凡テ無効ノモノトセリ  
 前ニモ述ヘタルカ如ク幼者必需品ニ就テノ契約ハ慣習法ハ勿論幼者救護條例ニ  
 於テモ同シク有効ノモノトス故ニ幼者必需品ヲ買ヒ代價トシテ約束手形ヲ賣主  
 ニ渡スコトヲ得ルヤ否ニ就テハ未ダ判決例ナキヲ以テ隨フテ確定セル規定ナシ  
 ト雖トモ英國手形條例第二十二條ノ精神ハ或ハ手形ヲ與フルヲ得サルモノト爲  
 シタルナラン

第八回

前回ニ於テ幼者ノ能力ヲ説明シ未ダ終ラズシテ止ミタルハ引續キ講述スヘシ  
 幼者ノ結約能力ナル救護條例發布ノ前後ヲ問ハス必需品ニ關シテハ完全ノ能力

ナ有シ依テ取結ヒタル契約ハ總テ十分ノ効力ヲ有ス然レトモ其代價ヲ拂フニ現金  
 ナリテセズ手形ヲ振出タルトキハ該手形ハ有効ノモノナリヤ否ヤ英國法ニ於テ  
 未ク實際ノ判決例アラサルヲ以テ其効力ノ如何ヲ確言スルコト能ハスト雖モ救  
 護條例ノ精神ヲ推究セハ必要品ノ需用ニ關シテ振出ス所ノ手形ト雖モ尙ホ無効  
 ト爲スヘキモノ、如シ又幼者カ組合ニ加入スルトキハ其契約ハ之ヲ取消マテ  
 有効ナリト爲スカ故ニ丁年ニ達スルモ尙引續キ組合員トナリ居ルカ又ハ退社シ  
 タレトモ其旨ヲ世間ニ告知セサレハ丁年ニ達シタル以後ノ組合ノ負債契約等  
 責任ヲ負ハサルヘカラス從テ之カ爲メ組合ノ振出シタル手形ニ對シテモ亦其責  
 任ヲ辭スルコト能ハサルヘシ  
 故ニ一般ノ原則トシテハ幼者ハ手形面ノ責任ヲ負フコトナシト云フヲ以テ足レ  
 リトス即チ手形ヲ振出し或ハ裏書スルコトアルモ幼者ハ其責任ヲ任セサルモノト  
 知ルヘシ然レトモ此手形面ノ責任ナシト云フハ手形上ノ權利ヲ他ニ移轉セシム  
 ルヲ得ヘキヤ否ヤトノ問題トハ全ク其性質ヲ異ニシテ相關聯スルモノニ非ルコ  
 トヲ注意スヘキナリ幼者ト雖モ手形ヲ他人ニ移轉スルハ別ニ何等ノ制限ナキモ

已婚婦

ノニシテ爲替手形條例第二十二條第二項ニ幼者ヨリ手形ヲ讓受タル者ハ手形面  
 十分ノ權利ヲ得ヘシ幼者ヲ取除キテハ手形關係者ニ對シテ其權利ヲ要求スルヲ  
 得ヘシトアルハ蓋シ此ノ事ヲ謂ヒタルモノナリ  
 第二已婚婦 已婚婦結約能力ノコトハ契約法ニ於テ熟知セラル、如ク慣習法ニ  
 テハ全ク其能力ナキモノト爲スヲ以テ手形ヲ振出裏書スルコトアルモ全ク無効  
 ナリシ但千八百八十二年發布ノ條例ヒクトリヤ女王四十五年及四十六年第七十  
 五章以後ハ已婚婦ト雖モ全ク獨立シテ別有財產ヲ所持スルヲ得ルコト、ナリタ  
 ルヲ以テ此等別有產ニ對シテ手形ヲ振出又ハ裏書セルトキハ已婚婦ト雖モ尙ホ  
 其責任ヲ任セサルヲ得サルナリ

癡癩白痴  
酒醉

第三癡癩白痴者及酒醉者此等ノモノカ手形ニ關スル能力ハ一般契約法ノ原則ト  
 少シモ異ラヌ即チ對手人ノ酒醉癡癩ニテ全ク事理ヲ辨セサルヲ知ラヌシテ手形  
 ナ授受シタルトキハ全ク有効ナリトス

會社

第四會社 會社モ亦不能力者ノ一ナリ會社ハ無形人ニシテ常ニ其印章ヲ用サ  
 ルヘカラルヲ以テ手形ヲ振出スコト能ハスト云フヲ以テ英國法律ノ原則ト

大但會社カ商業ヲ營ムモノナルトキハ業務上必要ノ範圍ニ限リ手形ヲ振出ス  
トシ得ルナリ

對手ノ權限

第二節 對手ノ權限

權限トハ已ニ述タル如ク他人ニ代テ或所爲ヲ爲シ他人ヲシテ其所爲ノ結果責任  
ヲ負ハシムルヲ得ヘキヤ否ヲ定ムルヲ云フニアリ而シテ此權限ニ關シテハ人ノ  
關係ニヨリ種々差異アルヲ以テ左ニ列舉説明スヘシ

死者ノ管財人

第一死者ノ管財人 英國法律ニ於テ一人死亡スレバ其不動産ハ「エヤ」即チ相  
續人ニ移リ動産ハ必ス一度管財人ノ手ニ歸スルキナリ(管財人ノ職務タル死者ノ  
遺産ヲ處理スルニ依リテ債權ヲ執行シ負債ヲ償却スル等一切死者財産上ノ權利  
義務ヲ終結セシムヘキモノトス而シテ管財人ヲ撰任スルニ死者ノ遺囑ヲ以テス  
ルコトアリ或ハ其遺囑ナキカ爲メ法庭之ヲ命スルコトアリ遺囑撰任ニ關ルモノ  
之ヲ遺囑管財人ト云ヒ法庭ノ任命ニ依ルモノ之ヲ無遺囑管財人ト云フ)而シテ遺  
囑及無遺囑管財人カ手形ヲ振出又ハ裏書セルトキ死者ノ遺産ヲシテ其責ヲ負ハ  
シムヘキモノナルヤ或ハ管財人自身其責ニ任スヘキモノナルヤ是本項ニ於テ論

スヘキノ要點ナリトス元來管財人ハ死者ノ遺産ヲ所置スルノ權アリ以テ從テ  
死者ノ遺シタル手形ヲ占有スルノ權アリ故ニ管財人ハ或ハ之ヲ引受人ニ提示シ  
支拂ヲ要求シ若其引受ヲ拒絕セラレバトキハ拒絕證書等ヲ作ルノ權アリ約言  
セハ死者カ生存セハ當ニ爲スヘリ又爲スナラント思惟セラルルコトハ凡テ之ヲ  
行フヘキナリ故ニ亦之ヲ裏書シ讓渡シ以テ遺産ヲシテ責任ヲ負ハシムルコトヲ  
得ヘキナリ但裏書ノ際管財人ノ其責任ヲ負ハサルヲ明記セサルトキハ管財人親  
ラ其責ニ任セサルヲ得ス  
又手形ノ讓渡ハ引渡ヲ要スルモノナルカ故ニ死者裏書ノミヲ爲シテ死去セルト  
キハ管財人ハ其遺意ヲ繼グト稱シテ自ラ死者ニ代テ引渡ヲ爲シ以テ讓渡ヲ完了  
スルヲ得ス管財人手形ノ移轉ヲ爲サント欲セハ更ニ自ラ裏書ヲ爲シ且ツ引渡ヲ  
爲サハル可カラステイライ對サレケット(Taylor v. Surge)ノ訴訟事件ニ於テ判事  
ブレイドー(Brydy)氏曰ク讓受人ハ完全ナル所有權ヲ得ルコト能ハス如何トナレ  
ハ讓渡ノ方法ヲ誤リタルモノナレハナリト又衡平法上ノ權利ヲモ得ルコト能ハ  
ス何トナレハ讓渡ノ方法完カラサルナリト

若死者已引渡ヲ爲シテ未ダ裏書ヲ爲ササルコトアリシト爲サハ讓受人ハ衡平法上ノ權利ヲ有スルヲ以テ管財人ニ對シテ裏書ヲ請求シ得ルハ衡平法庭モ亦管財人ニ對シテ特別履行ヲ命令スヘキナリ

故ニ通常管財人ハ手形ヲ振出シ又ハ裏書シテ死者ノ遺産ニ責任ヲ負ハサルコト能ハス只管財人自身責ヲ負フヲ以テ原則トス縱令管財人ノ資格ヲ證書ニ附記スルモ之レ只代理法上所謂資格ノ說明(Descriptive Personae)ナルニ過サルヲ以テ管財人ハ之ヲ理由トシテ手形ノ責ヲ免ルハ得サルニ蓋代理法ニ於ケル代人ノ所爲ニ對シテハ本人其責ニ任スヘシトノ原則ノ例外タル責ヲ負フヘキ本人ナキトシハ代理人其責ニ任スヘシトノ規則ニ相當スルモノナレハナリ

管財人ハ死者ノ有セル手形ヲ裏書シ讓渡シ得ルコト已ニ述ベタルカ此場合ニ於テ手形ニ關スル管財人ノ責任ハ一應遺產高ヲ超ヘキニアラヌ即チ遺產ノ類ニシテ手形ノ責任ヲ盡スニ足ラサルトキハ管財人ハ茲ニ其責ヲ免ル不足額ニ對シテ更ニ自ラ辨償スルヲ要セサルナリ例ハ裏書ヲ爲シタル手形ノ責任千圓アリト爲サソニ遺產ノ高五百圓ニ過サルトキ不足分五百圓ニ對シテハ管財人ニ責任

ナキモノト云フヘシ但此規則タル只手形ノ直接對手間ニ限りテ適用セラルヘキモノナルヲ以テ若其手形ニシテ一度正當所持人ノ手ニ渡リタルトキハ最早此ノ抗辨ヲ爲スコトヲ許サヌ又管財人ニシテ特ニ手形ニ死者ノ遺産ヨリ支拂フヘシトノ記入ヲ爲タルトキハ該證書ハ特別資産ヨリ支拂ハルヘキ債權トナルヲ以テ流通證書タルノ性質ヲ失フヘキナリ

後見人

第二後見人

被信托者

第三被信托者

後見人被信托者共ニ手形ヲ振出シ或ハ裏書シタルトキハ己自ラ責任ヲ負ハサルヘカラス後見人ナリ被信托者ナリトノコトヲ記入スルモ第一場合ト等シク代人資格ノ説明ナリト見做スヲ以テ其記入ノ効力ハ族籍ヲ付記セルニ異ラヌシテ少シモ記名者ノ責任ニ影響ヲ及スヘキニアラス

代人

第四代人 代人ノコトニ付テハ代理法ニテ其詳細ヲ了知セラルヘキヲ以テ肯概ノミヲ説明セン代人カ本人ニ代リテ手形ヲ振出又ハ裏書セルトキ第一ニ起ルヘキ問題ハ代人ハ其委任權内ニテ手形ヲ振出裏書シタリヤ或ハ委任權外ニ出テハ

振出裏書シタリヤノ疑コレナリ蓋越權ノ所爲ニ屬スト爲サハ代人ノミ其責ヲ負  
フヘシシテ本人ニ責ナキヲ以テナリ  
手形上ノ責任本人ニ在リヤ將テ代人其責ニ任スヘキヤヲ定ムルノ規則ヲ説明セ  
ン

第一則 若手形面ニ本人代人ノ姓名ヲ記載シタルトキハ現實ノ署名者ノミ其責  
ヲ負フヘシ  
ブライドリー對ボストン硝子會社(Bradlee v. Boston Glass Co.)ノ訴件ニ於テ  
シヨ一(Chief Justice Shaw)氏曰手形ニ署名スルノ方法ニヨシテ足ラズ故ニ本人代人  
共ニ記名アルトキハ其孰レニ責ヲ負ハシムヘキヤヲ定ムルノ標準ハ代人自身カ  
自ラ責ヲ負フノ意思ヲ以テ記名シ他人ノ姓名ヲ記シタルハ全ク身分ノ資格ヲ示  
ズモノタルニ過キサルカ將代人ハ他人ニ代テ或所爲ヲ爲シ他人ヲシテ其責ヲ負  
ハシメントスルニ在リト例ニ依テ代人乙ト記載セルモ直ニ是ノミヲ以テ乙ハ本人甲  
ニ責ヲ負ハシムヘシトハ見做サズ即チ代人乙ニ支拂ラヘシト記サハ乙一人ノミ  
其支拂ヲ受クルヲ得ヘシ代人ト記名シテ手形ヲ振出タルトキハ代人乙ノミ其責  
任ヲ負フヘキナリ

第二則 何人ト雖トモ手形面ニ其姓名ヲ載セサレハ決シテ本人トシテ責任ヲ負  
フコトナシ蓋手形ヲ以テ取引ヲ爲シ自由ニ其權轉ヲ爲スヲ許シタルトキハ其手  
形面ノ人ノミニ信用ヲ置タリト見做スヲ以テ實際本人アリト爲スモ代人ノ姓名  
ノミ記載セラレタルトキハ代人ノミ其義務ヲ負フヘキナリ即チ解釋法上無式契  
約ノ原則ニ依ラズ有式契約ノ原則ニ從ヘルナリ然レトモ亦代理法ノ原則トシテ  
甲乙二人明ニ代理ノ關係アリト爲ストキハ記名者ノ外別ニ本人ヲ證明シテ共ニ  
其責ヲ負ハシムルヲ得ヘシ之レ蓋證據法ノ原則タル口頭ノ證據ヲ以テ書面ノ證  
據ヲ變スルヲ許サストノ規則ニ抵觸セサレハナリ如何トナレハ書面上ニ明記セ  
ラレタル代人ハ書面ノ明文ニヨリテ責ヲ負ヒ少シモ證據法ノ原則ヲ動サズ只別  
ニ本人アリトコトヲ口頭ニテ附加證明スルコトナレハ即チ口頭ノ證據ヲ以テ  
書面ノ證據ヲ變シタルニ非レハナリサレトモ此規則タル之ヲ手形上ニ適用スル  
能ハス手形ニ在テハ常ニ書面上ノ記名者ノミ其責ヲ負フヘキナリ  
第三則 代人己レノ名義ノミニテ手形ニ署名セルトキハ代人自ラ其責ヲ負サル  
ヘカラズ若代人ニ責任ナシト爲サハ手形ニ對スル責任者ナキモノニシテ即チ手

形ハ無効ヲラサルヲ得ス然ルニ一般證書ハ成ルヘシ有効ニ解釋スヘキヲ以テ此  
場合ニモ代人ニ責任アリト爲ナリ

第四則 代人カ本人ノ名ヲ書スルニ當リ越權ナリシトキハ手形上ノ責任ナキモ  
損害賠償ノ請求ニ應セサルヲ得ス如何トナレハ越權ノ署名ナルヲ以テ本人責ヲ負  
ヘキノ理由ナシ又代人ノ姓名ハ手形而上ニ現レサルヲ以テ代人責ヲ負フヘキコ  
ラニ要スルニ手形ハ無効ニ歸セサルヲ得サレトモ代人ハ己レ其權ナキニ權アリト  
示シタルモノナルヲ以テ偽示或ハ詐偽ニ對シ賠償ノ責ヲ免ルハコト能ハサルヘシ

### 第九回

代人ノ流通證書上ニ於ケル權限ハ代理法ノ原則ヲ以テ說明シ得ヘキモノナルカ  
故ニ代理法ニ所謂追認ノ原則モ亦此場合ニ適用スルヲ得ヘシ代人本人ノ委任ヲ  
受ケヌ又權限ヲ越ヘテ裏書移轉若シシハ引受ケテナシタルトキハ本人其證書ニ  
對シテ責任ナキハ通則タレトモ本人代人ノ爲シタル行爲ヲ追認シタルトキハ始  
ヨリ之カ委任テナシタルト同シシ其實ニ任セサル可カラズ何ントナレハ追認ハ  
事前ニ遡テ効力ヲ生スルモノナリトハ確定不動ノ原則ナレハナリ

### 組合員

第五組合員 組合員ニ關スルコトハ組合法ニ於テ講述スヘキヲ以テ茲ニハ其大  
要ヲ說明シテ止ムヘシ組合員ハ互ニ代人本人ノ關係ヲ有スルモノナレハ代理法ノ  
原則ヲ適用スヘキモノナリ故ニ若シ一人ノ組合員カナシタル所爲ニシテ組合ノ  
目的ヲ違センカタメナルカ或ハ其商業ヲナスニ必要且尋常ノ事項タルトキハ組  
合員全体ヲ緊束スルモノナリ之ヲ要スルニ組合員ノ一人組合ノ名義ヲ以テ手形  
ヲ振出シ又ハ裏書引受テナシタルトキハ組合員全体ハ其證書上ニ責任ヲ負擔セ  
サルヘカラス

以上數回ノ講述ヲ累ネテ漸シ第一編ヲ講了シタルヲ以テ以下第二編ニ進ンテ證  
書ノ流通ニ關スル事項ヲ詳細辨明スル所ナルヘシ

### 第二編 證書ノ流通 (Book II Transfer of Negotiable Instruments)

#### 第一章 引受呈示 (Chapter I Presentment for Acceptance)

爲替手形ニハ三個ノ對手ヲ必要トスルハ已ニ講述セル所ナリ今甲者乙者ニ對シ  
テ手形ヲ振出シ丙者ニ引渡シタルトキハ其證書ヨリ生スル權利義務或ハ其證書  
ヲ生シタル法律上ノ關係ハ全ク振出人ト受取人トノ間ニ存スルモノナルカ故ニ

### 引受ノ効



支拂人ハ己レヨ對シテ手形ノ振出シアリシコトヲ知ラサルハ一般ノ原則トシテ手形ノ所持人ハ支拂人ヨ對シテ己レノ有ル證書ヲ呈示シ引受ヲ請求セサルハカラズ又引受ノ爲メニ呈示サナスハ所持人タルモノ、利益ナリト云フヘシ何トナレハ所持人ハ之ガ爲メニ手形面金額ノ支拂ヒヲ受クルノ担保ヲ得ルモノナレハナリ即チ支拂人證書ノ引受ヲ肯セサルトキハ其引受拒絕ヲ理由トシテ所持人ハ己レヨリ以前ノ對手ニ通知サナシテ直ニ起訴スルヲ得ルナリ加之又振出人ハ利益トナルヘキモノナリ何ソトナレハ若シ支拂人證書ヲ引受クサルトキハ振出人ハ支拂人ニ委託セル資金ノ取戻ヲ請求スヘクレハナリ呈示サナサス支拂期日ヨ至リテ始メテ引受クサルノ事實ヲ知ルモ其間ニ於テ支拂人ノ資産上ニ變動ヲ生シ或ハ破産サナスカ如キコトナキヲ保ス可ラズ然ラハ遂ニ委託ノ資金ヲ失フカ如キ危険アラシ之レ豫メ引受ノ呈示サナシ若シ拒絕セラレタルトキハ直ニ取戻スノ便レルヨ若カサルナリ

支拂人ハ引受サナス前ニ於テハ手形面ノ責任ヲ負擔スルモノニアラズ然レトモ一タヒ引受ヲ承諾シタルトキハ復タ之ヲ取消スヘカラズシテ其實ニ任セサルヲ

得<sup>レ</sup>斯ノ如ク所持人ハ引受ノ呈示サナスヘキヲ通常一般ノコトナリトスルモ手形ノ性質上呈示ヲ必要トスルモノト又必要トナサルモノトアリ(一)覽後定期拂ノ手形ヨアリテハ一覽スルマテハ決メテ手形ノ満期日ヲ知ルコトヲ得サレハ必ズ引受ノ爲メニ呈示サナサハルヘカラサルコト自明ヨシテ呈示サナサハルニ於テハ引受人ニ其責任ヲ生セズ(二)證書面ニ引受ノタメ呈示スルコトヲ明記シタル場合(三)支拂人ノ住居或ハ商店以外ノ場所ニ於テ支拂サナスヘキモノナルトキハ支拂ノ請求前ニ於テ之ヲ呈示セサルヘカラズ此等三個ノ場合ヲ除ク外引受ノ呈示ハ必要ナルモノニアラズ故ニ手形ノ支拂期限確定セルカ或ハ日附後若干日ト確定シタルトキハ所持人支拂期限ニ至ルマテ何時ニテモ引受ノ呈示サナサヲ得ヘキナリ他ナシ振出人ハ満期日ヨ至ラハ支拂ヲ爲メノ資金ヲ支拂人ニ交付セシモノトスレハナリ

覽後拂ノ手形ヨアリテハ所持人ハ引受ノタメニ手形ヲ呈示スルカ或ハ相當ノ期限内ニ之ヲ他ニ移轉セサルヘカラズ若シ所持人ヨシテ二個ノ方法ヲ採ラサルトキハ振出人及裏書人ハ其手形ニ對スル責任ヲ免ル、ナリ然レトモ所持人他

人ニ讓渡サ、ル可ラストスルモ直ニ讓渡スヘシトノ義ニアラズ相當期限内ニ移  
 轉スヘシト云フコアリ其果シテ相當ノ時限タルヤ否ヤハ法律上一定ノ標準ヲ示  
 スコト能ハス故ニ所持人或ハ一ヶ月間自己ノ手ニ留置スルヲ相當トシ或ハ十日  
 ノ留置ヲ不相當トナシタルノ判例ナキニアラズ相當ノ時日ヲ經過シタルトキハ  
 振出人裏書人ハ共ニ其責任ヲ免カル、モノナルカ故ニ從テ此議論ノ起ルヲ見ル  
 所以ナリ

今茲ニ一ノ判決例アリ其事實ハ原告九日(金曜日)倫敦ヨリ二十哩ヲ隔ツル地ニ  
 於テ一覽後一ヶ月内ニ倫敦ニテ支拂フヘキ手形ヲ受取りタルモ翌十日(土曜日)ニ  
 ハ郵便ノ差立ナキカ故ニ次週ノ火曜日ヲ以テ支拂人ニ引受ノ呈示ヲナシタリ此  
 二日ヲ經過シタル訴件ニ於テ相當ノ期限内ニ呈示セルモノナリト判決セラタリ  
 (ツライエ) 對ヒル (E) 又一ノ判決例ニハ或ル一地方ノ銀行倫敦ニアル本店銀  
 行ニ對シテ一覽後拂ノ手形ヲ振出シタリ而シテ原告代人某ハ之ヲ裏書讓受ケ一  
 週日ノ後ニ原告ニ送付シ原告ハ又二日ヲ經過シテ之ヲ支拂人ニ呈示セリ然レト  
 モ未タ支拂人ニ呈示セサル以前已ニ振出人ハ身代限ヲナシタルヲ以テ支拂人ハ

之レカ引受ヲ拒絕シタリ而シ其事實ニ因レハ若シ原告代人讓受ケタル後直ニ本  
 店ニ送付シタルトキハ後二日ヲ經過シテ原告カ呈示ヲナスモ其當時尙ホ振出人  
 ハ身代限ヲナサハリシナリ裁判官ハ之ニ對シテ相當期限内ノ呈示ナリト判決シ  
 タリ(シエート Shute 對 Robins)

是等ノ訴件ヨリ見レハ相當ノ期限ハ法律上一定セサルコトヲ知ルニ足ルヘシ故  
 ニ相當期限ナリヤ否ヤヲ判定スルニハ振出人ノ振出セル場所或ハ裏書ヲナシタ  
 ル場所ト支拂地ノ距離其地ニ行ハル、慣習各場合ノ事情状態ニヨリ定ムルヨリ  
 外ニ方法アラサルヘシコレ全ク事實ノ問題ナリヤ將テ法律事實ノ混同セル問題  
 ナルヤ疑點ノ存スル所ナリト雖トモ予テ以テ之ヲ見レハ法律事實ノ混同セル問  
 題ナリト見做スヲ妥當ナリトス  
 引受呈示ヲナスモノハ所持人又ハ其代人ニシテ呈示ヲ受クヘキモノハ支拂人又  
 ハ其正當ニ委任セラレタル代人ナリトス若シ二人以上ノ支拂人ナルトキハ其支  
 拂人ハ組合員ナルカ將テ否ヲサルカヲ區別セサルヘカラス果シテ組合ノ關係ア  
 リトセハ支拂人ノ一人ニ呈示ヲナストキハ全体ニ對シテ効力ヲ有シ又一人ノ之

呈示ヲ爲  
 スモノ  
 呈示ヲ受  
 クヘキモ  
 ノ

一般引受  
制限引受

引受タルトキハ全体ノ引受ト見做スヘシ然レニ組合ノ關係ナキトキハ各支拂人ニ對シテ呈示シ各支拂人ノ引受ナカルヘカラズ支拂人死去シタルトキハ其引受ノ呈示ハ管財人ニナスヘク支拂人ノ死去ハ引受ノ呈示ヲ消滅セシムル一原因タルヲ以テ所持人ハ引受ノ拒絶セラレタルモノトナスヲ得ルナリ若シ又支拂人身代限ヲナシタルトキハ引受呈示ハ身代限ヲナシタルモノ或ハ管財人ニナスヘキモノトス此場合ハ死去ノ時ト異ナリ身代限ヲナスモ拒絶セラレタルモノトナスヲ得サルナリ

又支拂人手形ノ呈示ヲ受クルトキハ其引受クサナスヘキカ將々之ヲナサハルヘキヤチ熟考スルカ爲メニ通常二十四時内ノ猶豫アリ故ニ此二十四時内ハ所持人ハ支拂人ニ手形ヲ預クルヲ得ヘシ而シテ支拂人此猶豫日ヲ經過スルモ引受ケサルトキハ呈示ヲナシタル所持人ハ引受ノ拒絶セラレタルモノトナスヲ得ルナリ

手形ノ引受ハ通常一般引受(Absolute or General Acceptance)ニシテ所持人亦一般引受ヲ請求スル權利アリ一般引受トハ振出人ノ命シタル通りニ引受クルモノヲ云ヒ若シ振出人ノナシタル通りニセズシテ或ハ金額ノ半ヲ支拂フヘシ或ハ月賦支拂ヲ

ナシヘキコトヲ引受ケタルトキハ之ヲ制限引受(Qualified Acceptance)ト云フ支拂人一般引受キナサスニテ制限引受ヲナシタルトキハ所持人ハ之ヲ以テ手形ノ引受拒絶セラレタルモノトナスヲ得ルナリ然レトモ所持人ニシテ其制限引受ヲ承認セントセハ其旨ヲ振出人ヨリ自己ニ至ル仲間對手ニ通知セサルヘカラズ其對手明カニ制限引受ヲ認ルルカ或ハ又暗ニ之ヲ認メタリトスル能ハサルトキハ振出人及裏書人ハ其責任ヲ免ルヘシ然レトモ若シ振出人裏書人制限引受ノ通知ヲ受ケテ相當時日内ニ其認否ノ通報ヲ與ヘサルトキハ所持人ハ凡テ之ニ同意シタルモノト見做スヲ得ヘキナリ是レ英國手形條例第四十三條第二項ノ明示スル所ナリ

第十回

第二章 引受 (Chapter II Acceptance)

引受トハ支拂人カ振出人ノ差圖ヲ承認シタル素形ヲ云フモノナリ故ニ支拂人振出人ノ差圖ニ從ヒ手形面ノ金額ヲ支拂ハシコトヲ認メタルトキハ之レ即チ手形ノ引受ナリ例之甲者手形ヲ乙者ニ振出シ手形上ニ八百圓ヲ二ヶ月内ニ丙者ニ支

引受ノ定

拂ハシコトヲ記載セリ乙者甲者ノ指示セルカ如ク手形面ノ金額ヲ支拂ハシコト  
ト同意シタルトキハ引受ケタル人ナリトス乙者手形ヲ引受ケタルトキハ支拂人ナ  
ル名義ヲ變シテ引受人(Acceptor)ト稱スルナリ

支拂人ハ手形ノ引受ヲ認ムルマテハ手形上ニ責任アルナシ故ニ假令支拂人振出  
人ヨリ手形面ノ金額ヲ支拂ノ資金ヲ受領シタルトキモ尙ホ所持人ニ對シテハ直  
ニ支拂ハサルヘカヲサル責任ナシ唯々商業上ノ慣習トシテ引受クヘキモノナル  
コトノ責任ヲ有スルノミ然レトモ若シ振出人特ニ手形面ノ金額ヲ支拂フヘキ  
メニ資金ヲ支拂人ニ與ヘタルトキハ支拂人ハ法律上引受ノ責任アルナリ而シテ  
引受ヲ爲サレハ所持人ハ拒絕ノ通知ヲナシ何人ニ對シテモ請求ノ權利ヲ生ス  
ルモノトス

引受ニ二種アリ即チ支拂人自ラ手形ヲ引受クルモノト全ク手形ニ關係ナキ第三  
者カ引受ケタルトキトノ二種之レナリ以下之ヲ分論セシ

### 第一節 引受

茲ニ引受ト云フモノハ支拂人自ラ引受ケタル場合ニシテ手形ノ引受ヲナスハ支

拂人或ハ支拂人ノ代人ニ限ルモノナリ若シ支拂人假設人ナルカ又ハ幼者已婚婦  
等ニシテ契約ヲ締結スル能力ナキトキハ引受ノ拒絕トナスヲ得ヘキナリ又組合  
員ハ其引受ヲ以テ其共同組合員ニ義務ヲ負ハシムルコトヲ得ルナリ然レトモ支  
拂人二人以上アリテ組合ノ關係ナキトキハ支拂人ハ凡テ引受ケサナサルヘカ  
ラズ然ラサレハ手形ハ引受ケラレサルモノト見做ス而シテ一人或ハ二人ニシテ  
手形ノ引受ケサナシタルトキハ其ニ責任アリサレトモ同シ手形ニ連帶責任ナキ  
各別引受人アルコトヲ得サルナリ例之甲者乙者ニ貨物ヲ供給スルニ當リ丙者其  
保證人ヲラヌンハ將來其貨物ヲ送致セサルヘント云ヘルニ丙者其保證人トナル  
コトヲ承認セリ依テ甲者ハ乙者ニ貨物ヲ送致シタルトモ甲者ハ直ニ乙者ヨリ代  
金ヲ賸取ラヌシテ乙者ニ對シ手形ヲ振出セリ因テ乙丙二人共手形ノ引受ヲナシ  
タリト假定セハ甲者ハ乙者ニ對スルモ丙者ニ對スルモ手形支拂ノ請求ヲナスコ  
トヲ得ルヤト云フニ丙者ハ唯々甲者ニ對スル乙者ノ保證人ナルヲ認諾シタルモ  
ノナレハ引受人トシテ第一ノ責任ヲ負フヘキ人ニアラズ故ニ甲者ハ丙者ニ對シ  
テ手形面ノ金額ヲ請求スルヲ得ス

又手形ノ引受ヲ爲スニハ完全ノ手形タルヲ要セズ或ハ振出人自己ノ名義ヲ記載セズ其他手形ノ不完全ナルトキト雖トモ之ヲ引受クルニ於テハ毫モ差支アラザルナリ手形ノ振出人或ハ裏書人自己ノ名義ヲ記入スルノミヨシテ手形ニ書スルキコトヲ記入セサルモ受取人之ヲ填寫スルノ權アルハ已ニ述ヘタル所ナリ故ニ支拂人不完全ナル手形ノ引受ヲ爲シタルトキト雖モ引受人タルノ責任ヲ免レザルナリ

支拂人ハ或ハ未ダ手形ノ成立セサルニ引受ヲ爲スヘキヲ約スルコトアリ古來手形ノ引受ハ必ズ書類ヲ以テ之ヲナサハルモ口頭ヲ以テ引受ケタルコトヲ約束スルトキハ引受ノ効力充分ナリシ然レトモ手形ノ所持人支拂人ニ對シテ其約束ノ利益ヲ得ントスルトキハ必ズ其所持人ハ約束アリタルヲ知リテ手形ヲ讓受ケタルコトヲ要ス若シ之ヲ知ラスシテ讓受ケテナシタルトキハ其利益ヲ得ル能ハサルナリ然レトモ現行法ニ於テハ口頭ノ約束ハ無効ノモノトシ古來ノ法ヲ變更シタリシヨシ第四世第一年第二年條例第七十八章ニヨレハ引受ハ手形ノ振出サル、前ニ書面ニ記入スルコトヲ得ルモ國內手形ノ引受ヲナスニハ手形面ニ引受ノ

引受ノ種類

コトヲ記入セサルハカラス故ニ豫約セル引受ハ効力ナキモノト云フヲ得ヘキナリ  
 手形ヲ引受クルニハ期限來リタルトキニ引受ヲナスアリ或ハ請求次第支拂フヘキ責任アルモノアリ又一タヒ引受ヲ拒絕シ支拂ヲ排拒シタル後更ニ引受ヲナスコトアリ又手形ノ引受期日ハ手形ニ記入セル日附ヲ以テ真正ノ日限トス然レトモ若シ手形面ニ日附ノ記入ナキトキハ期限來ラサル前ニ引受ケラレタルモノニシテ其期限ニ先ツ相當期限内ニ引受ケラレタルモノト推測ス  
 引受ヲ大別シテ二種トナシ一チ一般引受一チ制限引受トス  
 第一、一般引受トハ支拂人振出人ノ差圖ニ變更ヲ加ヘズ絶對的ニ引受ケタルモノヲ云フサレトモ一般引受ナルモノハ通常一般ノ引受ナレハ若シ支拂人手形面ニ引受ノ文辭ヲ記入スルカ又ハ其姓名ヲ記ストキハ一般引受ナリト推測ス  
 第二、制限引受トハ支拂人振出人ノ差圖ニ多少ノ變更ヲ加ヘテ引受ケタル場合ヲ云フ而シテ制限引受ニハ五種アルヲ以テ以下列説スヘシ  
 (一)條件引受(Conditional acceptance) 條件引受トハ支拂引受ヲナス當時積荷證書ヲ引

渡ストキハ引受シヘシ又ハ財産アルトキハ引受ヲナスヘシト云フカ如シ條件ヲ付帶スルモノナリ

(二)限額引受 (Partial Securance) 甲者乙者ニ金百圓ヲ二月後ニ支拂フヘキコトヲ記載セルコ乙者ハ五十圓ヲ引受ケタルカ或ハ其一半ハ貨物ヲ與フヘシト引受ケタルトキハ全ク五十圓ノ引受ニ過キサルヲ以テ之ヲ限額引受ト稱ス

(三)限地引受 (Local Acceptance) 支拂人特ニ支拂ノ場所ヲ定メ他ノ場所ニテハ支拂ハサルコトヲ記入スルトキノ如シ

(四)限期引受 (Qualified as to time) 是レハ支拂人手形面ニ記載スル期限ヨリ長キカ或ハ短キ時ヲ撰ヒテ引受ケタルナリ

(五)限人引受 (Qualified as to parties) 支拂人數人アルニ其一人唯リ引受ケナシタルトキ之レナリ

制限引受ハ以上ノ如ク五種アリト雖トモ手形所持人ハ制限引受ヲ受クルノ義務ナキヲ以テ或ハ之ヲ拒絶シ或ハ之ヲ承認スルコトヲ得ヘシ若シ制限引受ヲ拒絶シタルトキハ所持人手形ノ引受ヲ拒絶セラレタルモノトシテ處置スルヲ得ルモ

ノトス然レトモ若シ所持人之ヲ承認シタルトキハ其承認セル通知ヲ以前ノ對手ニナサハルヘカラス何ントナレハ通知ヲ與ヘスニテ之ヲ承認シタルトキハ凡テ手形ノ對手ハ全ク其責任ヲ免カルモノトス若シ手形對手ニシテ所持人ヨリ通知ヲ受取リシニ拘ラヌ相當ノ期限内ニ承認セサル通知ヲ與ヘサルトキハ同意シタルモノト見做ズナリ制限引受ヲ承認スルニ明意ノモノアリ或ハ包意ノモノアルヲ以テ必スシモ明意ノミニ限ラサルコトヲ注意スヘキナリ

第二節 榮譽引受 (Acceptance Supra Protest

OR FOR HONOR)

榮譽引受トハ全ク手形ニ關係ナキ外人手形ノ引受ヲナス場合ヲ云フ故ニ榮譽引受ハ手形支拂人之レカ引受ケテ拒絶シタルトキニ限ルモノトス之ヲ別チテ二種トス

一、支拂人引受ケテ拒絶シタル場合

二、支拂人引受ケナシタルモ支拂ノ資力ナキ場合 (Protest for better security)

是レナリ以下之ヲ詳論スヘシ

榮譽引受ノ二種類

榮譽引受

第一支拂人手形ノ引受ヲ拒絕シタルトキハ、第三者ハ所持人ノ承諾ヲ以テ振出人ノ爲メ、或ハ裏書人ノ爲メ、引受ヲナスコトアリ、故ニ引受ヲナス當時何人ノ名譽ノ爲メニ引受ヲナスコトナルヤヲ記載セサルハカラス、若シ何人ノ爲メニ引受ケサナスコトヲ明記セサルトキハ、振出人ノ爲メニ引受ケタルモノトス、裏書人一人ノメ名譽引受ケサナシタルトキハ、其名譽引受人ハ其人并ニ其人ヨリ以下ノ對手ニ支拂責任ヲ負フヘキナリ、而シテ其人ヨリ以前ノモノニ對シテハ訴訟ヲ提起スル權利ヲ有スルモノナリ、若シ第三者振出人ノ爲メニ榮譽引受ケサシタルトキハ、其榮譽引受人ハ振出人以下ノ人ニ對シテハ起訴スルヲ得ス、榮譽引受ケサス方法ハ引受人證人ト共ニ公證人ノ前ニ至リ何人ノ爲メニ名譽引受ケサシタルヤヲ公言シ之ヲ手形ニ記入スルコトアリ、即チ (Accepted for the Honor) ト記スルカ如シ、名譽引受人モ一ノ引受人ナルカ故ニ勿論手形ノ責任ヲ負擔スヘキナリ、又一タヒ引受ケサシタルトキハ、後日復シ之ヲ取消スヘカラス、而シテ名譽引受人ニ手形支拂ノ責任ヲ負ハシムルニハ左ノ三條件ヲ具備セサル可ラス、

第一條件 手形所持人ハ榮譽引受ケタルモ、支拂期限ニ至レルトキハ、支拂人ニ對シ、再ヒ支拂ヲ請求セザル可カラズ、支拂人ハ已ニ名譽引受ノ前ニ拒絕シタルモノナレハ、之ニ對シテ支拂ノ請求ヲ爲スノ必要アラサルカ如シト雖トモ、引受ケテ拒絕シタル時ト支拂期日トノ間ニ於テ、振出人手形ノ金額ヲ支拂フ財產ヲ支拂人ニ交付シタルヤ知ル可ラス、蓋シ其以前ニハ未ダ振出人ヨリ資金ノ交付アラサルカ故ニ之ヲ理由トシテ拒絕セルモノナルヤ得テ知ル可ラサレハナリ、

第十一回

榮譽引受人ニ責任ヲ負ハシムルニハ三ヶノ條件ヲ必要トシ、第一條件ニ一タヒ拒絕セラレタルモ期限ニハ再ヒ之ヲ支拂人ニ呈示セサル可ラサルコトヲ述ツ、リ榮譽引受ハ全ク一ノ從約ニシテ有條件ナルモノナリ、即チ其條件トハ支拂人手形ノ支拂サナサルトキニ始テ榮譽引受人支拂ノ義務ヲ負フモノナリ、ホア  
 對カセノ一マ (Hobbs v. Gazenoze) ノ訴件ニ於テ「ロード」エレノホロー曰ク、榮譽引受ノ効力ヲ生スルハ支拂人頑然其支拂ヲ拒絕シ、因テ拒絕證書ヲ作りタルトキニアリト故ニ最初ハ拒絕セラル、モ再度呈示サナサルハカラス、

第二條件 所持人支拂人ヨリ支拂ヲ拒絕セラレタルトキハ再ヒ拒絕證書ヲ作ラサルヘカララズソハ所持人榮譽引受人ニ責任ヲ負ハシムル爲メニ必要ナルト又榮譽引受人己レカ引受ナシタル人ニ責任ヲ負ハシムル爲メニ必要ナルニアリ

第三條件 所持人期限ノ來レル時榮譽引受人ニ證書ヲ呈示セサルヘカラズ

同一手形ニツキテハ決シテ連帶責任ナキ二人以上ノ引受人アルヘカラサルモ榮譽引受人ニアリテハ二人以上ノ格別引受人アルモノナリ一人ハ甲ノ爲メ一人ハ乙ノ爲メニ榮譽引受ヲ爲シ見ルヘシ榮譽引受人ハ一タヒ其手形ノ支拂ヲナシタルトキハ己ノ引受ヲ爲シタル以上ノ他人ニ對シテハ支拂金額ヲ請求スルノ權アリ又同時ニ榮譽引受人ハ己レカ引受ケテナシタルヨリ後ノ對手ニ對シテハ支拂ノ義務アリトス

(第二) 支拂人一タヒ手形ヲ引受ケタルモ其後身代限ノ處分ヲ受ケ或ハ實際手形ヲ支拂フノ資力ナキニ至リタルトキハ假令其期限ハ至ラサルモ拒絕證書ヲ作ルコトヲ得ルナリ此榮譽引受ハ支拂人一タヒ手形ヲ引受ケタル後ニシテ支拂ノ期限至ラサル前ニアルナリ而シテ所持人ハ拒絕證書ヲ作ラサルモ振出人裏書人ニ對スルノ權利ヲ失フニ非ス期限ニ至リ支拂人ニ於テ支拂ヲ爲サズハ振出人

引受ノ効力

第三節 引受ノ効力

及裏書人ニ對シテ手形面ノ金額ヲ請求スルコトヲ得ルヤ疑ナキナリ

支拂人手形ノ引受ヲナシタルトキニ其引受人第一ノ義務者即負債主トナルモノトス故ニ若シ支拂人引受ヲナシタルトキハ爲替手形ハ約束手形ト同一ノ効力ヲ有スルニ至ルヘシ換言セハ爲替手形ノ引受人ハ約束手形ノ振出人ト同一ノ位地ヲ占メ爲替手形ノ振出人ハ約束手形ノ受取人ト同一ノ位地ヲ占ムヘシ爲替手形ニアリテハ引受人ハ第一ノ義務者ニシテ振出人以下ノ對手ハ悉ク保證人ノ位地ニ立ツモノトス然レトモ此支拂人ニ對シテ一タヒ手形ヲ引受ケタルモ實際其支拂ヲナサハルトキハ決シテ振出人ニ對シテ自ラ支拂フヘキ金額ニ對スル約因ヲ請求スルヲ得ズ未ツ支拂ハサレハ振出人ヲ以テ己ノ負債主トナスヘカラサルカ故ニ引受人實際ノ支拂ヲナシ振出人ヲシテ其責任ヲ免レシムルマテハ振出人ヲ以テ己ノ負債主トナスヲ得ズ此原則ハ所謂融通手形ノ場合ニモ同シク適用スルヲ得ヘキナリ支拂人ハ振出人ヨリ約因ヲ得タルモ又得サルモ實際ノ支拂ヲナサズマテハ振出人ヲ以テ負債主トナス可ラス



支拂人手形ノ引受ヲナシタルトキハ引受人ハ以下ノ事項ヲ承認セルモノトナス  
ヘシ

引受ノ効

(一)振出人ノ存在 支拂人手形ノ引受ヲナシタルトキハ手形ヲ成立セシムル必要  
事項ハ悉ク承諾シタルモノトナスヲ以テ振出人アルコトモ亦認めタルモノトス  
故ニ若シ所持人ノ訴ヲ受ケタルトキハ振出人不在ナルカ故ニ此手形ハ無効ナリ  
トシテ其責任ヲ免ルヘカラサルナリ換言セバ引受人ハ振出人ノ存在セサル證據  
ノ提出ヲ禁セラレタルモノニシテ之ヲ禁反言(Estoppel)ト云フ

(二)振出人ノ署名 支拂人ニシテ手形ノ引受ヲナシタルトキハ振出人ノ署名ノ眞  
正ナルコトヲ認めタルモノトス故ニ假令實際ニ於テハ振出人ノ署名ハ偽造セラ  
レタルモノナルモ引受人ハ責任ヲ負ハサルヘカラス

(三)振出人ノ支拂資金ヲ有スル事 支拂人ハ手形金額ノ支拂ニ充ツルガメ振出人  
ヨリ資金ヲ受ケルコトヲ承認セルモノナルカ故ニ支拂人ハ未ダ振出人ヨリ資金  
ヲ受取ラサルヲ口實トシテ支拂請求ヲ拒絕スヘカラス假令振出人ト支拂人トノ  
間ノ關係ハ如何ナル景狀ニアルモ即チ財產ヲ未ダ受取ラサルモノトシテ手形ヲ引

受ケタルトキニテモ支拂ノ義務ヲ盡サ、ルヘカラス

(四)振出人ノ振出スヲ得ヘキ能力 支拂人ハ一タヒ手形ヲ引受ケタルトキハ振出  
人振出能力ヲ有スルコトヲ認めタルモノナリ故ニ振出人幼者ナルカ或ハ既婚婦  
ナルカ或ハ癡癲者ナルカ或ハ未ダ成立セサル會社ナルノ理由ヲ以テ其責任ヲ免  
カル、ヲ得サルナリ

(五)受取人ノ裏書スヘキ能力 支拂人ハ受取人ノ裏書スヘキ能力アルコトヲ認  
タルモノナレハ其能力ナキコトヲ後日立證スルヲ許サ、ルナリ  
以上支拂人ノ承認セルモノト見做スヘキ場合ヲ説明シタレハ以下承認セルモノ  
ト爲スヘカラサルモノヲ明示セム

(甲)受取人ノ署名 引受人ハ受取人ノ署名ノ眞正ナルコトヲ認めタルモノニ非ラ  
ズ故ニ又裏書人ノ署名モ正當ノモノト認めルヲ得サルナリサレハ引受人ハ裏書  
ノ虚偽ニ屬スルコトヲ主張シテ拒絕スルコトヲ得、又一タヒ支拂ヲナシタル後  
ニテモ之レカ理由ヲ以テ取戻シテ請求スルコトヲ得ルナリ

(乙)裏書ヲナス代理 他人振出人ノ爲メ手形ヲ振出ストキハ引受人ハ振出人ト

其人トノ間ニ代理ノ關係ヲ有スルモノナルコトヲ認メタルモノナリ然レトモ是ハ唯リ振出ニ關スル代理ノ關係タルニ過キヌシテ裏書ニ關スル代理人ニアラズ振出ノ委任ヲ受ケタルモノハ必ズシモ裏書ノ委任ヲ受ケタルモノト云フ得サレハナリ況ンヤ一ハ財産獲得ニ關スルモノニシテ一ハ財産ノ移轉ニ關スルモノナルヲヤ

〔丙〕手形面ノ條項 手形面ニ記入セル條項ハ誠實ナリト認メタルモノニアラズ支拂人手形ヲ引受ケタルコトアルモ實際手形面ニ記載スル文字變更セラレタルコトアレハ其理由ヲ以テ支拂ヲ拒絕スルコトヲ得ルナリ然レトモ引受人ノ支拂ヲ拒絕スルヲ得ルヤ否ヤハ振出人ニ責任ヲ負ハシムルコトヲ得ルヤ否ヤヲ以テ定メサルヘカラス振出人手形振出ノ當時容易ニ書換ユルヲ得ルカ如ク記入シタルトキハ振出人ニ過失アリ振出人ニ過失アリトモハ振出人ニ責任ヲ負ハシムルコトヲ得ルヤ否ヤレハ又引受人ニ責任ヲ負ハシムルヲ得ルナリ Langton v. Layarus 5 B & W 628-9; Ward v. Allen 2 note 57

### 第十二回

## 第四節 引受人ノ義務消滅 (Extinguishment of Acceptors liability.)

引受人ノ義務消滅ノ法律ノ作用

引受人ノ義務ハ左ノ五個ノ場合ニ於テ消滅ス以下之ヲ詳論スヘシ  
第一、法律ノ作用 (Operation of Law)  
引受人ノ義務ハ引受サナシタル場所ノ法律ニヨリテ消滅スルモノニシテ引受人カ倒産サナシタルカ或ハ所持人ニ對シテ出訴期限ノ經過ヲ理由トシテ答辯サナシタル場合ノ如シ

### 二、支拂

#### 第二支拂 (Payment)

契約ハ履行ニヨリテ消滅スヘキモノナレハ手形ノ場合ニ於テモ之ト同一ニシテ引受人カ支拂サナシタルトキハ全ク消滅ス之レ獨リ引受人ノ責任ヲ免カル、ニアラズシテ他ノ對手モ共ニ責任ヲ免カル、モノナリ尙ホ支拂ニ關スル事項ハ後章ニ於テ之ヲ詳述セン

### 三、削去、除名

#### 第三削去或ハ除名 (Cancellation)

手形ハ所持人若シハ其代人カ任意ニ手形ヲ消去スルトキハ全ク消滅ス故ニ其手

形面ニ責任ヲ有スルモノハ共ニ皆ナ其責任ヲ免カルベシ加旃其餘名セラレザルモノ、ミ責任ヲ免カル、ノミナラス其人ニ對シテ償還請求權(Right of Recourse)ヲ有スルモノ、責任モ亦消滅スヘキナリ之ヲ要スルニ引受人ノ氏名ヲ削除シタルトキハ振出人裏書人全体ノ責任ハ共ニ消滅シ振出人ノ氏名ヲ除去スルトキハ裏書人ノ責任消滅シ裏書人ノ氏名ヲ除去スルトキハ其裏書人以下ノ責任ヲ消滅ス然レトモ引受人カ振出人ノ融通ノ爲メニ手形ヲ引受ケタルトキ引受人ノ氏名ヲ除却セハ振出人ノ責任モ從テ消滅スヘキモノナルヤ否ヤハ一大疑問ノ存スル所ナリサレトモ若シ受取人ノ融通ノ爲メニ手形ヲ引受ケタル場合ニ於テ振出人ノ氏名ヲ除去スルモ爲メニ受取人ノ責任ヲ免レヌ何トナレハ受取人ハ振出人ニ對シテ償還請求權ヲ有セサルヲ以テナリ

手形對手ノ氏名ヲ除去スルハ必ズ故意アリテ之ヲナシタルコトヲ要ス故ニ錯誤或ハ所持人ノ委託ナリシテ消除シタルトキハ決シテ其効力ヲ有セサルナリサレトモ氏名ノ除去アリシトキハ法律上一應責任ノ免除セラレザルモノト推測スヘキカ故ニ故意ニアラサルカ又ハ錯誤ヨリ生シタルナリト主張スルモノニ其證

明ノ責任アリ

第四釋放(Discharge)

バイルズ氏曰ク單純契約ハ違約前ニアリテハ捺印證書モ又約因ヲモ要セスシテ釋放スルコトヲ得ルモノナリトサレトモ之レニハ多少ノ制限ヲ加ヘサルヘカラス即チ契約スルモ未ダ結約者其義務ヲ履行セサルトキハ相互ノ合意ヨリ之ヲ取消スル得ヘシ然レトモ一方已ニ其義務ヲ履行セルトキ他ノ一方其義務ヲ免レントセハ捺印證書若シハ特ニ約因ナカルヘカラス單純契約ニ於テ一方カ義務ヲ履行シタルトキハ他ノ一方ノ義務ハ故ナク消滅スヘキモノニアラサレハナリトハ契約法一般ノ原則ナリ然レトモ茲ニ一ノ例外アリ即チ爲替手形約束手形是レナリ何トナレハ流通證書ハ商業取引ノ便宜上ヨリ成立スルモノニシテ各國間ニ融通セシムヘキモノトスサレハ今甲國ニ於テハ捺印證書ヲ用ヘサレハ消滅セヌ約因ナリシハ依然トシテ義務成立ストナシ乙國ニ於テハ捺印證書若シハ約因ナリシテ義務ヲ釋放スルヲ得ルトセハ一國ニ於テ已ニ免除セラレタル義務モ他國ニ於テハ未ダ之ヲ認メサルカ如キ弊ヲ生シ到底流通證書ノ目的ヲ達スルヲ得サルニ至ラソ

況ンヤ英國ニ於テノミ捺印證書約因ノ法律ヲ嚴格ニ適用スルニ於テハ國際私法  
 上困難ヲ醸成セサラント欲スルモ豈ニ得ヘケンヤ苟モ斯ル理由ナルカ故ニ單リ  
 國外手形ニ於テノミ之カ必要ヲ認ムヘシト雖トモ英法ニ於テハ國內手形ノ場合  
 ニ於テモ尙ホ之ヲ適用シ居レリ  
 釋放カ充分ノ効力ヲ有スルコトニ關シテハ他ノ理由アリ若シ所持人カ手形ノ對  
 手ノ一人ニ對シテ義務ノ釋放ヲ與フルコトヲ明言シタルトキハ其人ハ所持人ノ  
 言ニ隨テ其位置ヲ變動スルコトアリ茲ニ適用スヘキ一ノ判決例アリ(ホット對  
 トレウカー)其事實ハ所持人ハ振出人ノ財產ヲ占有シ其財產ヲ以テ充分ニ支拂ヲ  
 受クルノ望ミヲ有セリ而シテ支拂人カ振出人融通ノ爲メニ手形ヲ引受ケタルヲ  
 知リナカラ引受人ニ手形ノ支拂ハ振出人ニ請求シ引受人ニ對シテハ請求セズト  
 告ケリロード、エレンボロー曰ク原告即チ所持人ノ支拂人ニ明示セシコトハ其支  
 拂ノ責任ヲ免カレシムルニ絶對的無條件ノ効力アルモノニシテ引受人ハ其義務  
 ヲ免カル換言スレハ所持人ハ撰擇シタルカ故ニ振出人ニ對シテ其權利ヲ有スル  
 ニ過キズ<sup>レモ</sup>條件付ノ釋放ナリトセハ振出人ハ第一ニ支拂ノ義務アルモノニシ

二六

テ振出人支拂ハサルトキ引受人始テ支拂ノ義務ヲ負擔スルモノナリト此訴件ニ  
 於テハ引受人其受取人ヨリ釋放ヲ受ケタルモノナリト判決セラレタリ  
 釋放ハ引受人ノ義務ヲ免レシムルノ効力アルモ必ズシモ明意ノ釋放タルヲ要セ  
 ストノ議論アリ「ザングウオー」對「ダウ」(Dingworth v. Dinsdale)ノ訴件ニ於テ  
 アシヤスト氏曰ク明意ノ免除ニアラサレハ全ク其効ナキモノナリト云ヒ又ウヰ  
 ルス氏ハ沈黙ハ釋放ヲナスニ足ラスト明言シ尙ホ曰ク今日ニ至ルマテ包意釋放  
 ニ關スル訴件ハ一モ之レアルナシトブルラル氏ハ明意ノ約束ニアラサレハ決シ  
 テ引受人ノ義務ヲ免除スルノ効力ナシト云ヘリ然ントモ免除ノ性質ヨリ論究ス  
 ルトキハ包意即チ暗黙ノ釋放ナキノ理由ハ頗ル解シ難キ所ナリ唯研究スヘキ問  
 題ハ引受人ノ義務ヲ免レタルヤ否ヤニシテ免除ノ方式ヲ問フニ非サルヤ明ナリ左  
 スレハ書面口頭ヲ以テセサルモ其事情ヨリ推測スルニ足ルヘキモノナレハ敢テ  
 必ズシモ明意アルヲ要セサルナリ  
 所持人引受人ニ對シ支拂ノ請求ヲ延期シ或ハ猶豫シ或ハ又振出人ヨリ利子ヲ受  
 取ルカ如キ事實ハ引受人ノ義務ヲ免除スル理由トナラズ又手形ノ振出人満期日

又ハ其後コ於テ引受人ニ對スル權利ヲ放棄スルトキハ手形全ク消滅ス然レトモ  
 唯一人ニ對シテ其權利ヲ放棄セルトキハ決シテ手形全部ヲ消滅セシムルカ如キ  
 コトアルナシ唯シ手形ノ對手一人義務ノ釋放ヲ得ケルコトアルモ正當所持人ノ  
 權利ハ之レカ爲ニ影響ヲ受ルコトナシ例之甲乙丙ノ引受人アリシトキニ所持  
 人ナル戊ハ丙ニ對シテ義務ヲ免ズルコトヲ明言セリ故ニ丙ハ戊ニ對スルノ責任  
 ナキハ明瞭ナルモ其手形已ナル正當所持人ニ移轉スルトキハ己ハ丙ニ對シテ請  
 求スルノ權アリトス

五、優等  
ナル担保

第五優等ナル担保 (Higher Security)

契約解除ノ原由タルニ埋没 (Mergent) ナル原則アリテ單純契約既ニ存スルニ同對  
 手間ニ又同一事件ニツキ捺印證書ヲ作ルトキハ單純契約ハ捺印契約中ニ埋没シ  
 捺印契約ノミ契約者間ニ効力ヲ有スルノミ流通證書ノ義務ニ換ユルニ捺印證書  
 ヲ作ルトキハ流通證書ハ捺印契約中ニ埋没ス然レトモ捺印證書ヲ作ルトキハ特  
 ニ流通證書ハ消滅セスト記載スルトキハ埋没ノ効果ヲ生セサルナリ

第十三回

第三章 支拂ノ呈示 (Presentment for payment chapter III)

爲替手形ノ引受人又ハ約束手形ノ振出人ハ期限來ルトキハ金額ノ支拂ヲ約束ス  
 ルモノナリ其約束ハ絶對的ノ約束ナルカ故ニ期限來後ニ支拂ノ請求ヲ受クル  
 モ之ニ應ゼサルヘカラサルノ義務ヲ有スセシ唯請求期限ヨリ起算シ已ニ出訴期  
 限ヲ經過セルモノナルトキハ支拂請求ノ權利ナシ亦之ニ應タル義務ヲキナリサ  
 レトモ爲替手形ノ振出人裏書人ノ責任ハ條件附帶ノ約束ニシテ所持人之ニ責任  
 ナシ負ハシメントセハ必ス期限來レルトキニ手形ノ呈示ヲナシ而シテ支拂ノ拒絶  
 セラレシルトキハ拒絶通知ヲナサハルヘカラス若シ之ヲナサハルトキハ振出人  
 裏書人ハ其責任ヲ免ル、モノトス之ヲ要スルニ爲替手形ノ引受人約束手形ノ振  
 出人ハ仮令支拂ノ呈示期限ヲ經過スル後ナルモ其責任ヲ免レスト雖トモ其振出  
 人或ハ裏書人ハ期限來レルニ所持人特別ノ理由ナシテ呈示ヲナサハルトキハ  
 其責任ナキモノトスルニアリ

呈示ニ關スル事項ヲ左ノ六節ニ分テ詳述スヘシ即チ  
 第一、呈示ヲナスヘキモノハ何人ナル乎

流通證書法

第二、何人ニ對シテ呈示ヲナスヘキ乎  
 第三、呈示ハ何時ナスヘキ乎  
 第四、恩惠期日及ヒ期限ノ計算ハ如何  
 第五、呈示ヲナスヘキ地ハ何處ナル乎  
 第六、呈示ノ方法如何  
 之レナリ

第一節 呈示ヲナスヘキ者ハ何人ナル乎

手形ノ所持人ハ一般ニ手形ノ呈示ヲナスヘキモノナリト雖トモ、或ハ呈示ヲナス  
 ノ權利ナキモノアリ、正當所持人ノ呈示ヲナスノ權アルハ固ヨリ疑ナシ、又正當ニ  
 手形ヲ占有スルモノハ呈示ヲナスノ權アリトス、ソハ支拂ヲ受クルヲ委任セラレ  
 ヲル代人ノ如キ之ナリ、  
 持參人拂ノ手形ヲ占有スル者、或ハ差圖人拂ノ手形ニシテ一タヒ無記名ノ裏書ヲ  
 ナシタル手形ヲ所持スル者ハ、則チ手形ノ呈示ヲナスノ權利ヲ有スルノ人ナリ、何  
 トナレハ如斯種類ノ手形ノ占有ハ手形ノ呈示ヲ爲シ支拂ヲ請求スル充分ノ證據

呈示ヲ爲  
 スヘキ人

ナリトス、故ニ手形ノ支拂ヲナスモノニ於テモ其占有者ニ支拂ヲナシタルトキハ  
 正當ノ支拂ナレハ手形上ノ責任ハ全ク免カレ、而シテ其占有者ハ不正ノ方法  
 ニテ之ヲ得タルモ支拂人其情ヲ知ラズシテ支拂ヲ爲サハ支拂タルノ効力アルモ  
 ノナリ、又差圖人拂ノ手形ニ於テ受取人ノ裏書セサル手形或ハ受取人裏書セサル  
 モ未ダ裏書讓受人ノ裏書セサル手形ハ受取人裏書讓受人ノ代人タル資格ヲ以テ  
 セハ勿論呈示ヲナスノ權力アリ、且支拂人ノ之ニ對スル支拂ハ均シク正當支拂ナリ、  
 ト雖トモ一己ノ資格ヲ以テ呈示ヲナシ、或ハ支拂ノ請求ヲナスノ權力ナキナリ、蓋シ  
 受取人未ダ裏書セヌ或ハ裏書讓渡人未ダ裏書セヌシテ其手形ヲ所持スルモノナ  
 レハ其占有者一應不正ノ占有者ナルヘシ、故ニ之ニ對シテ支拂ヲナスモ未ダ以テ  
 手形ノ責任ヲ免脱シタルモノト云フヲ得サルナリ、或ハ法律上其占有者ヲ以テ所  
 持人ノ代人ナリト見做スヘキモノナルコトヲ論スルモノアルモ大ニ誤謬ノ説ト  
 云ハサルヲ得ス、蓋シ裏書ナクシテハ移轉スヘカラサル手形ヲ裏書ナクシテ占有ス  
 ルモノハ必ズ詐欺又ハ竊盜ノ如キ不正ノ手段ヲ以テ獲得セルモノナラントノ疑  
 問ヲ生スヘキモノナリ、然ルニ支拂ヲナスモノニシテ此等ノ原由ヲ探究セズ直ニ

支拂ヲナシタルハ自ラ危険ノ界中ニ陥ルモノト云フヘケレムナリ  
所持人死去セルトキハ其動産相續人呈示ヲナシ支拂ヲ請求スルヲ得ル者ナリ若  
シ遺囑證書ヲ以テ管財人ヲ撰定シタルトキハ期限來レハ直ニ之レカ呈示ヲ爲サ  
ルヘカラサルモ遺囑ナキトキハ期限經過後ト雖トモ其責ヲ免ル、能ハサルナ  
リ

呈示ヲ受  
クヘキ人

第二節 何人ニ對シテ呈示ヲナスヘキ乎

爲替手形ノ場合ニ於テハ引受人及ヒ其代人約束手形ノ場合ニ於テハ振出人及ヒ其  
代人ハ呈示ヲ受クヘキ者ナリ故ニ此等ノ人ニ對シテシタル呈示ハ完全ノ効力ア  
ルモノニシテ其呈示ヲナスヤ必ズシモ直接ニ其人ニ對シテナス事要セス其商店  
住所ニ於テ請求ヲナストキハ充分ナリトス若シ正當ニ手形ヲ呈示ヲ受クヘキ人  
死スルトキハ其動産相續人ノ住所若シハ其商店ナリト雖トモ特別ニ支拂ノ場所  
ヲ定メタルトキハ其場所ニ於テ之ヲナスモノナリトナシテ(Chief)氏ハ引受人爲  
ニナス呈示ト支拂ノ爲メニナス呈示ト其間ニ區別アリテ引受人爲メニナス呈示  
ハ必ズ引受人自身ニ對シテナスナルヘカラスト雖トモ支拂ノ呈示ハ其必要ナラ

呈示ノ期  
限

第三節 呈示ハ何時ナスヘキ乎

爲替手形ノ引受人約束手形ノ振出人ハ出訴期限ノ經過スルヘテハ手形ノ責任ヲ  
免レサルモ唯々所持人期限ノ來レルトキニ呈示ヲナスハ安全ナルノミ然レトモ  
裏書人及爲替手形ノ振出人ノ責任ハ手形ノ期限ノ來レルトキニ於テ呈示ヲナス  
ヲ以テ停止條件トス故ニ所持入手形ヲ拒絕セラレタルトキニ裏書人或ハ爲替手  
形ノ振出人ニ責任ヲ負ハシメシハ滿期日ニ呈示ヲナスナルヘカラス其呈示ハ  
期限ノ來レル日ノ呈示ヲ云フモノトス期限ノ來ラサル前ニ呈示ヲナスモ其呈示  
ハ振出人及裏書人ニ對シテ効力ナク又期限後ニ呈示ヲナストキハ裏書人及爲替  
手形ノ振出人ハ己ニ其責任ヲ免カレタル後ナレハ効力ナキモノトス  
爲替手形或ハ約束手形ニハ支拂期日ヲ定メタルモノアリ或ハ又定メサルモノア  
リ定期拂ノモノニアリテハ其期日ノ至レルトキニ呈示ヲナスヘキモノナリ但シ  
恩惠期日(Day of Grace)ナルモノアリテ通常三日ノ猶豫ヲ附與ス然レトモ一覽後拂  
又ハ一覽後定期拂或ハ請求拂ノ爲替手形及請求拂ノ約束手形ハ相當期中ニ呈

示サナサ、ルヘカヲス、其約束手形ノ振出人ノ責任ハ出訴期限經過セサレハ依然トシテ存在シ又一覽後定期限ノ爲替手形ニ於テハ支拂期限ハ引受サナシタルトキヨリ定マルモノトス然レトモ若シ所持人相當ノ期日内ニ呈示サナサ、ル可ラヌトスルハ必竟裏書人或ハ爲替手形ノ振出人ニ責任ヲ負ハシメントスルコアリ而シテ相當期限ハ何時ナルヘキヤハ法律上一定ノ標準アルナシ各場合ノ情態ニヨリ定マルモノナレハ一事件ノ相當期限ハ未タ以テ他事件ノ相當期限ノ先例トナヌ可ラヌ請求次第支拂フヘキ爲替手形ノ場合ニアリテハ所持人呈示サナヌ期限ハ何時ナルヘキカニ就キテハ英法ハ受取リタル翌日ヲ以テシ若シ支拂人違隔ノ地ニ住居スルトキハ其翌日ノ郵便ヲ以テ呈示セハ可ナリトシ米法ニヨレハ支拂人ト受取人ト同一ノ場所ニ住居スルトキハ呈示サナヌヘキ日ハ手形振出ノ日ナレトモ支拂人違隔ノ地ニ在レハ其日ノ郵便ヲ以テ呈示スヘシトセリサレトモ此規則ハ各場合ノ事情ニヨリ變スルモノニシテ手形ヲ受取リタル時場所及其方法等皆相當期限ヲ定ムル材料トナヌヘキモノトス

請求次第支拂フヘキ約束手形ノ場合ニアリテハ前爲替手形ノ場合ト異ナリ爲替

手形ニアリテハ振出人速ニ支拂人ヨリ金圓ヲ抽出セントスルコアリ然レトモ約束手形ヲ以テ直ニ支拂フヘキモノトスレハ約束手形ヲ振出スノ効益焉ニカアル

英法ニヨレハ請求次第支拂フヘキ約束手形ハ繼續セル擔保ナルガ故ニ其所持人ハ爲替手形ノ如ク必スシモ翌日ニ手形ノ呈示サナヌヘキ責任ナントス殊ニ此租類ノ手形ニハ或ハ利息ヲ附シテ支拂フノ例アリ其場合ニ於テハ受取人ナリ裏書人ナリ或ハ裏書讓受人ナリ約束手形ヲ自己ノ手ニ存シテ呈示ノ際利子ヲ受取ラントスルモノアリ故ニ一年以内ニ呈示サナシタルハ相當日限ナリトセルノ判例アリ然レトモ利子ヲ附シテ支拂フヘキモノヨアリテモ所持人ハ呈示スルノ權利アルモノナリ米國ニ於テハ英國ト反對ノ規則ヲ設ケ相當期限ハ長クモ振出シタル翌日ニシテ通常ハ其日ナリトセリ

### 第十四回

#### 第四節 恩惠期日及期限ノ計算

流通證書ニ於テ支拂期限ヲ定ムルモ其當日ニ必スシモ支拂ハサル可カラサルモノニ非ラヌ支拂サナヌニハ三日ノ猶豫アリ其猶豫期日ヲ稱シテ恩惠期日ト云フ

恩惠期日  
及期限ノ  
計算



今其起因ヲ討ツルニ初メ國外手形ニ行ハレタルモノヨシテ支拂人ニ便宜ヲ與フ  
 ルノ精神ヨリ設ケラレタルモノナルカ故ニ其猶豫ハ全ク所持人ノ恩惠ヨリ生シ  
 支拂人ハ之カ猶豫ヲ權利トシテ請求スルコトヲ得ズ蓋シ此猶豫ヲ與フルハ全ク  
 報酬ナキモノタレハナリ然レトモ其後ニ至リ一般ニ商業習慣ノ認ムル所トナリ  
 今日ニ於テハ爲替手形タルト約束手形タルトヲ論セズ事實上及法律上三日ノ猶  
 豫經過スル迄ハ支拂ノ義務ナキモノトセリ換言スレハ支拂人或ハ引受人三日ノ  
 猶豫ヲ請求スルノ權利ヲ得ルニ至レリ

英國ノ慣習法ニ於テハ恩惠期日ヲ國內手形或ハ約束手形ニ適用スルコトヲ得ル  
 ヤ否ヤハ一疑問ナリシカ約束手形ハ一千七百〇四年ノ條例ヲ以テ爲替手形ト同  
 一ニ恩惠期日ヲ適用スルモノトセラレタルカ故ニ英國及米國現行ノ法律ニテハ  
 通常一般ノ規則トシテ恩惠期日アリト云フモ誤リナカルヘシ

如斯流通證書ニ爲替手形タルト約束手形タルトヲ間ハズ恩惠期日ナルモノ是  
 アリト雖トモ唯々……請求次第支拂フヘキ手形……特ニ恩惠期日ナキコトヲ約  
 束シタル手形……支拂期限ヲ定メサル手形……此例外ナリ而シテ其三個中第

三ハ請求次第支拂フヘキ手形ト同一ノモノナリ又一覽拂ノ手形ハ均シク恩惠期  
 日ナルモノナルヤ否ヤハ英法ニ於テ一ノ問案ニ屬スルモノニシテ條例ヲ除キテ  
 ハ之ニ關スル一ノ判例アルコトナシ然レトモウヰキトリヤ第三十四年及第三十  
 五年第七十四章第二節及四節ニヨレハ一千八百七十一年八月十四日以後ノ爲替  
 手形並ニ約束手形ニシテ一覽拂ノモノナルトキハ請求次第支拂フヘキモノトナ  
 レリ今日ハ該條例廢止セラレ其跡ヲ認メズト雖トモ現行條例ニヨルモ均ク恩惠  
 期日ナキモノト見做サルナリ

流通證書ノ期限ヲ計算スルニハ月ハ曆ニ從フテ若シ正月一日ニ手形ヲ振出シ一  
 ケ月後ニ支拂フヘキモノトセバ二月四日ハ支拂ノ當日ナリ之ト均シク二月五日  
 ニ振出シ一ケ月後ニ支拂フヘキ手形ナレバ其満期日ハ三月八日ナリ然レトモ期  
 限ヲ起算スルニハ越テ次月ニ及スコトヲ得ズ故ニ正月三十一日ヨリ後ナ一ケ月  
 ハ二月二十八日若シハ二十九日ニ終ルニシテ閏年ナラバ正月三十一日若シハ三十  
 日若シハ二十九日ヨリ一ケ月ハ二月二十九日ヲ以テ終ル者ナリ以是恩惠期日ノ  
 最終日ハ三月三日ナリトス此期限ヲ計算スル方法ハ右ナリ對ニ此カホツカ

所呈示ノ場

11 (Koehner v. Nickerbocker) ノ判例ニ由テ定メラル該訴件ニ於テフタルガ一氏ハ數  
 月後ニ支拂フヘキ流通證書ニ於テ月ヲ計算スルニハ手形ヲ振出ス日附ノ日ヲ  
 除キテ其終日ヲ計算ス故ニ恩惠期日ヲ知ラントセハ其最終日ニ三日ヲ加フレハ  
 可ナリ又月ノ最終日ニ振出セル手形ハ月ヲ計算スルニハ唯タ約束セル月ノ中ニ  
 テ其月ト同シキ日ヲ取ル者ニアラスシテ同日ヲ以テ期限トスルナリ例之二月二  
 十八日ニ手形ヲ振出シ一ヶ月後ニ支拂フヘキモノナラハ四月一日ハ其期限ナリ  
 之ト同シク若シ九月三十日ニ手形ヲ振出シ一ヶ月後ニ支拂フヘキモノナレハ恩  
 惠期日ヲ加ヒテ支拂期限ハ十一月二日ナリトス又日附後何日間ニ支拂フヘキ爲  
 替手形或ハ約束手形ニ於テハ常ニ其日附ノ日ヲ除シモノナリ  
 流通セサル證書ニ於テハ其期限ノ最終日休日ナルトキハ常ニ其翌日ヲ以テ期日  
 ト定ムルモ流通證書ノ場合ニアリテハ恩惠期日ノ最終日休日ニ當ルトキハ其前  
 日ヲ以テ期限トシ又其前日休日ニ際スルトキハ其前日ヲ以テ支拂日トス蓋シ恩  
 惠期日ハ決シテ三日ヲ經過スルヲ得ストノ原則ヨリ流出スルノ結果ナリ

第五節 呈示ノ場所

所持人振出人或ハ裏書人ニ保證人タルノ責任ヲ負ハントセハ手形ノ呈示ヲナス  
 ニモ必ズ正當ノ場所ニ於テナサハル可ラス故ニ約束手形ニ支拂ノ場所ヲ定メシ  
 ルトキハ所持人支拂ヲ請求スルニハ必ズ特定ノ場所ニ於テスルヲ要ス爲替手形  
 ノ場合ニ於テモ約束手形ノ規定ト異ナルコトナシ支拂ノ場所ヲ特定ムルカ或  
 ハ支拂人又ハ引受人ノ宿所ヲ記入スルトキハ支拂呈示ハ必ズ其特定ノ場所ニ於  
 テセサル可カラズ若シ支拂ノ場所ヲ定メス又宿所ヲ記入セサルトキハ商業ヲ營  
 ム店頭ニ呈示スレハ可ナリ  
 引受ノ爲メニナス呈示ノ場合ニ於テハ支拂人ハ二十四時間ニ引受ルルヤ否ヤヲ  
 思考シテ決スルノ權利アリト雖トモ支拂ノ爲メニナス呈示ノ場合ニ於テハ直ニ  
 支拂ヲナサハル可カラズ

第六節 呈示ノ方法

呈示ノ方法ハ他ナラズ所持人支拂人ノ面前ニ呈示スルニ過キズ此呈示ヲナスノ  
 必要ナル理由ハ……第一支拂人カ手形ノ眞實ヲ鑑定シ……第二所持人ハ支拂ヲ  
 受ルルノ權利アルモノナルヤ否ヤヲ定メ……第三支拂人支拂ヲナスト同時ニ手

流通證書ノ移轉

形ノ占有ヲ有セシムル……ノ三理由ヨリテ手形ハ支拂請求ノ時ニ於テ呈示セ  
サル可カラズ其呈示ノ方法ハ英米ニハ特別ノ法律ナリ或ハ手形ヲ郵送スルコト  
アリト雖トモ通常一般ノ場合ヨリテハ自ラ之ヲ携帶シテ呈示スルヲ常トス

第十五回

第四章 流通證書ノ移轉

前回ノ講義ニ於テ已ニ述タル如ク爲替手形及ヒ約束手形ニハ持參人拂及ヒ指圖  
人拂ノ二類アリテ其移轉ノ方法ニ於テ持參人拂ノ手形ハ別ニ裏書ヲ爲スヲ要セ  
ズ單ニ引渡ヲ爲スヲ以テ足レリトシ指圖人拂ノ手形ハ之ヲ移轉スルニハ必ラズ  
裏書ヲ (Indorsement) 爲スヲ要スルナリ  
而シテ若シ裏書ヲ以テ移轉スルニキ手形ハ裏書セズシテ他人ニ引渡ストキハ其手  
形ヲ受取タル人ハ單ニ訴訟權ノ讓受人タルニ過サルモノニシテ隨テ其權利ノ如  
キモ亦決シテ讓渡人ノ權利ヨリ大ナル能ハサルニシテ故ニ若シ讓渡人ノ權利ニ取  
據アレハ其瑕疵ハ讓受人ノ得タル權利ニモ附帶セラルハモノナリトス  
裏書ヲ完全ナラシムルニハ必引渡之ニ伴ハサルニカテラサルコトヨテ通常或ルニ

裏書ノ性質及裏書讓渡人ノ責任

人カ他人ニ對シテ手形ヲ裏書シタリト云フトキハ又之ヲ引渡シタリトノ事カ伴  
隨セラレタルモノト知ルニキナリ是ヲ以テ若シ或一人カ他人ニ對シテ手形ヲ裏  
書引渡シタルトキニ當リ其對手タル受引渡人カ該手形ハ全ク法律上ノ價值ナキ  
モノナリト主張シテ之カ引渡ヲ拒絕セルトキハ再ヒ之カ完全ナル移轉ヲナサン  
トセハ更ニ新ナル裏書ヲ爲シ又引渡ヲモ爲サハルニカテラズ但シ當初爲シタル裏  
書ハ各人之ヲ認容シ得ニキヲ以テ若シ對手ニ於テ之ヲ認ムルトキハ更ニ裏書ニ  
爲スヲ須クズ單ニ引渡ヲ爲スヲ以テ足レリトス

第一節 裏書ノ性質及裏書讓渡人ノ責任

裏書ナル語ハ法律上流通證書ト稱スニキモノノニ適用セラルニキ文字ナルヲ  
以テ流通ヲ爲サハル證書ニ對シ保證人トナリタルモノ、責任ト裏書讓渡人ノ責  
任トハ明ニ之ヲ區別セサルニカテラズ元來此裏書ナル文字ハ手形ノ裏面ニ書シト  
云フニ過サレトモ法律上完全ナル裏書ヲ成サノニハ左ノ條件ヲ具セサルニカテ  
ズ

必要條件

(第一)證書ノ引受或ハ支拂カ拒絕セラレタルトキハ裏書讓渡人ハ其證書ノ責ヲ負

フヘントノ意ヲ以テ裏書ヲ爲シタルモノナラサルヘカラス(第二證書ノ引渡ヲ了  
 ラサルヘカラス故ニ證書ノ移轉ヲ爲サント欲スル者カ證書上ニ裏書ノ手續ヲ履  
 ムモ其引渡ヲ爲サ、ルトキハ決シテ法律上有効ノ裏書ナリト爲スコト能ハサル  
 へシ(第三裏書ハ證書面金額ノ讓渡ナラサルヘカラス故ニ證書面一部分ノ讓渡ハ  
 全ク無効ノモノナリトス蓋其理由タル法律ハ訴訟ノ原由ヲ數個ニ分割スルヲ好  
 マスト云フニアリ此理ヲ推シテ證書面ノ金額ヲ讓渡スモ之ヲ數人ニ讓渡シタル  
 トキハ亦無効ノ讓渡ナルヲ免レズ但シ連帶ノ所有者トシテ數人ニ對シテ一手形  
 ナ讓渡スモ其讓渡ノ有効ナルコト妨ケナキナリ  
 流通證書ノ裏書ヲ爲サントハ右ノ如キ條件ヲ要スレトモ裏書讓渡人ト讓受人間  
 ノ約束ハ如何ナルモノアルニモセヨ、手形面上絶對的ノ讓渡ナレハ決シテ無効ヲ  
 ルコトナカルヘシ例ヘハ甲者百圓ノ手形ヲ有シ之ヲ乙者ニ讓渡スニ當リ證書面  
 金額讓渡ヲ爲シタレトモ其實五十圓ノ讓渡ニ止リタリト爲サハ乙者カ該證書  
 ニヨリテ百圓ヲ請求スルニ當リ其内五十圓ニ附テハ自己ノ爲メニ之ヲ請求スル  
 モノニシテ他ノ五十圓ハ甲ノ被信託者トシテ起訴スルモノナルヘシサレトモ之

二三

カ爲メ甲乙間ノ讓渡ハ決シテ無効ナルコトナシ  
 凡ソ裏書ナルモノハ證書ノ移轉ニ過サルカ如ク見ユレトモ決シテ然ルモノニ  
 アラズシテ一ノ獨立契約ナリトス故ニ裏書讓渡人ハ常ニ必ラズ新ナル振出人ノ  
 位地ニ立ツモノナリトノコトモ全ク裏書ノ性質ヨリシテ然ル所ノモノナリ、今若  
 甲其證書ヲ乙ニ裏書讓渡スルトキハ法律上甲ハ乙ノ爲メニ支拂人或ハ引受人ニ  
 對シテ手形ヲ振出スト異ルナシ又約束手形ノ裏書モ裏書讓渡人ハ讓受人ノ爲メ  
 ニ振出人ニ對シテ手形ヲ振出ト差異アルナシ如何トナレハ約束手形ノ振出人ハ  
 爲替手形ノ引受人ト同位地ニ立ツモノナレハナリ例ヘハ爲替手形ノ場合ニ於テ  
 甲ヲ振出人ト爲シ乙ヲ引受人ト爲シ丙ヲ所持人ト爲サハ丙カ其所持ノ手形ヲ丁  
 戊等ニ裏書スルハ丙ハ丁戊等ノ爲メニ乙ニ對シテ手形ヲ振出スニ異ラズ如何ト  
 ナレハ丁戊等ハ丙ノ裏書ニヨリ得タル所ノ手形ヲ以テ乙ニ對シテ請求ヲ爲シ得  
 へケレハナリ又約束手形ノ場合ニ於テ甲ヲ振出人ト爲シ乙ヲ受取人ト爲サンニ  
 乙カ之ヲ裏書シテ丙ニ讓渡ストキハ乙ハ丙ノ爲メニ甲ニ對シテ手形ヲ振出シタ  
 ルニ異ラズ如何トナレハ丙ハ乙ノ讓渡ニヨリ得タル所ノ手形ヲ以テ甲ニ對シテ

裏書讓渡  
人ノ責任

其金額ヲ請求スヘケレハナリ  
以上裏書ノ性質及ヒ要件ヲ講了セルヲ以テ今ヨリ裏書讓渡人ノ責任ヲ説明セシ  
裏書讓渡人ノ責任凡ソ五アリ

- 一、爲替手形或約束手形カ引受ラレ或ハ支拂ハル、コト
  - 二、手形ハ偽造ニ非ルコト
  - 三、手形ハ有効ノモノナルコト
  - 四、手形ノ關係人ハ能力者ナルコト
  - 五、己レ自ラ手形上ニ正當ノ權利ヲ有シ又裏書ヲ爲スノ權利アルコト
- 手形ノ裏書讓渡人ニハ以上五個ノ責任アレトモ或場合ニ於テハ手形ノ裏書ヲ爲  
スニ當リ自己ニ對シテハ償還請求權ナキ(Without Recourse)旨ヲ明記スルコトアリ  
例ヘハ一手形ニ對シ甲ハ支拂人ノ地位ニ立ナ乙ハ其所持人ナルニ際シ乙ハ之ヲ  
丙ニ裏書スルニ當リ乙自身ニ對シテハ償還請求權ナシト記スル事アリ如此場合  
ニ於テ甲若シ其支拂ヲ拒ムコトアルモ乙ハ其手形ニ對シテ責アルコトナキナリ  
還債請求權ハ之ヲ溯求權ト譯スルモ可ナリ例ヘハ一手形ニシテ數人ノ手形

經テ流通セルニ當リ最後ノ所持人ノカ支拂ヲ請求セルニ支拂ニシテ拒絶セラ  
ル、コトアリト爲サハ該所持人ハ其手形ヲ所持流通セシメタル數人ニ對シ所  
持ノ期節ノ後ナルモノヲ始メトシ漸ク溯テ順次ニ其支拂ヲ請求シ得ヘキモノ  
ナリ故ニ償還請求權ハ寧ロ之ヲ溯求權ト云フヲ以テ允レリトセム  
此ノ如ク溯求權制限ノ裏書ヲ爲ストキハ讓渡人ハ手形ノ關係人タルノ責任ヲ免  
ル、コトナレトモ若シ其支拂人カ假設人ナルカ或ハ又全ク手形面ノ金額ヲ拂フ  
ノ資金ナキモノナルトキハ亦其責ヲ負ハサルヘカラス故ニ(第一)若シ自己以前ノ  
署名カ偽造ナルトキ(第二)約束手形ニ於テ最初ノ關係人間ノ約因闕亡セルカ或ハ  
約因不適法ナリトコトヲ以テ無効ナリシトキ(第三)自己ヨリ以前ノ手形關係人  
カ無能力者ナルトキ(第四)裏書讓渡人カ裏書ノ權利ヲ有セサルトキ此等ノ場合ニ  
於テハ手形ノ讓渡人カ溯求權ヲ制限スヘシト明約スルモ亦手形ノ責ヲ免ル、能  
ハス

又手形ノ裏書讓渡人ハ特約ヲ以テ己レノ責任ヲ増減スルヲ得ヘクシテ其責任ヲ  
増ストハ所持人ナシテ當ニ盡スヘキノ義務ヲ免スルヲ云フ例ヘハ甲カ乙ニ手形

手形譲渡スニ當リ若シ乙が手形ノ請求ヲ爲シ其支拂ヲ拒絶セザレタルトキ乙ハ別ニ甲者ニ對シテ支拂拒絶ノ通知ヲ爲スヲ要セズト明旨シ以テ乙者ノ義務ヲ輕クスルカ如シ

此ノ如ク裏書譲渡人ガ其責ヲ減スルカ或ハ之ヲ制限スルモ之ヲ證書上ニ明記セザレハ正當所持人ニ對シテハ其効果ヲ及ホス能ハス故ニ裏書譲受人ガ手形ヲ移轉セシムルニ臨ミ口頭或ハ書類ヲ以テ手形面ノ金額ハ之ヲ其支拂人ニ對シテノ請求シ決シテ裏書譲渡人ヲ累ハスコトナカルヘシト約スルモ尙其手形ノ正當所持人ハ裏書譲渡人ヲ訴フルヲ得ヘキナリ例ヘハ甲ヲ譲渡人ト爲シ乙ヲ所持人ト假定センニ乙ハ甲ニ對シテ予ハ其手形ニ付テハ支拂人ノミニ請求シ如何ナル事情アルモ決シテ貴殿ニ對シテ請求ヲ爲スコトナカルヘシト約スルモ丙ナル正當所持人ハ此等ノ契約アルニ關セズ直ナニ甲ニ對シテ支拂ノ請求ヲ爲シ得ヘシ但シ甲乙間ノ契約ハ證書面ニハ記載セラレタルコトヲ忘ルヘカラズ尙ホ裏書譲渡人ノ責任ニ就テハ先キニ掲ケタル五箇ノ條項ニ付キ詳述スヘケルトモ時間迫レルカ故ニソハ次回ニ譲ラントス

### 第十六回

前回ヨ於テハ裏書譲渡人ノ責任ニ關スル條項ヲ舉ケ未ダ之カ説明ヲナサハリシヲ以テ本回ハ逐次説明スヘシ

(一)手形ガ引受ラレ或ハ支拂ハル、コト

裏書人ハ手形ハ必ズ支拂人ニ引受ケラレ且ツ支拂ハル、モノナルコトヲ保證スルモノナリ故ニ若シ支拂人引受ヲ拒絶シタルトキハ通知ヲ與フルノ條件ヲナスハ必ズ支拂ヘキコトモ亦保證セルモノナリ而シテ此保證ハ唯ツ支拂人ノ負債ヲ支拂フノ資力アルコトナレハ支拂人ガ引受ヲ拒絶シ或ハ支拂ヲ拒絶シタルトキハ其拒絶ノ理由ハ毫モ法律ノ間ハサル所ナリ

(二)手形ノ偽造ニ非ラサルコト又變造シタルモノニアラサルコト

茲ヨ起ルヘキ一問ハ裏書譲渡人ハ己レヨリ以前ノ裏書ヲ以テ真正ナルモノナルコトヲ保證スルモノナルヤ否ヤヨリ裏書人ハ自個ハ完全ノ所有者ニシテ手形ヲ譲渡スノ資力アルコトヲ保證スルモノトセハ己レヨリ以前ノ裏書モ亦不當ニアラサルコトノ保證モ含蓄ス何トナレハ手形ノ裏書ニシテ偽造ナラハ完全ノ所有

權ヲ移轉スルコト由ナレハナリ  
 (三) 手形ハ有効ニシテ關係人全体ヲ檢束スルモノナルコト  
 (四) 裏書讓渡人ハ振出人引受人或ハ約束手形ノ振出人ハ充分ノ能力ヲ具備スルモノナルコトヲ保證スルモノナリ故ニ若シ其一人無能力ナルトキハ裏書讓渡人ハ唯ニ約因ヲ返戻スルノ義務アルノミナラス所持人ハ其人ニ對シテ證書上ノ責任ヲ負ハシムルコトヲ得ルナリ

(五) 裏書讓渡人ハ手形ノ完全所有權ヲ裏書讓受人ニ讓渡スコトヲ保證スルナリ

### 第二節 裏書ノ對手

對手ノ能力ニツキテハ契約法ノ原則ヲ其儘ニ適用スルコトヲ得ルモノニシテ契約締結ノ能力アルモノハ手形讓渡人トナリ又讓受人トモナルコトヲ得ルモノトシテ唯一ノ注意スルニキハ裏書讓受人幼者又ハ會社ナルトキニハ英國爲替條例ニ定ムル所ニヨレハ裏書讓受人ニ完全ノ所有權ヲ移スコトヲ得ルモ自ラ手形上ノ責任ヲ負フモノニアラサルト云フコト之レナリ

### 第三節 裏書ノ種類

英國爲替手形條例第三十二條ニヨレハ裏書ハ手形面ニ記入スルモノニシテ又裏書讓渡人之ニ署名セサル可カラズ然レトモ或場合ニ於テハ裏書讓渡人單ニ自己ノ名ノニ記載スルコトナリ是又裏書トシテ充分ノ効力ヲ有スモノナリ

- 一 完全裏書或ハ特別裏書 (Indorsement in full or Special Indorsement)
  - 二 無記名裏書或ハ一般裏書 (Indorsement in blank or General Indorsement)
  - 三 無條件裏書 (Absolute Indorsement)
  - 四 有條件裏書 (Conditional Indorsement)
  - 五 制限裏書 (Restrictive Indorsement)
  - 六 遡求權ナキ裏書 (Indorsement without recourse)
- 是レナリ以下詳説スルニ

#### 第一 完全裏書

完全裏出ハ裏書讓渡人裏書讓受人ノ名義ヲ手形面ニ記載シ其人或ハ其指圖人ニ支拂フコトヲ命ジラル方式ヲ云フモノナリ若シ此方式ヲ以テ裏書トナシタルト

裏書ノ對手

裏書ノ種類

無記名裏書

キハ裏書讓受人ノ外更ニ又他人ニ移轉スルノ權利アルナシ故ニ又其手形ヲ以テ訴訟ヲナスモノモ裏書讓受人カ或ハ其代人ナラサル可ラズ

第二、無記名裏書

無記名裏書ハ裏書讓渡人唯々自己ノ名義ノミヲ記シテ裏書讓受人ノ名義ヲ記サ  
ルモノヲ云フ若シ此方法ヨリ手形ノ裏書ヲナシタルトキハ其時ヨリシテ手  
形ハ持參人拂ノモノト變スルモノナリ故ニ之ヲ移轉スルニハ引渡ノ方法ニヨル  
ヘシヒールコツク對ロイツノ訴件ニ於テロードマンズファイル氏ハ曰ク無記名ノ裏  
書ト持參人拂ノ手形トノ間ニハ毫モ區別ナキナリ何トナレハ双方共ニ引渡ヲ以  
テ他人ニ移轉スルコトヲ得又占有ハ即チ所有ヲ証明スルノ具ナレハナリト  
無記名ノ裏書讓受人ハ之ヲ變シテ完全裏書トナスコトヲ得ルモ唯々裏書讓渡人  
ノ責任ヲ増大ナラシムルコトヲ得サルノミ又數度ノ無記名裏書アルトキハ所持  
人ハ己レノ好ミニヨリ其裏書ヲ除去スルコトヲ得ルナリ例之無記名ノ裏書六ヶ  
アルトキニハ第四、第五、第六ヲ取除キ其他ノ裏書人ヲ訴フルコトヲ得然レトモ若  
シ第四ノ裏書ヲ除去スルトキニハ第五第六ノ裏書讓渡人ハ其責任ヲ免ル蓋シ第

條件裏書

五第六ノ裏書人ハ第四ノ裏書人ニ對シ溯求スルノ權アルモノナレハナリ

第三、無條件裏書

無條件裏書ハ通常一般ノ裏書ニシテ裏書讓渡人ハ拒絕ノ通知ヲ受シレハ必ズ支  
拂ハサル可カラサルノ責任ヲ負ヒ又裏書讓受人ハ期限ニ至リ支拂人ニ請求スル  
トキハ支拂人ハ必ズ其支拂ヲナスコトヲ保證スルモノナリ之ニ反シ有條件裏書  
ハ裏書讓渡人已ノ責任上ニ或ル條件ヲ書加ユルモノヲ云フ手形ヲ振出ストキハ  
其命令必ズ無條件ナラサルヘカラスト雖トモ引受ハ有條件ナルコトヲ得又裏書  
モ條件アルカ爲メニ全ク無効ナルモノニ非ラズサレトモ其手形ノ仕拂ヲナシタ  
ルモノヨリ見レハ裏書ニ條件ヲ附著スルコトヲ知ラサルモノナレハ若シ條件ノ  
起ラサルニ裏書讓受人ニ手形ノ支拂ヲナシタルトキニハ再ヒ裏書讓渡人ニ支拂  
ヲナスノ義務ナシ是レ英國爲替手形條例第三十三條ニ規定スル所ナリ

制限裏書

第五、制限裏書

手形ノ裏書ヲナスニ際シ其流通ヲ停止スルコトヲ得例之甲者乙者ニ手形ヲ裏書  
讓渡ス時唯乙者ノミニ支拂ヲハシ或ハ甲者ノ爲ニ支拂ヲ止メシト記載スルカ如キ

流通証書法



場合ヲ制限裏書ト云フ此場合ニ於ケル裏書讓受人ハ唯手形ノ支拂ヲ受ルル代人タルニ過キサルヲ以テ其手形ヲ讓受シトキハ特ニ約因ナキヤ明カナリ故ニ裏書讓受人ハ手形ヲ讓渡シ又ハ手形ヲ抵當トナスコトヲ得ス又裏書讓渡人ヲ以テ己ニ對シテ責任アルモノナリトナスヲ得サルナリ然レトモ裏書讓受人ハ裏書讓渡人ノ爲メニキコトハナスコトヲ得ルヲ以テ手形ノ支拂ヲ得ルヨハ振出人或ハ引受人等ヲ訴フルコトヲ得若シ此方法ヲ以テ手形ノ裏書ヲナシタルトキハ信託ノ通知ナルノ効力アルモノトス今此制限裏書ノ讓受人更ニ之ヲ他人ニ讓渡ストキハ其第二ノ讓受人ハ第一ノ讓受人ノ位地ト異ナラズ故ニ第二ノ讓受人ノ權利ハ第一ノ讓受人ノ權利ヨリモ優等ナルナリ然レトモ唯手形ノ裏書ヲナスニ際シ其讓渡ノ約因ヲ記入シタルノミニテハ制限裏書ヲナスモノニアラス茲ニ徵收ノ爲メニナス裏書 (Indorsement for collection) ナリ是レ亦制限裏書ニ外ナラズ例之余常ニ第一銀行ト取引ヲナスガ故ニ余ニ仕拂フヨリハ却テ第一銀行ニ支拂フヲ便利トナストキニ手形ヲ裏書シ第一銀行ニ支拂フヘントスルトキノ如シ制限裏書ハ法律上推測スルモノニアラス故ニ特ニ制限裏書トナス明證ナキ以上

溯求權  
キ裏書

ハ法律ニ制限裏書ト解スルコトナシ  
第六 溯求權ナキ裏書  
手形ノ裏書ヲナスニ際シ裏書讓渡人ニ對シテ溯求權ナキヨリテ明ニ記スル場合ヲ云フモノナリ

第七回

裏書讓受人數人アリテ其間ニ組合ノ關係ナキトキハ數人共ニ裏書ヲナシテ他人ニ讓渡サル可カラズト雖モ若シ其間ニ組合ノ關係アレハ一人ハ他人ノ代人トシテ寄書ヲナスコトヲ得ヘシ然レトモ其裏書ヲナスヨハ組合ノ名義ヲ以テセサルニカラム自己一人ノ名義ヲ以テ裏書ヲナストキハ流通證書ハ唯其表面ニ顯示セラル、名義ノモノニ責任ヲ負ハシムルノミナルカ故ニ組合ニ責任ヲ負ハシムルコトヲ得ヌナッテ一氏曰ク數人ノ裏書讓受人ノ間ニ組合ノ關係ナキトキハ移轉ノ權利ハ數人全体ニアリテ單リ一人ニアラサルナリト  
裏書人ハ一人以テ其責任ヲ負フヘシテ他ノ裏書讓受人ト連帶ノ責任アルモノニアラス故ニ數人ノ讓渡人アルトキハ其裏書ヲナシタル順序ニヨリテ責任ヲ負

フモノナリ先ニ裏書ヲナシタルモノハ後ニ裏書ヲナシタルモノニ對シテ責任ヲ有シ決シテ裏書人全体カ手形ノ所持人ニ對シテ連帶若シハ共同ノ義務ヲ負擔スルモノニ非ラズ裏面ヨリ云ハ後キニ裏書ヲナシタルモノハ先キニ裏書ヲナシタルモノニ對シテ手形上ノ權利ヲ有ス其權利ヲ有スル所以ノモノハ手形ノ關係人ナルトキニハ必ズ已レヨリ先キノモノニ對シテ權利アルコトヲ知リテ爲スモノナレハナリ

此節ヲ終ルニ臨ミ裏書讓受人ハ如何ナル權利ヲ有スルモノナルヤヲ述ヘンニ裏書ハ裏書讓受人ニ手形ノ關係人ヲ訴フルノ權利ヲ與フルモノナリ故ニ若シ手形ニシテ支拂ヲ拒絕セラレ又ハ引受ヲ拒絕セラレタルトキニハ所持人ハ手形面ニ記名セラル、人ニ對シテ何レノ人ヲモ訴フルコトヲ得又已ニ述ヘタル如ク若シ其裏書讓受人ニシテ正當ノ所持人タルトキニハ詐欺脅迫不法或ハ約因ナキ等ノ理由ハ以テ其權利ニ對スル抗辨トナルモノニ非ラズ然レトモ若シ手形ノ受取人之ヲ他人ニ移轉スルニ裏書ヲナスコトヲ怠ルトキハ裏書所持人ハ決シテ已レノ名義ヲ以テ訴フルコトヲ得ヌサレトモ約因アル契約ニヨリテ裏書移轉ヲ受ケン

トナル人ハ移轉シタルモノニ對シテ裏書ヲナスヘント強ヒ若クハ損害賠償ヲ請求スルノ權利アリ又手形所持人ニシテ未ダ裏書ヲ受ケサルトキハ已レノ名義ヲ以テ他人ニ裏書スルヲ得ヌ又手形已ニ裏書セラレタルモノニ裏書セラレタルトキニハ其者ハ自己ト裏書讓渡人トノ仲間ニアル關係人ヲ訴フルヲ得ヌ何トナレハ譬トヒ訴フルノ權利アリトスルモ結局再ヒ其者ニ對シテ責任ヲ負ハサル可カラサルノ位置ニアルモノナレハナリ

又手形ノ被托者カ其權限ヲ越ヘテ之ヲ他人ニ裏書シタルトキ其裏書讓受人カ情實ヲ知リタルトキハ正當所有者ニ對シテ手形ヲ保有シ且ツ訟フルコトヲモ尙ホ得サルナリ故ニ今手形引受人之ヲ振出人ニ委託シタルニ其振出人猥リコ他人ニ裏書シ而シテ裏書讓受人ハ其裏書人ノ權利ヲキコトヲ知了セルトキハ引受人ハ「トロバー」ノ訴式ヲ以テ振出人ナリ或ハ裏書讓受人ナリヲ訴フルコトヲ得ルナリ「トロバー」ハ委託セラレタルモノヲ所有者タルカ如ク處分ヲナシタルトキニ用ユル訴式ヲ云フ之ニ「コンバーション」ト云フ

移轉人ノ責任及被

第四節 移轉人ノ責任及被移轉人ノ權利

流産証書法

移轉人ノ  
權利

持參人拂ノ手形或ハ無記名裏書ナシタル手形ヲ所持スルモノ裏書ナシテ之  
 他人ニ移轉スルトキニハ其所持人ハ移轉人(Buyer)ナル名稱ヲ受テ決シテ其  
 手形ノ責任ヲ負フモノニアラス此移轉人ハ直接ノ被轉人ニ對シテハ其手形正  
 當ノモノニシテ且ツ自ラ之ヲ移轉スルノ權利ヲ有シ決シテ手形ノ無効トナルヘ  
 キ原由ヲ知ルモノニアラストノ保證ヲナスモノナリ然レトモ手形上ニ責任ナキ  
 カ故ニ若シ引受人或ハ支拂人カ手形ヲ拒絕シタル場合ニ於テ決シテ責任ヲ負  
 フモノニ非ラス何トナレハ英國法律ニ於テハ持參人拂ノ手形ヲ引渡スハ一應手  
 形ノ賣渡ト解釋スヘキモノニシテ約束手形ノ振出人爲替手形ノ引受人ハ負債支  
 拂ノ資力ヲ有スルモノナルコトノ保證ヲナスモノニ非ラストスレハナリ而シテ  
 其手形ノ移轉カ手形ノ賣渡ト同一ニ解釋セラルル場合ハ或ハ物件或ハ他ノ手形  
 或ハ金錢ト引換ニ手形ヲ交付セル場合ニアリ(Enn v. Harrison)ノ  
 訴件ニ於テロートケンヨン氏曰ク手形ノ所持人カ裏書ヲナサズシテ其手形ヲ市場  
 ニ送ル時ハ道徳上又ハ法律上移轉ノ報償トシテ受取りシ者ヲ返戻スルノ義務  
 ナシト然レトモ此原則ニハ一ハ例外アリ即チ負債ニ對シテ持參人拂ノ手形ヲ引渡

シタル場合ニ於テハ若シ支拂人カ支拂ヲ拒絕シタル時ニハ其拒絕通知ヲ與ラレ  
 ハ必ズ手形上ノ責任ヲ負ハサル可カラズ故ニ賣渡ノ効力ヲ生ゼズ其理由ハウチ  
 ーヴ對エバンソン(Whard v. Evans)ノ訴件ニ於テホルト氏ノ述ベタル所ニヨレハ若シ  
 此物件ノ賣主其代價所持人拂ノ手形ヲ受取ルトキニハ全ク支拂ノ効力アリ然レ  
 トモ負債ニ對シテハ一片ノ紙葉ハ支拂トナルコトナシト甚ク奇ナルカ如キモ英  
 法ハ如此規定シタルハ亦止ムヲ得サルナリ今強テ其理由ヲ求メハ債主ハ現金受  
 取ノ權アリ又英國法ニテハ金額ニヨリ引渡スヘキ貨幣ノ種類ヲ異ニスルカ故ニ  
 一片ノ零紙ノ引渡ハ支拂トナラスト云フニアルカ是亦怪ムヘキノミ  
 右ニ述ナルカ如ク手形ノ移轉人ハ其關係人ノ資力アルコトハ保證セサレトモ其  
 直接ノ被移轉人ニ對シテハ其手形ハ正當ニシテ偽造ニアラス又假設ノモノニア  
 ラサルコトノ保證ヲナスモノナリ又移轉人ハ移轉スルノ權利アリ移轉スルノ當  
 時ハ手形ヲ以テ毫末ノ價值ナキモノトナス原由ノ存在セズ又變造ニヨリテ無効  
 トナレルモノニアラス又拒絕セラレタルモノニアラスコトヲ保證スル者ナリ  
 然レトモ此保證アルハ唯ク其直接ノ被移轉人ニ對シテノミ効力ヲ有スルモノニ

シテ其他ノ被移轉者ニ對シテハ毫モ責任アルモノニシテ  
 以上移轉人ノ責任ヲ歸シタレハ以下被移轉人ノ權利ヲ述フヘシ持參人拂ノ手形  
 ハ貨幣ト同様ニ移轉スルカ故ニ善意ノ占有者ハ即チ所有者ニシテ占有者ト所有  
 者トハ格別ナルモノニシテ持參拂ノ手形ニ於テハ所持人ノ權利ハ一面正當ノ  
 所有者ニ對シ一面引受人或ハ裏書人ニ對シテ移轉人ノ權利ノ瑕疵ニ影響ヲ及ホ  
 スコトナシ若シ此被移轉人手形ノ移轉ヲ受クルトキニ際シ過失アルトキハ所有者  
 ニ對シテ責任アルコトヲ判決シタル例證モ之レアリト雖モ英國法ニ於テハ被移  
 轉人其移轉人ノ不正ナルコトヲ知ラサルモノナラハ假令過失アルモ正當ノ所有  
 者ニ對シテ責任ナキモノト定メ唯非常ノ過失アレハ陪審官ハ詐欺アリシコトヲ  
 推測スルコトアルヘキナリ

### 第十八回

#### 第五節 變格移轉(即變則ノ移轉)

裏書ハ爲替手形及約束手形ノ未ダ成立セサル前ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得コレラッ  
 セル對テラソングスタン (Russel v. Langstaffe) ノ訴件ニ於テ判決セラレタルモノニシテ

手形完成  
前ノ裏書

又爲替條例第二十條ノ認ムル所ナリ今其訴件ノ事實ヲ摘擧セハ原告ハ銀行ノ事  
 務ヲ執ルモノニシテ甲ト取引ヲナシタリ一日甲銀行ヨリ金圓ヲ貸入レントシタル  
 モ第三者ノ裏書ナクシテハ貸與セサルヲ以テ甲ハ不完全ノ手形ヲ作爲シ之カ裏書  
 ヲ被告ニ委頓セリ被告ハ立ニ裏書シタル後甲之ニ填補シ以テ之ヲ原告ニ交付セ  
 リ此場合ニ於テロッドマンソフツル曰ク被告ノ不完全手形ニ裏書ヲナシタルハ  
 即チ保證人ノ位置ニ立ノ意ナリト解セサル可カラズ故ニ被告ハ責任ヲ免カル、  
 コトヲ得スト判決セラレタリ

又裏書ハ手形ノ引受ノ前後ト問ハス爲スコト得ルナリ然レトモ若シ引受ノ拒絕ア  
 リシ後之ヲ移轉セルトキニハ其被移轉人或ハ讓受人其情ヲ知ルト否トニヨリ權  
 利ノ有無定マルモノニシテ若シ其讓受人拒絕アリタルヲ知ルカ或ハ満期日ノ後  
 ニ讓受タルモノナレハ已レヨリ以前ノ關係人ノ責任或ハ還債ノ資力ニ付キ疑問  
 ヲ生セサルヲ得サルモノナリ故ニ若シ拒絕アリタルノ情ヲ知テ讓受ケタルトキ  
 ハ其讓受人ハ正當所持人タルノ權利ヲ得サルナリ讓受人ノ依ル所ハ唯讓渡人一  
 人ニ在リ故ニ其他ノ關係人ニ對シテハ讓渡人ノ權利ヨリ優等ナル權利ヲ得ルコ

トテ得サルナリ例之甲ハ振出人ニシテ乙ハ引受人丙ハ裏書讓渡人丁ハ所持人ナ  
 リト假定スヘシ丁者手形ノ引受ヲ請求セルコト乙之ヲ拒絕シタリ若シ其拒絕通知  
 ヲ甲及丙ニ與ヘサレハ全ク之ニ對シテ救済權ナキモノナリ然ルコト丁ハ之ヲ成者  
 ニ讓渡シタリ而シテ戊讓受ノ際其情ヲ知リタルトキハ丁者ニ對シテ權利アルノミニ  
 シテ他ノ甲丙ニ對シテハ全ク權利ナキナリ又期限後ノ讓受ハ當然瑕瑾ヲ移轉ス  
 ルモノナルハ已ニ述ヘタルカ如シ

クロスレー對ハム(Grosley v. Ham)ノ事件ニ於テ振出人カ被告ニ振出人融通ノ爲メ  
 ニ二個ノ手形ヲ裏書センコトヲ請求シタルニ被告ハ之ニ裏書シテ振出人ニ返戻セ  
 リ振出人ハ其後ニ至リ之ヲ甲ニ讓渡シタルニ甲ハ被告ト一ノ契約ヲ締結シ若シ其  
 二個ノ手形ノ中一ヲ支拂フトキハ他一ノ責任ハ解除センコトヲ以テセリ被告ハ  
 其契約ニヨリ手形ノ一ヲ支拂ヒタリ然ルニ甲其他ノ手形ノ引受ヲ請求シタルニ  
 支拂人ハ之ヲ拒絕シタリ後甲之ヲ其情ヲ知レル原告ニ讓渡シタリ故ニ原告ハ被  
 告ニ對シテ手形ノ權利ハ之レナキモノナリト判決セラレタリ其理由ハ甲ハ被告  
 ニ對シテ手形上ノ權利ナキモノナルカ故ニ又原告ハ被告ニ對シテ手形上ノ權利

期限後ノ裏書

ナシト云フコトアリ然レトモ若シ讓受人引受ノ拒絕アリタルヲ知ラサル時ハ手形  
 上ニ完全ノ權利ヲ得ヘシ今受取人手形ノ引受ヲ請求シタルトキニ支拂人之ヲ拒  
 絶セリ受取人其通知ヲ振出人ニ與ヘヌシテ之ヲ他人ニ讓渡シタリ受取人ノ拒絕  
 通知ヲ與ヘサルハ全ク過失ナレハ振出人ハ受取人ニ對シテハ毫モ責任アルコト  
 ナシ然レトモ其責任ナキハ唯受取人ニ對スルノミニシテ其情ヲ知ラサル第三者  
 ニ對シテハ責任ニ任セサルヘカラスト判決セリ

手形ハ期限ノ來レル後ニ於テ他人ニ移轉スルヲ得ヘシト雖トモ裏書讓受人ハ手  
 形ニ關スル事情ヲ探究スルノ義務アリ故ニ満期日後ニ手形ヲ讓受スルモノハ縱  
 令充分ノ約因ヲ與フルモ其依ル所ハ唯直接ノ讓渡人ノミニシテ全ク瑕瑾ハ盡ク  
 其手ニ附隨スルモノトス今被告受取人融通ノ爲メニ約束手形ヲ振出シタルニ受  
 取人期限後ニ之ヲ甲ニ讓渡シ甲ハ更ニ之ヲ原告ニ讓渡セリ此場合ニ於テ甲及原  
 告ハ決シテ被告ニ對シテ手形上ノ權利ヲ有スルモノニアラス何トナレハ受取人  
 ハ全ク融通ノ爲メニ手形ヲ受ケタルモノナレハ受取人自ラ被告ヲ訴フ能ハサル  
 ナリ然レトモ此規則ハ英國ノ爲替條例ニヨリ變更セラレタルカ故ニ今日ニ於テ

ハ起訴スルコトヲ得ヘキナリ其第三十六條ハ滿期日以後ノ讓受人ハ讓渡人ノ權利ヲ得ルコト能ハスト規定セルモ其第二十八條第二項ヨレハ融通手形ノ關係人ト雖トモ正當所持人ニ對シテハ責任アリトシ又第二十七條第二項所持人ハ報償ヲ與フルハ其與フル時日ヲ問ハズシテ引受人或ハ其他以前ノ關係人ヲ訴フルコトヲ得ヘントシ又第二十九條第二項ヨレハ約因ノナキハ手形ニ附帶スル瑕疵ト云フヘカラヌマテ手形ニ附帶スル瑕疵トハ詐欺脅迫其他不法ノ手段或ハ不適法ノ約因ヲ以テ手形或ハ其引受クテ得タルトキ或ハ手形ノ流通サナヌニ際シ詐欺トナルヘキ手段ヲ用サタルトキトセリ故ヨ今日ヨ於テハ手形ヲ作為スルトキヨ約因ナキコト融通引受ノ如キハ滿期日後ノ正當所持人ノ權利ヲ害スルコトナシサレトモ唯々期限滿ツレハ決シテ他人ニ移轉セサルヲ約シタルトキハ例外ナリ

支拂當日ヨ於テナシタル裏書ハ期限ノ到ラサル前ノ讓渡シト見做シ居レリ滿期日後ノ手形ノ讓受人ハ若シ其直接讓渡人正當所持タルノ權利ヲ有スレハ手形ヲ作為スル當時ノ瑕疵或ハ以前ノ對手ノ權利ニ附着スル瑕疵ハ其權利ヲ害ス

ルナシ此期限以後ノ讓受人カ負フヘキ瑕疵ハ唯手形自体ニ附帶スヘキ瑕疵ノミナルカ故ニ約束手形ノ振出人ハ受取人ニ對シテ差引ノ權利アリトスルモ讓受人ハ之ヲ負担スル義務ナシ然レトモ今精算ノ爲メニ委託セル流通證券期限後ニ至リ移轉サレタルトキヨハ其讓受人ノ權利ハ全ク精算ノ結果ヨ因ル又相殺ヲ爲スノ約束アルトキハ期限後ノ讓渡シハ之ヲ消滅セシムルコトヲ得テ即チ讓受人相殺爲スノ義務アルナリ

### 第十九回

請求次第支拂フヘキ爲替手形ハ相當ノ期限ヲ經過スルトキハ滿期日ヲ超過セルモノト見做スナリ蓋シ請求次第支拂フヘキ爲替手形ハ相當期日間ニ他人ニ移轉スルカ或ハ支拂人ニ支拂ヲ請求セサル可カラサルモノナレハナリ以是相當期日ヲ經過セル後其手形ノ移轉ヲ受ケタルモノアレハ其手形ニ附着セル瑕疵ハ必ズ其讓受人或ハ被移轉人ノ手ニ傳ハルモノトス  
此規則ハ仍振出小切手ノ場合ニモ適用スルコトヲ得ルモノナリ  
Down v. Hallidayノ事件ニヨレハ甲者ハ振出小切手ノ所有者ニシテ之ヲ紛失シ

ナルモノナルニ乙者ハ其手形ヲ拾得シ五日ヲ經過セル後之ヲ丙者ニ讓渡シ丙者ハ銀行ヨリ其手形ノ支拂ヲ受ケタル事實ニ對スル判決ハ五日ノ經過ハ相當ノ期限ニ超過セルモノナルカ故ニ丙者ハ之ヲ讓受シルモ乙者ノ有スル權利ヨリ優等ナル權利ヲ得ルコト能ハス既ニ優等ナル權利ヲ得ルコト能ハストスレハ其手形ニ付キ受取リタル金額ハ之ヲ甲者ニ返戻セサルヘカラスト又ホルロイド氏ハ該訴件ニ於テ曰ク振出小切手ハ早時ニ支拂フヘキモノナルカ故ニ之ヲ所持スルモノハ自ラ危險ヲ冒スモノナリ期限經過後ニ讓受シル者モ亦其危險ヲ冒ス者ナリト然レトモ定期拂ノ手形ニシテ其期限ヲ經過セル者ト單ニ數日ヲ經過シタル振出小切手トハ區別セサル可カラズ定期拂ノ手形ニ於テハ若シ其期限ヲ經過スル時ハ決シテ正當ノ所持人之ナキカ故ニ其期限經過後ニ之ヲ讓受シルモノハ自己ヨリ以前ノ對手カ負擔スル責任或ハ資力ニ付キ疑團ヲ抱カサル可カラサルモノナレトモ唯ク數日ヲ經過シタル振出切手ノ場合ニ於テハ陪審官カ詐欺ヲ推測スルノ證據トナルノミニシテ決テ反證ヲ舉グルヲ禁セラルヘモノニアラサルナリ又請求次第支拂フヘキ約束手形ハ單ニ相當期限ノ經過セル一事ヲ以テ被移轉人

ニ取據ヲ傳フルモノニアラズ何トナレハ英法ニ於テハ請求次第支拂フヘキ約束手形ハ繼續セル保證ナリトノ原則アルヲ以テナリ  
 爲替手形ハ引受人支拂ヲナシタルトキハ直ニ消滅シ又約束手形ハ振出人カ期限ノ來レル時ニ支拂ヲナシタルトキハ消滅スルモノナリサレトモ持參人拂ノ約束手形ニ於テハ振出人特ニ政府ヨリ許可ヲ受ケタルトキハ一ツヒ支拂ヲナシタルトキト雖モ仍ホ再發スルコトヲ得ヘシ融通手形ノ場合ニ於テハ融通ヲ受ケタルモノ満期日ニ於テ支拂ヲナシタルトキハ再發スルヲ得ス又請求次第支拂フヘキ約束手形ニテモ一ツヒ支拂アリシトキハ再發スルヲ許サズ老德ニレノボロー氏曰ク爲替手形ハ引受人カ支拂ヲナスカ或ハ他人之レカ爲メニ支拂ヲナシタルニアラサレハ無窮ニ流通スヘキモノナリト故ニ爲替手形或ハ約束手形ハ最終ノ責任ヲ負擔スヘキモノ支拂ヲナシタルトキハ直ニ消滅スヘシ爲替手形ノ振出人或ハ裏書人支拂ヲナスモ決シテ手形ハ消滅ニ歸セヌシテ引受人或ハ約束手形ノ振出人或ハ以前ノ對手ニ對シテハ依然手形上ノ權利ヲ有ス又自己ヨリ以後ノ裏書ヲ削去シ更ニ他人ニ移轉スルコトヲ得

手形ノ満期日前ニ支拂ヲナシタルモノナルトキハ正當所持人ハ完全ノ權利ヲ得ルモノナリ老徳ニレンボロー氏ハバービッシュ對マンナーズ(Burbridge v. Manners)ノ訴件ニ於テ曰ク手形ハ満期日ニ支拂アレバ再ヒ發スルコトヲ得サルモノナルカ故ニ正當ノ裏書讓受ヲナシタル者モ決シテ手形上ニ如何ナル權利ヲモ得ル能ハサルヤ明カナリ然レトモ満期日前ノ支拂ハ之ト大ニ其効力ヲ異ニスルモノニシテ若シ満期日前ノ支拂ヲ以テ手形ヲ消滅セシムルノ原由トセハ流通上ニ一ノ障礙ヲ與フルモノナリ何トナレハ手形讓受人ハ己之ヲ讓受スルニ際シ既ニ支拂アリシヤ否ヤハ到底探知スルヲ得サレハナリト又手形ノ引受人ハ満期日ニ於テ全額ノ一部ヲ支拂フトキハ其所持人ハ他日之ニ對シテ其殘額ヲ請求スルヲ得ルニ過キサルナリ

手形カ引受人振出人或ハ裏書讓渡人ニ移轉シタルトキハ再ヒ之ヲ他人ニ移轉スルコトヲ得ルナリサレトモ自個ヨリ裏書讓渡人ニ至ルマテノ仲間對手ヲ訴フルコトヲ得ズ

會テ講述シタルカ如ク手形ノ裏書ハ之ヲ他人ニ移轉スルニハ全額ノ讓渡ナラザル可カラサルヲ以テ手形上ニ其一部ヲ讓渡スルコトヲ記載スルトキハ其讓受人ハ手形上ニ抑留權ヲ得ルモ引受人或ハ其他ノ關係人ヲ訴フルニハ自個ノ名義ヲ以テスルコトヲ得ズ必ズ裏書讓渡人ノ名義ニテ之ヲ爲サハル可カラス然レトモ若シ全額ノ讓渡ナレハ讓渡人ト讓受人トノ間ノ約束ハ如何ナルモ法律ノ間ヲ所ニアラステ全部ノ權利ヲ得ルモノナリ故ニ表面上全部ノ讓渡ニシテ内部ハ唯々其四分ノ三ヲ讓渡シタルニ過キサル場合ニテモ法律上ハ全部ノ讓渡シトナシ他人ノ所持スル部分ニ對シテハ被信託者ナリト見做モノナリ

手形ノ所持人満期日或ハ其以後ニ於テ絶對的ノ釋放ヲナシタルトキハ手形ハ之レカ爲メニ消滅スヘシ然レトモ釋放ヲシテ充分ノ効力アラシムルニハ書類ヲ以テスルニアラサレハ必ズ手形ヲ引受人ニ返戻セサル可カラズ而シテ手形ノ關係人ハ満期日ノ前後ヲ問ハス約因ナクシテ所持人ヨリ義務ノ釋放ヲ受クルコトヲ得ルモ其釋放ヲ得タル關係人ハ正當所持人ニ對シテ尙ホ責任ヲ免カルコトヲ得サルナリ

又所持人死去スルトキハ其動産相續人之ヲ移轉スヘク身代限ヲナシタルトキハ



流通證書  
ハ死因ノ  
贈與ノ目  
的トナス  
ヲ得

管財人之ヲ移轉スヘキナリ  
英法ニ於テ流通證書ハ死因贈與 (Donatio mortis causa) ノ目的物トナスコトヲ得ル  
ヤ否ヤニ至リテハ一ノ問題ニ屬スルモノナリ死因ノ贈與トハ贈與者カ己レノ死  
去ヲ豫想シテ死去ノ際始メテ充分ノ効力ヲ生スヘキ條件ヲ以テ他人ニ物件ヲ贈  
與スルモノヲ云フモノニシテ今日ニ於テハ英法ハ振出小切手ヲ除外ハ死因ノ  
贈與ノ目的物トナスコトヲ得ヘシトセリ其振出小切手ヲ以テ例外トナス所以ノ  
モノハ振出人ノ死去ハ支拂ヲナスノ權力ヲ消滅セシムルモノナレハナリト云フ  
ニアリ蓋シ本人死去スレハ代人ノ權力ハ法律上直ニ消滅スルモノトナスカ如ク  
振出人ノ死去ハ之ヲ知ルト否トヲ論セズ支拂人支拂ヲナス權力消滅スルモノト  
スルカ故ナリ

(附言)死因ノ贈與ハ諸君カ次學年ニ於テ衡平法ヲ學得スルノ際詳細ニ知ラルヘ  
キモノナルカ故ニ茲ニ詳述セサルヘント雖トモ今其遺囑贈與ト類似スルノ  
點及相違スルノ點ヲ舉ゲ且ツ生者間ノ贈與ト如何ナル異同アルベキヤヲ辨  
セシニ遺囑贈與ナルモノハ遺囑證書ヲ作爲シテ以テ某物件ヲ與ヘ其受贈者

ハ贈與者カ死去ノ後ニ至リ之ヲ受クルコトヲ得ルモノヲ云フ今其死因ノ贈  
與ト同一ナル點ヲ舉クレハ……(一)生存中ハ任意ニ取消スヲ得ルコト……(二)  
通常負債ヲ辨償シタル後ニテラサレハ受クルヲ得サルコト是レナリ又其差  
異アル點ヲ舉クレハ……(一)死因ノ贈與ハ其方式ニ於テ絶對的ノ贈與ナリト  
雖トモ遺囑贈與ハ死後ニ始テ其効力ヲ生ス……(二)死因ノ贈與ハ遺囑贈與ノ  
如ク管財人ノ承諾ヲ得ルヲ要セス……(三)死因ノ贈與ハ受贈者ニ引渡スニコ  
リテ成立スルモ遺囑贈與ニアリテハ引渡スヘキモノニアラサルコト是レナ  
リ又死因ノ贈與ト生者間ノ贈與トノ差異アル點ハ生者間ノ贈與ハ一ツヒ實  
行スルトキハ再ヒ取消スヘカラサルモ死因ノ贈與ハ然ラサルノ點ニアリ

第二十回

第五章 法律ノ抵觸 (Chapter IV Conflict of Law)

余ハ本章ニ於テ流通證書ニ關スル權利義務ハ何レノ國ノ法律ニ依リテ之ヲ定ム  
ルヤノ問題ニ付キ講述スル所アラントス  
凡ソ英國ニ於テ振出シタル手形轉帳シテ外國ニ到ルコトアリ又外國ニ於テ振出

法律ノ抵觸

シタル手形轉帳シテ英國ニ來ルコトアリ此場合ニ於テハ其手形ニ對シテ英國ノ法律ヲ適用スヘキカ將テ他國ノ法律ヲ適用スヘキカヲ定ムルコト實ニ必要ナリトス例ヘハ甲國ニ住居シ有スルモノ乙國ニ到リテ土地ヲ購求セントシ丙國ニ於テ支拂フヘキ手形ヲ振出セシカ其後丁國ニ到リテ其手形ニ付キ訴訟ヲ提起シテリトセンニ此場合ニ於テハ住居地ノ法律(Lex domicilii)ヲ適用スヘキカ或ハ結約地ノ法律(Lex loci contractus)ヲ適用スヘキカ或ハ物件所在地ノ法律(Lex loci rei sitae)ヲ適用スヘキカ或ハ又契約履行地(Lex loci solutionis)若シハ起訴地ノ法律(Lex fori)ヲ適用スヘキカヲ定メサルヘカラス以下逐次之ヲ詳述セム

第一

第一 結約地ノ法律

契約ニ關スル方式及契約ヲシテ有効ヲラシムル約因ノ如キモノハ總テ契約締結地ノ法律ニ依リテ之ヲ定ムルヲ以テ一般ノ原則トス契約ノ解釋契約ノ性質義務又ハ其効果ノ如キモノモ亦結約地ノ法律ニ依リテ之ヲ定ムルコトアリ若シ夫レ或契約ニシテ其締結地ノ法律ニ從ヒ其規定ナル所ノ方式ヲ踐ミ完全無欠ノモノトナルトキハ何レノ國ニ至ルモ亦有効ナリトス之ニ反シテ若シ結約地ノ法律ニ

依リテ無効ノモノナルトキハ何レノ國ニ至ルモ亦無効ナルヘシ例ヘハ英國法律ニ於テハ無記名ノ裏書ヲ以テ有効ノモノト見做スト雖モ佛國法律ニ於テハ特別ニ法律ノ定ムル條件ヲ踐マサレハ斯ル裏書ヲ無効トセリ故ニ若シ佛國ニ於テ無記名ノ裏書ヲ爲シ英國ニ至リテ其手形ニ付キ訴訟ヲ提起シタルトキハ裁判所ハ其無記名ノ裏書ヲ以テ有効ノモノト見做サハルナリ、  
 借結約地ナル語ハ契約ヲ完結シタル場所ノ謂ニシテ締結ニ着手シタル場所ノ謂ニアラヌ故ニ爲替手形又ハ約束手形ニ署名シタルカ又ハ之ニ月日ヲ記載シタルコトアルモ未ダ實際ニ其手形ノ引渡ヲ爲サハルトキハ決シテ其場所ノ法律ヲ適用スルコトナシ辭ヲ換テ之ヲ云ヘハ爲替手形又ハ約束手形ノ振出人カ受取人ニ手形ヲ渡シタル場所或ハ裏書讓渡人カ裏書讓受人ニ手形ノ引渡ヲ爲シタル場所ハ即チ結約地ナリトス  
 契約解釋ノ目的ハ結約者ノ意思ヲ探究スルニアリ是故ニ若シ契約ヲ締結シタル場所ノ法律ヲ適用セサルトキハ往々結約者ノ意思ヲ誤ラシムルコトアルヘシ何トナレハ同一ノ文字ナルモ諸國ノ法律各其意義ヲ異ニスルヲ以テ結約者ハ必ス

締約地ノ法律ヲ目的トシタルモノト云ハサルハカラサレハナリ例ハ一月トハ  
 三十日ノ間ナルカ將々曆月ノ間ナルカノ問題ノ如キハ一ニ締約地ノ法律ニ依リ  
 テ之ヲ定メサルハカラズ  
 契約ノ性質トハ締約者ノ義務共同ナルカ將々格別ナルカ或ハ又共同ニシテ且格  
 別ナルカノ間ナリ此等ノ事項ハ專ラ契約締結地ノ法律ニ依リテ之ヲ断定セサル  
 ハカラズ又契約ノ義務如何ニ付テハストリー氏ノ言能ク其真相ヲ穿ツモノハ如  
 シ即チ其言ニ曰フ若シ或契約カ一國ノ法律ニ依リテ對人ノ義務ヲ生スルモノニ  
 アラスシテ單ニ物件上ニ其義務ヲ負擔セシムルモノナルトキハ其契約ハ何レノ  
 國ニ至ルモ決シテ對人ノ義務ヲ生スルコトナシ彼ノ書入質ノ場合ニ於テ若シ質  
 取主カ直チニ抵當物件ヲ賣却シテ其代價ヨリ貸金ノ辨償ヲ受クルモノトセハ質  
 取主ハ何レノ國ニ至ルモ唯々此救済ノ方法ヲ行フコトヲ得ルニ過キサルナリ又  
 第三者ノ負債ヲ辨償スルコトヲ約束シタル者ハ先ツ債主ニ於テ債主ヲ訴ヘ其  
 財産ヲ差押タル後ニアラサレハ其義務ヲ負擔セサルモノナルトキハ其債主ハ何  
 レノ國ニ至ルモ決シテ債主ヲ捕テ直チニ其辨償ヲ約束シタル者ヲ訴フルコト

第二

得ス故ニ保證人及裏書讓渡人等ノ責任ハ契約締結地ノ法律ニ依リテ之ヲ定ム  
 一キモノトス又若シ一國ノ法律ニ依リ裏書讓受人カ或期限ノ經過ヲ以テ其責任  
 ヲ免ルハコトヲ得ルトキハ尙モ其期限ノ盡了スルアラハ何レノ國ニ至ルモ決シ  
 テ責任ヲ負擔セシメラルハコトナシト  
 契約ノ効力ハ締約地ノ法律ニ依リテ之ヲ断定スルヲ以テ一般ノ原則トス故ニ契約  
 無効トナスヘキ答辨或ハ契約ヲ解除スル所ノ原因等ハ一ニ締約地ノ法律ニ依  
 リテ之ヲ定メサルハカラズ是ヲ以テ若シ締約地ノ法律ニ依リ幼者若クハ既婚婦  
 ノ如キモノハ手形上ノ責任ヲ免ルハトキハ何レノ國ニ至ルモ之ヲ以テ抗辨ノ理  
 由トナスコトヲ得ヘシ  
**第二 住所地ノ法律**  
 甲國ノ人偶々乙國ニ至リテ契約ヲ締結シタルトキハ其契約ニ付テハ甲國ノ法律  
 ヲ適用スヘカ將々乙國ノ法律ヲ適用スヘキカノ問題ヲ生スヘシ若シ夫レ其契約  
 ニシテ乙國ニ於テ履行スヘキモノナルトキハ勿論乙國ノ法律ヲ應用セサルハカ  
 ラズ例ヘハ下宿料又ハ必需品ニ對シテ約束手形ヲ振出シタルトキハ其手形ハ契

約締結地ニ於テ之ヲ支拂フヘキモノナルカ故ニ其地ノ法律ヲ適用スヘキコト素ヨリ論ヲ俟ツサルナリ然レトモ甲國ノ人カ乙國ニ於テ特別ノ商店ヲモ有スルコトアラヌシテ唯々契約ヲ締結スルノ意見ヲ抱テ同國ニ到リタルニ過キサルモノトセハ其契約ノ効力ハ或ハ甲國ノ法律ニ依リテ之ヲ定ムルコトアルヘシ余ハ今諸君ノ參考ニ供センカ爲メ住所ノ何タルヤニ付テ數言ヲ費スヘシ

借住所トハ英語ノ所謂「ドミニル」ニシテ猶ホ本籍地トモ可クヘキモノナリ而シテ此住所ナルモノハ又々住居ト同一視スヘキモノニアラス彼ノ支那人カ出稼ノ爲メニ米國ニ渡航スルトキハ其住居ヲ米國ニ得ルコト明カナリト雖モ然レトモ其住所ハ依然トシテ支那ニアリトス左レトモ若シ其支那人コシテ暫シ米國ニ住居セシコトヲ希圖シ當時本國ニ歸ルノ意思ヲ抱カサルトキハ則米國ニ於テ住所ヲ得ルコトナルヘシ畢竟スルニ住所ヲ組成セシコトハ現ニ或場所ニ在住シテ當時何所ニモ移轉セサルノ意思アルコトヲ必要トス

第三

第三 契約履行地ノ法律

前ニ述ヘタルカ如ク若シ契約ヲ締結地ノ法律ニ依リテ有効ナモノナルトキハ何

レノ國ニ至ルモ亦有効ナリトス然レトモ或場合ニ於テハ締約地ノ法律カ數歩ヲ履行地ノ法律ニ讓ラサルヲ得サルコトアリ蓋對手人コシテ特ニ或國ヲ以テ契約履行ノ地ト定メタルトキハ必ズ其場所ノ法律ヲ目的トシテ契約ノ條項ヲ定メタルモノト推測セサルヲ得サレハナリテ「ノー」氏曰ク人若シーノ場所ニ在リテ他ノ場所ニ於テ履行スヘキ契約ヲ締結シタルトキハ之ニ適用スヘキ原則ハ誠ニ明瞭ナリトス何トナレハ其契約ハ履行地ノ法律ヲ以テ之カ効力ヲ斷定スヘキコト素ヨリ論ヲ俟ツサレハナリト故ニ若シ爲替手形ノ引受人或ハ約束手形ノ振出人カ引受又ハ振出ヲ爲シタル場所外ニ於テ其手形ノ支拂ヲ爲スヘキコトヲ約束シタルトキハ其支拂地ノ法律ハ即チ該契約ニ適用スヘキ法律ナリトス然レトモ斯ノ如ク締約地以外ノ法律ヲ適用センコトハ締約者ニ於テ特ニ契約履行ノ場所ヲ撰擇スルコトヲ要ス是故ニ對手人ニ於テ手形振出ノ當時唯々ニ振出地ヲ記載シタルノミニシテ其他特ニ履行ノ場所ヲ記入セサリシトキハ亦其振出地ノ法律ヲ適用セサルヘカラス

第四 起訴地ノ法律

違約ニ關スル救済ハ訴訟ヲ提起シタル場所ノ法律ニ依リテ之ヲ定メサルヘカ  
 故ニ(第一)原告或ハ被告ナルヘキ人(第二)訴ヲ起スヘキ期限ノ如キハ一ニ其裁判  
 所々在在ノ法律ヲ適用スヘキモノトス例ヘハ出訴期限ノ如キ日英各其規定ヲ異  
 ニシ一ハ非常ニ長ク一ハ非常ニ短シト仮定センニ若シ其短期ノ規定アル國ノ裁  
 判所ニ訴出スルトキハ其本國ニ於ケル期限ノ如何ト權利ノ有無如何ト先論セス  
 一ニ其法廷所在地ノ法律ニ依リテ之ヲ定メサルヘカフス證據ニ關スル問題モ亦  
 起訴地ノ法律ニ依リテ之ヲ定ムルモノトス例ヘハ證人ノ能力ノ如キ若クハ或契  
 約ハ書類ニ記載セサレハ訴出スルヲ得スト云ヘル詐欺條例ノ如キ即チ是レナリ  
 第五、物件所在地ノ法律

不動産ノ讓渡ニ關スル方式若シハ其讓渡ノ効力ハ一ニ其所在地ノ法律ニ依リア  
 之ヲ定メサルヘカラス然レトモ對手人ニ於テ手形ヲ振出スト同時ニ不動産ノ書  
 入質ヲ爲シタルトキハ其契約ハ締結地ノ法律ニ依リテ之ヲ定ムヘキヤ將々物件  
 所在地ノ法律ニ照シテ之ヲ定ムヘキヤノ疑問ヲ生スヘシ而シテ此點ニ付テハ英  
 國ニ於テ未ダ一定シタル判例ナキカ如シト雖モ若シ其書入質カ手形ニ附帶シテ

之ト主從ノ關係アルトキハ締約地ノ法律ヲ適用シテ之カ効力ヲ定メサルヘカ  
 又英國法律ニ依レハ既婚婦其別産ナル不動産ニ關スル手形ヲ振出ストキハ專  
 ラ所在地ノ法律ニ依リテ其効力ノ如何ヲ定メサルヘカラス

### 第二十一回

### 第六章 拒絕證書及略記 (Chapter VI Protest and Notings)

拒絕證書及略記

既ニ詳述セル如ク爲替手形ハ正當ノ手續ヲ踐ミ之ヲ提示シタルニ引受若シハ  
 支拂ヲ拒絕セラレシルトキハ所持人ハ直ニ振出人裏書人ニ對シテ遡求スルノ權  
 利ヲ得ルナリ然レトモ此權利ヲ伸暢センニハ所持人ニ於テ必ズ拒絕セラレタル  
 通知ヲ與ヘサルヘカラス之ヲ拒絕ノ通知 (Notice of Dishonour) ト云フ又國外手形ノ  
 場合ニ於テハ所持人ハ拒絕證書ヲ得ルカ或ハ拒絕セラレタル當日ヨリ手形ノ畧記  
 ヲ得サルヘカラス約束手形ノ場合ニ於ケルモ同一ノ原則ニ依ラサルヲ得ス約束  
 手形其支拂ヲ拒絕セラレタル場合ニハ所持人ハ裏書人ニ拒絕ノ通知ヲ與ヘサル  
 ヲ得ス

國外手形ニシテ其表面上國外手形ナルコト明カナル場合ニ於テハ所持人ハ證人

ノ官署ニテ拒絶證書ヲ得サル可カラズ、而シテ其拒絶證書ヲ作ル場合ハ支拂人引受ヲ拒絶セルトキ、或ハ一部分ノ引受ケヲナシタルトキ、或ハ引受ヲ拒絶セサルモ支拂ヲ拒絶シタルトキニアリトス、英國法律ニヨルトキハ國內手形ニ付テハ拒絶證書ヲ作爲スルノ必要ナシト雖トモ、歐州大陸ノ法律ニ從ヘハ手形ハ其種類何クルニ問ハズ必ズ拒絶證書ヲ作爲セサルヘカラス、故ニ國際上其法律ノ抵觸ヲ防止セシメ爲メニ英國法律ニ於テモ國外手形ハ拒絶證書ヲ作爲セサルヘカラス、而シテ此拒絶證書ハ振出人ニ拒絶ヲ通知スルノ確證タリ、若シ拒絶證書ナクハ外國ニアリテ其事情ヲ探知スルノ便宜ナク、一ニ所持人ノ陳述ヲ信セサルヘカラス、且ツ拒絶證書ハ以前ノ關係人ニ責任ヲ負ハシムル最上證據ナリ、何トナレハ他邦ノ裁判所ニ於テモ官吏ノ所爲ニ付テハ充分ノ信憑ヲ措クモノナレハナリ、乍去實際國外手形タルモ表面上國外手形タルコト明カニ顯ハル、モノニアラサレハ之ヲ作爲スルノ必要アルコトナシ、拒絶證書ヲ作爲スルモノハ通常公證人 (Public Notary) ナリ、然レトモ支拂ノ場所或ハ其近傍ニ公證人ナキトキハ其地ノ人二人ヲ證人トナシ其面前ニ於テ作レル證

書ヲ以テ拒絶證書ニ充ルモノトス、拒絶證書ハ引受或ハ支拂ノ拒絶セラレタル當時ニ作爲スルヲ通例ナリトスルモ、若シ署名記ヲ作爲スルトキハ起訴前或ハ審理中ニ之ヲ作ルモ有効ニシテ、但シ其日附ヲ拒絶セラレタル當日ニセサルヘカラス、ナリ、又該證書ハ拒絶セラレタル場所ニ於テ作爲セサルヘカラス、然レトモ若シ支拂人ノ住居或ハ商店以外ノ地ニ於テ支拂ヘキ手形拒絶セラレタルトキハ支拂地ニ於テ作ルヘキナリ、

拒絶證書ハ公證人ノ署名セル有式ノ證明ニシテ、左ノ事項ヲ詳細ニ記入スルモノトス、即チ……(一)何人ノ爲メニ拒絶證書ヲ作ルモノナルヤ……(二)拒絶證書調製ノ場所及時日……(三)拒絶證書調製ノ理由……(四)引受或ハ支拂ノ請求アリシコト……(五)支拂人或ハ引受人ヲ探知スルコト能ハサル事實是レナリ、若シ制限引受ノタメニ拒絶證書ヲ作爲スルトキハ其事實ヲ明記セサルヘカラス、否ラサレハ所持人ハ制限引受アルモ其權利ヲ主張スルコトヲ得サルナリ、不引受或ハ不支拂ノ爲メニ拒絶證書ヲ作ル場合ノ外尙ホ一種ノ場合アリ、即チ優等ナル保證ノタメニ作爲スルコト是レナリ、コトハ引受人身代限ヲナスカ或ハ負債

サ償却スルノ資力ヲ失スルカ或ハ又正當ノ負債ヲ支拂ハサル場合ニ所持人ハ公證人ニ對シテ手形ヨリモ優等ナル保證ヲ請求スルナリ此場合ニ手形拒絶セラレタルトキハ拒絶證書ヲ作り以テ自己以前ノ對手ヲ訴フルノ權利ヲ得ヘシ而シテ此起訴權ヲ實行スルニ付テハ所持人ハ其手形ノ満期日ヲ俟テサル可カラズ此拒絶證書ハ一般ノ拒絶證書ト其利益ノ大小ニ於テ毫モ差異ナシト雖トモ唯テ此場合ニハ榮譽引受ノアルヘキ希望アリトス

以上拒絶證書ノコトヲ畧説シタルハ以下畧記ノコトニ關シテ講述スヘシ

畧記トハ公證人カ手形ノ引受或ハ支拂ヲ拒絶セラレタル場合ニ於テ其大要ヲ手形ニ記入スルヲ云フ其記入スヘキ事項ハ公證人ノ氏名年月日記入ノ入費等ナリ英國ノ法律ニ於テハ國內ノ手形ノ拒絶セラレタル場合ニハ此方法ニ依ルモノトス其理由ハ公證人ハ手形ノ取扱ニ熟練セルモノナレハ所持人ニ正當ノ手續ヲ履行セシノ或ハ又訴訟ノ提起セラレタルトキニ手形ノ拒絶セラレタルコトヲ證明スルノ證人クランムルニヨルナリ

若シ振出人外國ニアルトキハ拒絶ノ通知ト共ニ拒絶證書ノ謄本若シハ拔書ヲ送

致セサルヘカラス然レトモ若シ振出人所持人ト同國ニ居住スルトキハ其謄本若シハ拔書ヲ送致スルノ必要アルコトナシ何トナレハ外國ニ居住スルトキハ其事情ヲ知ルニ由ナケレハナリ

拒絶證書ハ拒絶ノ通知ヲ必要トセサル事情ニヨリ省略スルコトヲ得又正當ノ事情アルトキハ拒絶證書ヲ作為スルニ多少ノ遅延アルモ爲メニ所持人ノ權利ヲ害スルコトナシサレトモ其事情ノ消滅セルトキハ相當ノ期限内ニ拒絶證書ヲ作為セサルヘカラス其詳細ハ後章ニ述フヘシ

國內手形ノ拒絶證書ハ一ニ所持人ノ隨意ニアリテ通常之ヲ作為セサルナリ又手形ノ紛失ハ拒絶證書ヲ必要トナサハルノ理由コアラズシテ唯テ正本ナキカ故ニ謄本ヲ以テ之ヲ作ルノ外ナシ

拒絶ノ通知

第七章 拒絶ノ通知 (Chapter. VII Notice of Dishonour)

已ニ述フルカ如ク爲替手形或ハ約束手形ノ引受若シハ支拂ヲ拒絶セラレタルトキハ所持人其拒絶ノ通知ヲ振出人或ハ裏書人ニナサハルヘカラス故ニ振出人或ハ裏書人其通知ヲ受ケサレハ全ク其手形上ノ責任ヲ免カルハナリ此拒絶ノ通知

ヲ論スルニ付テハ左ノ九項ヲ論述セザルヘカラス即チ

- 第一、通知ノ方式ハ如何
- 第二、通知ノ方法ハ如何
- 第三、通知ヲ與フルノ場所如何
- 第四、通知ヲ與フルノ時日如何
- 第五、通知ヲ爲スヘキ人ハ誰ナルヤ
- 第六、通知ヲ受クルモノハ誰ナルヤ
- 第七、通知ヲ送致セサルノ結果ハ如何
- 第八、通知ヲ免スルノ理由如何
- 第九、拒絶通知ヲ證明スルノ方法如何

是ナリ以下詳説スヘシ

### 第二十二回

#### 第一、通知ノ方式

茲ニ所謂通知トハ通知ヲ與フルノ意ナルカ故ニ振出人或ハ裏書人ハ實際手形ノ

拒絶サレタルコトヲ知ルモ仍ホ所持人ハ之ニ通知ヲ與ルベカラズ而シテ其通知ノ方式如何ニツキテハ法律上一定セルモノ之レナリ或ハ書類或ハ口頭或ハ半ハ書類ニ半ハ口頭ヲ以テナスコトヲ得ルナリサレトモ通知ヲ與フルコトハ拒絶セラレタル手形ハ如何ナル手形ナルヤヲ了知シ得ヘキ様記載セザルヘカラス又英國法律ニ於テハ手形ヲ返戻スルコトハ充分ノ通知トナリ得ヘキナリ、又所持人カ拒絶ノ通知ヲ與フルコト付テハ他ノ手形ト混同スヘキ通知ヲ與フヘカラス故ニ通知ヲ受クルモノ何レノ手形ナルコトヲ知ル能ハサルカ如キ通知ハ其効力ナキモノトスサレトモ拒絶ノ通知ニハ手形ノ所在ヲ記載スルコト及ハサルナリ

第二、通知ヲ與フルノ方法

通知ヲ與フルノ方法ハ多クハ書狀ヲ郵送スルコトアリ而シテ所持人ハ對手人ノ通知ヲ受取リシコトヲ證明スルノ責ナク唯ダ通知ヲナンタリトノ舉證ヲナセハ充分ナリトス

第三、通知ヲ與フルノ場所



所持人通知ヲ與シテ己レノ責任ヲ負ハシメントスルモノ、商店若シハ住居  
在ナズルキナリ

第四、通知ヲ與フルノ時期、拒絶セラルル時或ハ相當ノ期限内ニナサ  
ルニカテサルハ一般ノ原則ナリトス然ラハ相當ノ期限ハ如何ニシテ定ムヘキモ  
ノナルヤハ各場合ノ事情ニ從ヒ定ムヘキ法律上ノ問題ナリ而シテ其期限ニツキ  
テハ通知ヲナスモノト受クルモノト同一ノ地ニ住スルカ否ヤテ區別セサルニカ  
テスルハ、住所異ナレハ(特別ノ事情ナキ以上)拒絶セラレタル翌日ニ通知ヲ送ラサレハ相  
當ノ期限内ニ與ヘタル者ト見做サ、ルナリ然レドモ其翌日中ニ郵便ノ集配ナシ  
シハ其翌々日ノ第一便ニ托セサルヲ得ス例之今日拒絶セラレタルトキニハ明日  
ノ郵便ヲ以テ通知セサルニカテサルニ明日中郵便ノ集配ナキトキハ明後日ノ郵  
便ニ又明後日モ郵便集配ナキトキハ順次遅延スルキナリ故ニ今日投函スルモ第  
四日目ニアラサレハ開函ナキコト明瞭ナルトキハ第四日目ニ至リテ投函スルモ

今日投函スルモ其効果ニ於テ毫末ノ差異アルコトナシ若シ住所同一地ナルトキ  
ハ拒絶サレタル翌日ニ受取ルコトヲ得ヘキ時期ニ通知ヲ與ヘサルニカテス又手  
形關係人ノ一人拒絶通知ヲ受ケタル場合ニ於テ其以前ノ關係人ニ通知ヲ與フル  
ニモ同一ノ猶豫期限ニ從フヘキモノトスルハ、原告ハ相當ノ期限  
内ニシテ且ツ起訴前ニ通知ヲ與ヘタルコトヲ證明セサルニカテス其書讀受人目  
リ其讓渡人ニ對スル訴訟ニ於テ證人ハ手形ノ拒絶後二三日間ニ通知ヲ與ヘタル  
コトヲ證明セリトシテ原告ハ三日以内ニ通知ヲナシタル  
コトヲ陳述スルモ三日目ニ通知ヲ與ヘタルハ其効力ナキナリ而シテ原告ハ二日  
ノ期限内ニ通知ヲナシタルコトヲ證明セサルニカテス若シ原告ハ其證明ヲ  
ナスコト能ハサルトキハ敗訴セサル可カラサルモノナリトスルハ、原告ハ  
又其書讀渡人拒絶ノ通知ヲ與フルニ付テハ所持人ノ有スル期限ト同一ノ猶豫期  
限アリ若シ數多ノ其書讀渡人アリタルトキニハ其相互間ノ期限ハ通知ヲ受クル  
モノト之ヲ與クルモノト異ニヨリテ差異アルカ故ニ通知ヲ受クルモノト與フルモ

流通証書法

ノトヲ論述スルトキニ於テ詳ニスヘシ  
 第五、通知ヲ與フル人  
 通知ヲ與フヘキモノハ通常所持人ナレトモ裏書人ト雖モ其當時手形上ニ責任ヲ  
 ルモノナレハ亦通知ヲ與フルノ權利アリ而シテ此通知ノ目的ニエアリ第一通知  
 ヲ受取ルヘキモノニ拒絶セラレタルコトヲ知ラシムルコト第二通知ヲ與フルモ  
 ノ之ニ對シテ支拂ヲ希望スルコトヲ知ラシムルコト是レナリ以是手形ノ關係人  
 ヲヲサル外人ハ通知ヲ與フルノ權ナシ又手形ノ所持人ニアテサルモ通知ヲ與フ  
 ルノ權利アル所以ナリロイドエレンボロ氏曰ク第二ノ裏書讓受人ヨリ拒絶ノ  
 通知ヲ受ケサル第一裏書讓受人ノ通知ハ第二ノ裏書讓受人ト振出人トノ間ニ於  
 テハ通知タルノ効力アルコトナシト又手形ノ關係人ト雖トモ所持人ノ不注意ニ  
 テ責任ヲ免カレタルモノハ通知ヲ與フルノ權ナシ然レトモ拒絶ノ通知ヲ受ケタ  
 ル裏書讓受人ハ以前ノ對手ニ通知ヲ與フルノ權利アリ  
 所持人ノ通知ハ其後ノ所持人或ハ通知ヲ受ケタルモノニ對シテ遡求權アル裏書  
 人ノ利ナリ故ニ之ヲ反言セハ通知ヲ受ケタル以後ノ關係人ハ悉ク之ニ對シテ通

知ヲ與ヘタルモノトス又裏書人ノ通知ヲ受ケタルモノヨリ以後ノ裏書人並ニ所  
 持人ノ利ニ歸ス例之最終ノ裏書讓受人振出人ニ對シテ拒絶ノ通知ヲ與ヘタルト  
 キハ各裏書人ノ振出人ニ對シテナシタル通知ト同一ノ結果ヲ生ス又拒絶ノ通知  
 ヲ受ケタル受取人或ハ第一ノ裏書讓受人カ振出人ニ拒絶ノ通知ヲ與ヘタルトキ  
 ニハ裏書人ハ各々通知ヲ與ヘタルモノトナリ又所持人カ振出人ニ通知ヲ與ヘタ  
 ルト同一ナリ  
 手形ヲ抵當ニ取リタル債主ハ引受若シハ支拂ヲ得シカ爲メコ之ヲ提示シ或ハ拒  
 絶ノ通知ヲ與フルノ責任アリ若シ債主之ヲ怠リシトキハ債主ニ對シテ其責ニ  
 任セサルヘカラス

第六、通知ヲ受クル人

振出人或ハ裏書人ハ各々通知ヲ受クルノ權利アリト雖トモ支拂人或ハ引受人或  
 ハ約束手形ノ振出人ハ通知ヲ受クルノ權利ナキナリ  
 所持人拒絶ノ通知ヲナスニ方リテハ法定ノ期限内ニ於テ責ヲ負ハシメント欲ス  
 ルモノ全体ニ通知ヲナスコト尤モ安全ナリトス何トナレハ縦合其直接ノ裏書讓

渡人ニ通知ヲ與フルモ其讓渡人ニシテ以前ノ對手ニ通知ヲ與ヘサルトキニハ所持人ノ權利ハ或ハ實効ナキコトアレハナリ又タ仮令通知ヲ受ケタルモノ順次以前ノ關係人ニ通知ヲ與フルコトアルモ所持人ハ其關係ノ全体ヲ證明スルコト頗ル困難ノ業ナリトス然レトモ若シ數多ノ裏書アリテ所持人ニ於テ裏書人全体相互ノ關係ヲ證明スルヲ得ハ何人ニ對シテ訴訟ヲナスモ可ナルモノトス例之所持人第五裏書讓渡人ニ拒絶通知ヲナシ第五裏書讓渡人ハ第四裏書讓受人ニ對シテ其翌日之レカ通知ヲナシ斯ノ如ク順次第一ニ至ルマテ翌日ニ通知ヲナシタルトキハ所持人ハ第一乃至第五裏書讓渡人ニ對シテ訴訟ヲナスコトヲ得然レトモ若シ其裏書讓渡人ノ一人相當期限内ニ通知ヲナスコトヲ怠リントキニハ假令其他ノ裏書讓渡人カ其遲延ヲ償フニ足ルベキ注意ヲ盡スモ其怠慢者ヨリ以前ノ對手ヲ訴フルコトヲ得サルナリ何トナレハ其讓渡人ハ其當時手形ノ責任ヲ免レタルモノナレハナリ責任ヲ免レタル裏書讓渡人ニシテ手形ノ支拂ヲナシタルコトヲ得トスルモ以前ノ對手ヲ訴フルコトヲ得サルナリ又通知ヲ受クルモノハ必ズ關係人ニ限ルモノニテアラズシテ其代人ニ於テ之ヲ受

クルモ充分ナリ若シ振出人或ハ裏書人身代限ヲナストキニハ其身代限者或ハ其被信託者ニ通知ヲ與フルヲ以テ充分ナリトシ死去セル場合ニハ其動産相續人ニ通知ヲ與フヘシ又手形上ニ連帶責任ヲ負フヘキモノアリテ其間ニ組合員ノ關係ナリ又其一人共同連帶者ニ代ハリ通知ヲ受クルノ權利ナシハ各自通知ヲ受クルノ權アルモノトスルカ故ニ各自ニ通知ヲナサハルヘカラス持參人拂ノ手形ニ於テハ其移轉人ハ通知ヲ受クルノ權ナシ何トナレハ持參人拂ノ手形ニ於テハ仮令手形ハ拒絶セラレタリトスルモ移轉人ハ手形上ノ責任ヲ負フコトナリ又手形ヲ移轉シタル約因ニツキテモ責任ヲ負フモノニアラサレハナリ負債ノ支拂トシテ手形ノ裏書ヲナシタルトキニハ或ハ條件附帶ノ支拂ト見做シ或ハ絶對的ノ支拂ト見做スコトアリ條件的支拂ト見做ストキハ手形裏書ヲ受ケタルモノハ負債ヲ償却スルノ權利アリ故ニ裏書ヲナシタル者ハ通知ヲ受クルノ權アリトス

第二十三回

通知ヲ送致セサルノ結果

第七 通知ヲ送致セサルノ結果

前ニ述ベタルカ如ク手形ノ所持人振出人或ハ裏書人ニ拒絕ノ通知ヲ與ヘサルトキハ之ニ對スルノ權利ヲ消失スルモノトス。而シテ振出人法定期限内ニ通知ヲ受ケサルトキハ或ハ支拂人ニ委託セル資金ヲ取戻スル權ヲ失シ裏書人ノ自己ニ對シテ責任アル關係人ニ對スル權利ヲ薄弱ナランムルニ至ルベシ。故ニ法律ハ拒絕ノ通知ヲ受ケサルトキハ必ズ損害アリシモノト見做シ手形上ノ責任ハ勿論約因ニ對スルノ責任ヲ免カサルモソトス英國ノ法律ニ於テハ會テ被告ガ拒絕ノ通知ヲ受ケサルカ爲メニ損害ノ生シタルコトヲ證明セザレバ可ラサルモノトモシモ今日ニ於テハ拒絕ノ通知ヲ受ケサルコトヲ以テ充分ノ答辨トナシ且ツ原告ノ被告カ之レカ爲メニ損害ヲ蒙ラザリシコトヲ證明スルヲ許サザルナリ。但シ振出人會テ支拂人ニ財産即チ資金ヲ委託セザリシトキハ此限ニ非ス。拒絕ノ通知ヲ受ケズシテ遂ニ責任ヲ免レタル者支拂ナシタル時其自己ヨリ以前ノ對手ニ請求スルコトヲ得ザルナリ然レトモ其例外ト見做スルキハ代人本人ノ爲ニ物品ヲ購求シテ代價ヲ支拂ヒ而シテ本人ニ對シテ手形ヲ振出シタルトキ

拒絕ノ通知ヲ免ヌル理由

一八 假令代人ハ拒絕ノ通知ヲ受ケサルカ爲メニ責任ヲ免カレザリトスルモ若シ其支拂ヲナストキハ本人ニ對シテ手形上ノ請求ヲナストキト得ルニアリ蓋シ本人ト代人トノ間ニハ補償ノ契約アレハナリ

第八 拒絕ノ通知ヲ免ヌル理由

通知ヲ與ユルモノニ一ノ過失ナクシテ生シタル遅延ハ法律上許容スヘキナリ然レトモ遅延ノ原因消滅セルトキハ直ニ通知ヲナサザルベカラズ又拒絕ノ通知ハ通知ヲ與フル時期ノ前後ヲ問ハズ之ヲ受クルノ權利ヲ有スルモノ明意若クハ包意ノ放棄ヲナスコトヲ得例之振出人満期日ノ數日前所持人ニ手形ノ拒絕セラレタルカ將ク否ラサルカヲ尋問スヘキヲ約スルトキハ所持人ハ通知ヲナスノ義務ナキナリ。又所持人相當ノ注意ヲ盡スモ振出人或ハ裏書人ヲ索ルコトヲ得ザルトキハ拒絕ノ通知ヲ免ヌヘキモノナリ。其カ?

流通証券法

第二、支拂人仮設人タルカ或ハ法律上、手形ノ關係人トナリ得ル能力ナキモノタルトキ

以上二個ノ場合ニ於テハ振出人ハ猶ホ約束手形ノ振出人ノ如シ故ニ通知ヲ受ルノ權利ナキナリ

第三、手形ノ支拂提示ヲ受ケタルモノ振出人タルトキ此ハ振出人手形ノ融通ヲ受ケタルモノニシテ所持人之ヲ知レルトキナリ乍去振出人ニ手形ヲ提示セルトキニハ拒絕セラレタル手形ヲ返戻スルト同シク拒絕ノ通知ヲ與ヘタルモノト同一ノ効力アリ

第四、支拂人或ハ引受人振出人ニ對シテ手形ノ引受或ハ支拂ヲナスノ義務ナキトキ

第五、振出人手形ノ支拂ヲ差留メタルトキ

是ナリ

振出人ニ於テ手形ノ流通中ニ支拂人ニ財產ヲ委託セズ且ツトモ自カラ手形ノ支拂ヲナスモ引受人或ハ其他ノ關係人ニ對シテ救正權アラサル場合ニ於テハ支拂

人手形ノ引受若シハ支拂ヲナスノ義務ナキモノナリ故ニ仮令振出人ハ拒絕ヲ通知ヲ受ケサルモ法律上損害ヲ受シヘキモノニシテ又拒絕ノ通知ヲ受ケサルコトヲ以テ自己ニ對スル訴訟ノ答辨トナスコトヲ得ストノ判例アリ然レトモ此判決ハ通知ト振出人ノ知得ト同一視シタルモノナリ

*Cox v. Scott* ノ事件ニ於テ *Appott (C.J.)* 曰ク振出人カ拒絕セラレタルコトヲ知得セルハ所持人ノ通知ト同一視スヘキモノニアラスト故ニ振出人拒絕ノ通知ヲ受ケズシテ尙ホ責任ヲ有スル場合ハ支拂人或ハ其他ノ關係人ニ對シテ救正權ナキ場合ナラサルヘカラス以是引受人ノ融通ヲ爲メニ手形ヲ振出ス場合ニ於テハ引受人ヲ訴フルノ權利アルカ故ニ從テ拒絕ヲ受クルノ權利アリ又裏書人ノ融通ヲ爲メニ手形ヲ振出シタル場合ニ於テ裏書人振出人共ニ引受人ニ財產ヲ委託セルトキニハ其後ノ裏書人カ振出人ニ手形上ノ責任ヲ負ハシメントスルニハ拒絕ノ通知ヲ與ヘサルヘカラス何トナレハ振出人ハ其直接ノ裏書人ニ對シテ權利アリルモノナレハナリ又裏書人ハ振出人カ支拂人ニ資金ヲ委託シ置カサルコトヲ以テ拒絕ノ通知ヲ與フルコトヲ免カルヲ得ス是レウヰヤス對シヤンズ (*WELLS v.*

Jacks) ノ訴件ニ於テロードケンヨン氏ノ判決シタル所ナリ  
 又振出人ハ支拂人ニ資金ヲ委托セサルモ手形ハ引受或ハ支拂ハル、ナラント正當ナル希望ヲ有スルトキニハ拒絕ノ通知ヲ受クルノ權利アリ、例之甲ハ振出人ニ對シテ負債アリ乙又甲ニ對シテ負債アリ於是振出人ハ乙ニ對シテ手形ヲ振出シタルニ乙ハ之ヲ引受ケタルモ支拂ヲ拒絕シタルトキヨハ振出人ハ拒絕ノ通知ヲ受クルノ權利アリ、

第一 裏書人ニ對シテハ左ノ場合ニ於テ拒絕ノ通知ヲ不必要トス即チ  
 ナキコトヲ知ルトキ

第二 裏書人手形ノ融通ヲ受ケタルモノナルトキ

第三 裏書人ハ手形ノ支拂提示ヲ受ケタルトキ  
 是ナリ

又拒絕ノ通知ヲ與フルモノ之ヲ受クルモノ、住所ヲ知ラサルトキニハ之ヲ送致スルノ義務ヲ免カル、然レトモ但シ其間ハ相當ノ注意ヲナサハルヘカラス又所持

人或ハ其代人死去スルカ或ハ重病タルトキニハ拒絕ノ通知ヲ與フルノ義務ヲ免カレ、又ハ遅延ノ正當理由トナルコトアリ、若シ又振出人數人アリテ其一人ニ對シテ手形ヲ振出セルトキニハ引受人即チ振出人ナルカ故ニ拒絕ノ通知ヲナスコトハ全シ不必要ナリ又支拂人死去シ或ハ身代限處分ヲ受ケ或ハ負債ヲ辯償スル資力ナキモ拒絕ノ通知ヲ與ヘサルヘカラス

拒絕通知ハ豫メ免スルコトアリ或ハ法定期日後ニ之ヲ免スルコトアリ此期限ニ至リテ手形ノ支拂ヲ約束スルカ或ハ自己ノ責任ヲ承認シタルトキハ通知ヲ拋棄セルモノナリ又手形面ノ金額ヲ一部分支拂ヒ或ハ手形上ノ責任ヲ認ムルハ仮令起訴後ニアルモ仍ホ通知ノ證據トナルモノナリ然レトモ此點ニ付テハ法律上ノ錯誤ト事實上ノ錯誤トヲ區別セサルヘカラス而シテ拒絕ノ通知ヲ許容スル原由ハ特ニ申立チナサハルヘカラス

手形ノ満期日後其全部支拂或ハ一部支拂ヲ約スルカ或ハ其約束ヲ提供スルカ或ハ其責任アルコトヲ認メタルトキハ拒絕ノ通知アリシモノト一應推測ス然レトモ陪審官ハ必ズ通知アリシモノト定ムル義務アルナシ

以上拒絕通知ノ概趣ヲ講了セルヲ以テ次回ヨリ手形ノ消滅ヲ論スヘシ

### 第二十四回

## 第三編 手形ノ消滅關係人間ノ責任及手形ニ關スル訴

訟

### 第一章 手形ノ消滅

手形ノ消滅關係人間ノ責任及訴訟

手形ハ最終ニ責任ヲ負フヘキモノハ、支拂アリシトキハ直ニ消滅スルモノトシテ、故ニ爲替手形ノ場合ニ於テハ支拂人或ハ引受人自ラ支拂ヲ爲スカ或ハ之カ爲メニ支拂ヲナスモノアルトキハ消滅シ約束手形ノ場合ニ於テハ振出人支拂ヲナストキハ消滅ス然レトモ支拂ヲ以テ手形ノ消滅トナスニハ其支拂タル正當ノモノナラサルヘカラス換言セハ満期日ニ於テカ或ハ其後ニ於テ所持人ノ權利ニ瑕疵アルコトヲ知ラズ善意ヲ以テ爲シタル支拂ナラサル可ラサルナリ以是約束手形ノ振出人或ハ爲替手形ノ支拂人以外ノモノ、爲シタル支拂ハ手形ヲ消滅セシムルニ足ラズ再ヒ之ヲ發スルコトヲ得ヘシサレトモ融通手形ノ場合ニ於テハ融通ヲ受ケタルモノ最終ノ責任ヲ負担スヘキ者ナルカ故ニ之カ責任ニ任セサルヘカラス

支拂ハ其正當所持人ニ爲スヘキト原則トスト雖トモ或ル場合ニ於テハ不正ノ所持人ニ爲シタル支拂ヲ以テ有効ノモノトシテ支拂人ノ責任ヲ消滅セシムルコトアリ例之持參人拂ノ手形ニ於テハ正當所持人ニ爲シタル支拂ヲ以テ支拂人ノ義務ヲ消滅セシムルノミナラズ竊取若シハ拾得セル不正ノ所持人ニ爲シタル支拂ニテモ若シ支拂ヲナス當時其情ヲ了知セサルカ或ハ疑團ヲ生スルニ足ルヘキ事情ナキトキハ直ニ其義務ヲ免カル、モノトシテ決シテ正當權利者即チ真正ノ所有者ニ對シテ再ヒ義務ヲ負フモノニアラサルナリ然レトモ持參人拂ニアラサル手形ニ於テハ假令偽造ノ裏書ニヨリテ支拂ヲ受ケタルモノアルモ支拂人ノ義務ハ消滅スヘキモノニアラサルナリ衡平法上ノ格言ニ二人ノ善意者アリテ其中一人第三者ノ所爲ニヨリ損害ヲ負擔セサルヘカラサル場合ニ於テハ其損害ヲ生スルノ機會ヲ與ヘタルモノノ責任ヲ負ハサル可カラスト又二人ノ善意者アルトキニハ決シテ一方ヨリ他ノ一方ニ損害ヲ移轉スルノ理由ナシト故ニ持參人拂ノ手形ニ於テ不正ノ所持人支拂ヲ受ケタルトキハ正當ノ所有者ハ再ヒ之ニヨリテ支拂ヲ受クルコトヲ得サルナリ而レトモ支拂人カ義務ヲ免カル、ハ支拂ヲ請求スルモノ

、權利ニ付テ一ノ疑問ヲ生スヘキ事情アラサル場合ナラサルヘカラス例之満期  
 日前ノ支拂或ハ期限後長時日經過後ノ支拂或ハ又變造タルコトノ證書面ニ顯然  
 タル場合ノ支拂ハ正當所有者ニ對シテ其効ナキモノトス  
 前ニ述ヘタル如ク最終ニ責任ヲ負フヘキモノカ支拂ヲナシタルトキニアラサレ  
 ハ手形ハ消滅セサルモノナレトモ茲ニ一ノ疑問ヲ生スルハ振出人引受人ニ代リ  
 テ手形ノ支拂ヲナシタル場合殊ニ其支拂ハ手形面金額ノ一部ニ過キサルトキニ  
 ハ所持人ハ支拂ヲ受ケタル金額ヲ差引キ其殘額ヲ支拂人ニ請求セサルヘカラス  
 ルカ或ハ金額ヲ請求シテ其一部分ノ支拂ニ付テハ振出人ノ被信託者トナルカノ  
 點之レナリ英國法ニ於テハ會テ所持人カ支拂人ヲ訴フルコトハ未ダ支拂ヲ受ケサ  
 ル部分ヲ請求セサル可カラサルコトナシタリ今其理由ヲ釋スルニ支拂人ハ結  
 局借主本人ニシテ振出人ハ其保證人ナリ然ラハ保證人ノ支拂ヲ以テ本人ノ義務  
 ヲ解除セサルノ理ナシト云フコアリ然レトモ現行法律ニ於テハ所持人ハ振出人  
 ヨリ支拂ヲ受ケタル金額ニ付テハ支拂人ニ請求シタル後ニ於テ之レカ被信託者  
 トナルヘキモノナリトセリ但シ融通手形ノ場合ハ振出人自己ノ融通ノ爲メニ振

代償ノ原則

出シタルモノナレハ自ラ支拂ヲ爲セハ手形ヲ消滅セシムルニ足ルモノトス  
 手形ノ支拂日ニ付テハ支拂人ハ請求日中ニ支拂ヲナセハ充分ナリトス故ニ今所  
 持人カ支拂人ニ支拂ヲ請求シタルニ拒絶サレタルヲ以テ直ニ拒絶證書ヲ作爲ス  
 ルモ支拂人ニ於テ其日中ニ支拂ヲナシタルトキハ通知ハ其効ナキモノトス又支  
 拂人ハ所持人ノ請求ヲ俟テ始テ支拂ノ義務ヲ負擔スルモノナリ故ニ満期日前ノ  
 支拂ハ正當所持人ニ對シテ其効力ナキモノトス  
 日前ノ支拂ハ手形ノ割引ト同シ手形ヲ消滅セシムルモノニアラス若シ之ヲ以  
 テ手形ヲ消滅スルモノトセハ更ニ手形ノ流通ニ妨害ヲ加ユルモノナリ何トナレ  
 ハ流通間ニ於テハ満期日前ニ支拂ノアリシモノナルヤ將々之レナキモノナルヤ  
 ヲ探知スルコト能ハサルモノナレハナリトス又支拂人ハ手形ノ支拂ヲ爲ストキハ  
 其引渡シヲ請求スルコトヲ得ヘシ  
 茲ニ衡平上ノ所謂代償(Satisfaction)ト稱スル原則アリ即チ代償トハ贈與ヲ受ケタ  
 ルモノ贈與者ニ對シテ既ニ權利ヲ有スル場合ニ適用スルモノニシテ二個ノ贈與  
 ノ利益ヲ受クルコトヲ禁スルモノナリ例之甲者乙者ニ對シ百五十四ノ贈與ヲナ



支拂ノ賦

シ仍ホ死去スルノ際若干間ヲ乙者ニ遺囑シタリトセハ乙者ハ贈與及遺囑ヲ併セテ受領スルコトヲ得ス故ニ受贈與者ハ已レノ權利ヲ主張セントセハ贈與ヲ受シヘカラス又贈與ヲ受ケントセハ其權利ヲ拋棄セサル可カラズサレハ支拂人カ所持人ニ對シテ流通證書ヲ贈遺シタルトキハ代償ノ原則ヲ適用スルコトヲ得ルヤ否ヤト云フニ流通證書ハ他人ニ移轉スルコトヲ得ルモノナレハ債主贈與スルトキニハ所持人ノ誰タルヲ知ルコトヲ得サルヲ以テ之ヲ適用スルヲ得サルナリ又茲ニ支拂ノ賦當ト稱スルコトアリ蓋シ數多ノ負債アルトキ其一部ノ支拂ハ何レノ部分ノ支拂ニ充ツルコトヲ得ヘキヤノ問題ヲ生スヘシローマ其他歐洲大陸諸國ノ法律ニ從ヘハ義務者ノ意思ニ依ラサルヘカラサルモノトセリ若シ義務者ノ意思分明ナラサルトキハ債主カ支拂ヲ受ル當時義務者ニ表示セル意思ニ從テ割賦ヒサルヲ得ス然トモ若シ債主ノ意思負債主ノ意思共ニ判明ナラサルトキハ負債主ニ利益ノ方ニ充テサル可カラズ故ニ利足ノ附加セサル負債ヨリモ利足ノ附加スル負債罰金ノ附加セサルモノヨリモ附加セルモノニ充用スヘキナリ然レトモ英國法律ニヨレハ債主カ豫メ負債主ニ對シテ其賦當ノ方法ヲ表示セサル

榮譽支拂

トキハ訴訟前何時ニテモ如何ナル負債ニモ充用スルコトヲ得ヘシ若シ出訴期限ノ經過セル負債ニ未ダ經過セサル負債ト二個アルトキ負債主單ニ支拂ヲナシタルトキハ債主ハ期限經過後ノ負債ニ充用スルノ權利アリ茲ニ又榮譽支拂(Payment supra protest)ナルモノアリ若シ支拂人支拂ヲ拒絕シ拒絕證書ヲ作爲シタルトキ第三者カ其手形ニ付キ責任ヲ負擔スルモノ、爲ニ榮譽支拂ヲナスコトアリ此榮譽支拂人トナルモノハ振出人受取人其他全ク手形ニ關係ナキ人タルコトアリ又榮譽支拂ヲナサントスルモノ數人アルトキハ手形關係人ノ責任ヲ尤モ多ク解除スルモノヲ採用スヘキナリ故ニ振出人ニ近キモノハ法律ノ採ル所トナルモノトス若シ榮譽引受人ニ於テ支拂ヲナシタルトキハ其義務ヲ免カレ、モノハ手形ニ付テ榮譽引受ヲナサレタル者以下ノ關係人タリサレトモ榮譽支拂人ハ支拂ハレタルモノヨリ以前ノ對手ニ對シテハ手形上ノ金額ヲ請求スルノ權アリ之ヲ要スルニ榮譽支拂人ハ所持人ノ權利ヲ繼承スルモノニシテ其權利ノ實行ヲ受ケタルモノハ支拂人振出人ヨリ以下榮譽支拂ヲナサレタルモノニ至ルマテノ關係人ナリ然レトモ榮譽支拂ヲナスニハ榮譽引受ノ如ク公證ヲ經

サルヘカラス又所持人榮譽支拂ヲ拒絕セルトキハ之レカ爲ニ責任ヲ免カルヘキ  
モノニ對シテ訴出ノ權利ヲ失スルモノナリ但シ約束手形ノ場合ニ於テハ拒絕證  
書ナルモノナキカ故ニ從テ又榮譽支拂モ之レナキナリ

### 第二十五回

前回ニ於テハ最終ノ責任ヲ負擔スヘキモノ支拂ヲナシタルトキハ爲替手形約束  
手形モ全然消滅セルモノナルコトヲ論シタリ而シテ其他手形關係人ノ義務ヲ解  
除スルハ契約ヲ解除スルノ原由ト異ナルコトナシ故ニ所持人ハ捺印證書ヲ以テ  
裏書人或ハ振出人ノ責任ヲ釋放セルトキハ釋放ヲ受ケタルモノ、責任ハ爲ニ解  
除スルモノナリ然レトモ釋放コトヲキテハ滿期日後ニ爲シタルモノト其以前ニナ  
シタルモノトヲ區別セサルヘカラス而シテ滿期日後ノ釋放ハ釋放ヲ與ヘタルモ  
ノ及ヒ以後ノ關係人ト釋放ヲ受ケタルモノ、間ニハ充方ノ解除トナルモノナリ  
何トナレハ期限來レル後ニ於テ爲シタルモノナレハ其讓受人ハ讓渡人ノ權利ヨ  
リモ優等ナル權利ヲ受ケルヲ得サレハナリ之ニ反シテ滿期日前ノ釋放ハ正當所  
持人ニ對シテハ釋放ヲ受ケタルモノモ尙ホ責任ヲ負ハサルヘカラス此場合ニ於

テモ釋放ヲナシタルモノト之ヲ受ケタルモノトノ間ニ於テハ充分ノ効力アルモ  
ノナリ

其他關係人ノ責任ヲ解除スヘキ原由アルモ契約法ト同一ナレハ茲ニ警セサルヘ  
シ

## 第二章 手形ノ關係人間ニ於ケル本人保證人ノ關係

手形ノ關係人間ニ於ケル本人保證人ノ關係

本人ハ責任解除セルトキハ保證人ハ責任モ同時ニ解除スルモノナリトハ一般ノ  
原則ナリ今手形上ニ責任ヲ有スル關係人ハ或ハ本人タルノ位置ニ立テ或ハ保證  
人タルノ位置ニ立ツコトアレハ本人保證人間ニ行ハルハ規則ハ手形法ノ研究上  
大ニ必要ナルモノナリトス

夫レ保證契約ハ最上誠意ヲ要スル契約ナルヤ否ヤ契約法上ノ所謂特種ノ契約ニ  
於テハ重要ナル事實ハ全然對手ニ陳告セサルヘカラス又惡意ナラサルモ必要ナ  
ル事實ニ對シテ虛妄ノ陳述ヲ爲スコトヲ得サルモノニシテ通常契約ニ於テハ取  
消ノ原由トナラサル虛陳隱蔽モ特種契約ニ於テハ充分ノ取消原由トナルモノナ

リ就中保險契約ノ場合ハ其著シキモノトス然リ而シテ保證契約ハ其特權契約中  
 ニ入ルヘキモノナルヤ否ヤハ一ノ問案アリシモ今日ノ英國法律ニ於テハ特殊契  
 約ニアラサルモノトナセリサレトモ一タヒ保證契約成立スル以上ハ債主ハ保證  
 人ニ對シテ最上ノ誠意ヲ盡サ、ル可カラズ

本人ノ責任解除スルト同時ニ保證人ノ責任モ解除セラレ、モノナリ蓋シ保證人  
 ノ約束ハ本人ノ約束ニ伴隨スルモノヨシテ主タル約束消滅シテ從タル約束獨リ  
 存スルノ理由アラサレハナリ若シ本人ノ責任解除セル後ニ於テ尙ホ保證人ヲ訴  
 フルコトヲ得ルモノトセシ釋放ヲ與ヘタル債主本人ニ與ヘタル釋放ノ効力ヲ奪  
 却スルニ至ルコトアリ或ハ一タヒ釋放セル負債ヲ請求スルヲ得ルカ如キ結果ヲ  
 惹起スニ至ルヘシ加之保證人債主ニ對シテ責任アリトセハ支拂ヲ爲シタル後ニ  
 於テ本人ヲ訴フルノ權利アリヤ或ハ訴出スルノ權利ナキカノ二者ニ歸着セサル  
 ヘカラス若シ保證人ニ此權利アリトスレハ本人タルモノハ釋放ノ利益ヲ失シ又  
 保證人ニ此權ナキモノトスレハ保證人ハ契約以外ノ責任ヲ負擔スルコトアリ保  
 證人カ債主ノ本人ニ對スルト同一ノ權利ヲ得ルコトハ衡平法上ノ原則ナリ然ル

ニ今保證人債主ニ對シ辨償ノ義務アリテ本人ニ對シ賠償ヲ請求スルノ權利ナシ  
 トセハ此原則ニ反スルモノト云ハサルヘカラス此等ノ理由ニヨリテ一タヒ本人  
 カ責任ノ解除ヲ得ザルトキハ保證人ノ責任モ同シク解除セラレタルモノト云フ  
 事得ヘキナリ  
 今本人保證人間ノ規則ヲ手形關係人間ニ適用スルニ付テハ左ノ事項ヲ論セサル  
 ヘカラス

- 第一、手形ノ本人タリ保證人タルモノハ誰ナルカ
  - 第二、保證人ノ責任ヲ解除スルニ足ル所持人ノ行爲ハ如何ナルモノナルヤ
  - 第三、保證人ノ責任解除ヲ停止スルモノハ如何ナルモノナルヤ
  - 第四、保證人其責任ノ解除放棄スル方法ハ如何
  - 第五、保證人ニ對スル債主ノ行爲ニシテ本人ノ責任ヲ解除スヘキモノハ如何  
 ナルモノナルヤ
- 是レナリ以下詳論セム

第一、手形ノ本人タリ保證人タルモノハ誰ナルヤ

手形ヲ引受又ハ裏書スルニ充分ノ報償アリシモノナランニハ、引受人ハ本人ナリ  
 其他ノ對手ハ盡ク保證人ニシテ引受人遲滞ヲサセルトキニハ悉ク責任ヲ負フヘ  
 キモノナリ此ノ如ク引受人ニ對シテ其他ノ對手ハ悉ク保證人ナルノ位地ニ在ル  
 モノナリト雖トモ其相互間ニ於テハ共同保證人タルモノニアラスシテ前ノ關係  
 人ハ後ノ關係人ニ對シテ各本人タルモノナリ例之支拂人手形ヲ引受ケタル後ニ  
 於テ振出人ト其他二人ノ裏書ヲ經テ所持人ニ移轉セルモノト假定セン所持人ト  
 引受人トノ間ニ於テハ引受人ハ本人ニシテ振出人並ニ裏書人ハ保證人ナリ又所  
 持人ト振出人ノ間ニ於テハ振出人ハ本人ニシテ其他ノ裏書人ハ其保證人ナリ又  
 所持人ト第二裏書人間ニ於テハ第二裏書人ハ本人ニシテ第三裏書人ハ其保證人  
 ナリ以是以前關係人ノ責任ヲ釋放セルトキニハ即チ本人ノ責任ヲ解除セルモノ  
 ト同一ナルカ故ニ其以下ノ關係人即チ保證人ノ責任ハ同時ニ釋放セラル、モノ  
 ナリ然レトモ保證人ノ責任ヲ釋放セルノ故チ以テ直ニ本人ノ責任ヲ釋放セラル  
 モノナリト速斷スヘカラサルナリ又第三者ノ濫圖人ニ支拂フヘキ手形ニ於テハ  
 受取人即チ振出人ノ保證人ナリ

故ニ引受人ノ釋放ハ手形關係人全体ノ釋放ナリ何トナレハ尙責任アリトセハ引  
 受人ニ對シテ起訴スルヲ得ルヤ否ヤノ二途其一ニ居ラサルヘカラヌ而シテ若シ  
 起訴權アリトセハ引受人ノ釋放ハ毫モ其効力ナカルヘク起訴權ナシトセハ賠償  
 ヲ得ルノ途ナキニ支拂ヲ爲スモノナリ是契約以外ノ責任ヲ負フモノト謂ハサル  
 ヘカラヌ同一ノ原則ニ基ツキ裏書人一人ノ釋放ハ其以前ノ裏書人ノ釋放ニ非サ  
 ルナリ何トナレハ釋放ヲ受ケタル裏書人ニ對シテ請求權アラサレハナリ然リト  
 雖モ釋放ヲ受ケタル裏書人日後ノ關係人ハ之カ爲メニ其責ヲ免カルヘシ何トナ  
 レハ手形ノ所持人ニシテ尙之ヲ訴フルヲ得ルトセハ支拂ヲ爲シタルモノハ釋放  
 ヲ受ケタル裏書人ニ對シテ起訴權アルト否ラサルトノ二者ニ出テス而シテ起訴  
 權アリトスルハ釋放ヲシテ其効ヲ失ハシムルニ均シク起訴權ナシトセハ支拂ヲ  
 爲シタルモノニ於テ約束以外ノ責任ヲ負擔スルモノト謂ハサルヘカラヌ  
 嘗テ融通手形ニ於テ振出人ノ融通ノ爲メニ約因ナクシテ手形ノ引受アルトキハ  
 振出人義務者本人ニシテ引受人其保證人ナリ故ニ振出人ニ延期ヲ約セルトキハ  
 引受人其義務ヲ免ルヘシト雖トモ引受人ニ與フル延期ハ振出人ノ義務ヲ解除セ

スト判決セリ然リト雖トモ此區別ハ今日ニ於テハ全ク廢止ニ歸シダリ故ニ習慣  
 法庭ニ於テハ融通手形モ通常ノ手形ト同ク所持人ニ於テ其引受ノ無償ナルヲ  
 知レル場合ト雖トモ引受人即チ義務者本人ノ地位ニ在ルモノナリ唯衡平法庭ハ  
 所持人ノ情ヲ知レル場合ニ於テハ衡平法上ノ抗辨ヲ許スモノトス  
 爲替手形ニ於テハ引受人其義務者本人ナリ約束手形ニ於テハ其振出人即チ義務  
 者本人ノ地位ニ在ルモノナリ  
 約束手形ノ裏書人ハ爲替手形ノ裏書人ト同ク互ニ本人保證人タルノ地位ニ居  
 ルモノナリ

第二

第二、保證人ノ義務ヲ解除スル債主ノ所爲如何

債主ハ原契約中負債主ニ不利益ナル約束ハ盡ク之ヲ保證人ニ陳告セサルヘカラ  
 ス之ヲ告ケサルハ保證人其義務ヲ免ルヘシ  
 故ニ又債主負債主間ノ契約ニシテ多少ノ變更ヲ生セハ保證人ハ其責ナキニ至ル  
 ヘシ何トナレハ之カ保證シタル契約ト其條項ヲ異ニスレハナリ  
 又債主ハ保證人ノ負債主ニ對スル權利ヲ保存セサルヘカラサルナリ

爲替手形ノ所持人ハ特約アルニ非サレハ引受人ニ對シテ請求シ若シクハ出訴ス  
 ルヲ延期スルヲ得ヘシ又引受人ヲ強ヒサルコト或ハ之ヲ訴ヘサルヲ約スルヲ得  
 ルナリ然レトモ此約束ハ法律上檢束力ヲ生スルモノラサルヘカラス然レトモ  
 若シ所持人有効ナル契約ヲ以テ引受人ニ對スル訴權ヲ停止若シクハ棄却スルヲ  
 約シ或ハ現ニ之ヲ停止若シク棄却スルトキハ振出人及ヒ裏書人ハ其義務ヲ免ル  
 ヘシ

爲替手形ノ引受人或ハ約束手形ノ振出人ノ責任ヲ釋放スルトキハ裏書人盡ク其  
 責ヲ免ルヘシ又共同引受人若シクハ振出人ノ一人其責任ノ釋放ヲ得ハ皆釋放ヲ  
 受ケケルノ効力ヲ生スヘシ

引受人ヲ訴ヘス或ハ特定ノ期限間之ヲ訴ヘサルヲ約スルニ其約束充分ノ約因ヲ  
 備フルモノナレハ書類タルト口頭タルヲ問ハズ振出人及ヒ裏書人其責任ヲ免ル  
 然レトモ其約束ニシテ約因ナキカ若シクハ其他法律上無効ナルトキハ裏書人決  
 シテ其義務ヲ免レサルナリ

支拂入手形ノ引受ヲ拒ミシル場合ニ於テ所持人之ニ代ユルニ満期日ノ長キ手形

ヲ受領セルトキハ縱令拒絕ノ通知ヲ與フルニ相當ノ手續ヲ盡クスト雖トモ以前ノ關係人ハ皆其義務ヲ免カルヘシ實ニ支拂人ハ借主本人ニ非ス又所持人ノ負債主ニ非ス唯振出人ノ負債主タルニ過キサルナリ而シテ今人其負債主ノ負債主ヨリ支拂ヲ受シヘキヲ依頼サレタルニ金圓ノ支拂ヲ受ケスシテ慢ニ手形ヲ受領スルカ如キコトアラハ自カラ其負債主ノ責任ヲ解除スルモノナリ然レトモ金圓ノ支拂ヲ受クルノ途ナキヲ以テ支拂人ヨリ手形ヲ受領セルモ唯之ヲ從クル抵償トセルトキハ原手形上ノ救済權ハ之カ爲メニ害セラルコトナシ

第三

第三、本人ノ責任解除ニシテ保證人ノ責任ヲ解除セサル方法如何  
 債主其負債主ニ與フルニ辨濟ノ延期ヲ以テスルモ其間保證人ノ責任ヲ解除セサルヲ特約スルトキハ保證人ハ其義務ヲ免レサルナリ是保證人其約束ニ與カラズ亦之レアルヲ知ラサルモ亦同シキナリ又保證人ノ負債主ニ對スル救済權ノ如キハ決シテ寸毫ノ影響ヲ蒙ムラサルナリ

第四

第四、保證人其責任解除ヲ拋棄スルノ方法如何  
 保證人情ヲ知リテ言語若シクハ所爲ヲ以テ債主ノ已ニ爲シタル所爲ヲ承認セハ

第五

即チ其責任解除ヲ拋棄セルモノナリ  
 第五、保證人ニ對スル債主ノ行爲ニシテ負債主ノ責任ヲ解除スルモノ如何  
 借主本人ト其保證人皆共同責任ヲ帶フルモノナレハ債主其保證人ノ一人ヲ釋放シ或ハ手形ヨリ其署名ヲ抹殺スルカ如キ其共同保證人及ヒ借主本人ノ義務ヲ解除スルモノナリ然レトモ其解除ハ本人保證人ノ規則ニ基クモノニ非サルナリ  
 振出人手形ノ支拂ヲ強制セラレタルトキハ引受人ニ對シテ補償ヲ求ムルヲ得ヘシ亦爲替手形若シクハ約束手形ノ支拂ヲ負擔シタル裏書人ハ引受人若シクハ振出人(約束手形及ヒ爲替手形)或ハ以前ノ裏書人ニ對シテ手形面金額ノ賠償ヲ求ムルヲ得ヘシ  
 又數人ノ共同保證人中其一人手形ノ支拂ヲ爲シタルトキハ他ノ保證人ニ對シテ分担ヲ請求スルノ權利アリ

第二十六回

第三章 手形ノ變造及ヒ偽造

第一節 變造 (Alteration)

手形ノ變  
 造及ヒ偽  
 造

流通證書法

慣習法ニ於テハ捺印證書ヲ所持スルモノ若シ他人ノ改竄抹削挿入等アレハ假令ヘ尙讀ムヲ得ヘシト雖トモ證書タルノ効力ヲ失フナリ又爲替手形約束手形其他一切ノ未行契約ハ原告ノ保管中ニ主要ナル部分ノ變更アリタルトキハ假令他人ノ之ヲ爲スト雖トモ尙無効タルニ至ルヲ免カレサルナリ何トナレハ之カ保管者ハ瑕疵ヲ受ケサル様之ヲ保存スルノ義務アレハナリ而シテ自カラ詐偽ヲナスノ意ヲ以テ變更コナストキハ證書其効力ヲ失フニ至ルヘシ故ニ又他人ノ之ヲ爲スト知リテ之ヲ不問ニ付シ敢テ之ヲ制セサルトキハ過失ニ依テ其權利ヲ失フヘシ

捺印證書ニ關スル規則ハ又以テ其他ノ書類契約或ハ手形ニ適用スルヲ得ヘシ甲者手形ノ所持中ニ日附ノ變更アリタリ後之ヲ原告ニ裏書シタルニ原告ハ引受人ニ對シテ請求權ナシト判決セリアッシュユ、ハイスト判事曰ク若シ本件ノ證書ニシテ捺印證書シラシメハ其無効ナルヤ疑フヘカラス而シテ此原則ノ以テ爲替手形ニ適用スルヲ得サルノ理アラサルナリ故ニ變更ハ必ズ契約ヲ無効トラシムルモノト言ハサルヘカラス若シ甲者自カラ起訴セハ必ズヤ請求ノ權利ナカルヘシ原告ハ甲

二五

者ヨリ其權利ヲ承繼セル者ナレハ又請求ノ權利アリト言フヘカラスト「マンスター、對ミルレル」(Master v. Mee)又振出人引受人ノ承諾ヲ經シテ引受ノ文字ニ「某處ニ於テ支拂フヘシト」書加ヘタリ是引受人ノ義務ヲ解除スルニ足ル充分ナル變造ナリト判決セリ(「タウキ」對「ホールツール」)(Dovrie v. Halabel)然レトモ引受人ノ承諾アレハ慣習法ニ於テモ證書無効ニ歸スルノ理ナキナリ又甲乙組合ニ振出シタル手形甲乙其名義ヲ以テ之ヲ引受ケタリ而シテ引受ト符合セシメンカ爲メニ宿處ヲ書直シタリ此場合ニ於テ甲乙ハ到底責任アルカ故ニ變更ハ重要ナラスト判決セリ(「フューク」ハ「對サウゼー」)(Farguhar v. Southey)又約束手形ノ一隔ニ年々六朱ノ利子ヲ拂フヘシト挿入セルトキハ證書ナシテ無効トラシム(「ウァーリントン」對「アール」)(Warrington v. Faray)

又仮令關係人全体ノ承諾アルモ印紙條例ニ依テ無効ニ歸スルコトアルヘシ何トナレハ新ナル手形ニシテ新ニ印紙ノ貼用ヲ要スルハ者ハ條例ニ依テ其當時貼用スルヲ得サレハナリ故ニ日附金額支拂ノ期限ノ變更若シハ流通セサルモノニ流通ノ文字ヲ記入スルカ如キアラハ皆此條例ニ依テ無効タルヘシ然レトモ解釋

法ノ原則トシテ有効ニ解釋スルヲ得ヘキモノハ必ズ之ニ從ハサルヘカラス  
重要ナル變更コシテ手形ヲ無効トセサルモノニアリ

第一 手形振出シ前ノ變更

第二 錯誤ヲ正シ或ハ足ラサルヲ補充スル等總テ關係人ノ意思ヲ貫徹スルカ  
如キ變更

ケンナーレー對ナッシュ(Kennarley v. Nash)ノ訴件ニ於テ自己ノ差圖人ニ支拂フヘキ  
手形ノ振出シ人之ヲ支拂人ニ送附セルニ一層支拂期限ノ長キヲ請ヒヨリ依テ支  
拂人振出人ノ承諾ヲ以テ之ヲ變更シ後之カ引受ヲナシヨリ此場合ニ於テ變更重  
要ナリト雖モ未ク充分完全有効ナル手形ナルニ非サルヲ以テ重要ナルモノニ非  
スト判決セリ又ダウンス對リチャードソン(Donves v. Richardson)ノ訴件ニ於テ三人  
融通手形ヲ作為スルノ目的ヲ以テ各振出人受取人支拂人タルヲ諾セリ然ルニ未  
ク有償所持人ノ手ニ移轉セサルニ先ツテ變更ヲナセリ此場合ニ於テ融通手形ハ  
其對手間互ニ訴フルヲ得サルヲ以テ所持人ノ手ニ移轉セサレハ未ク有効ナルニ  
非サハナリ故ニ本件ノ變更ハ重要ナルモノニ非スト判決セリベスト判事曰變更

ヲ爲シタル當時其方式ニ於テハ完全ナル手形ナリト雖トモ未ク對手間ニ於テ有  
効ナル契約ト謂フヘカラス而シテ證書ハ引渡ヲ爲サズシテ完全ナリト雖トモ引  
渡前ノ變更ハ之ヲ無効トスルコトナシト然レトモ受取人若シクハ裏書讓受人之  
ニ對シテ報償ヲ與ヘタルトキハ振出人之カ責任ヲ帶フルカ故ニ引受前ノ變更尙  
之ヲ無効トスヘシロイヤコレンボロー曰ク手形ハ引受マテ不完全ナルニ非ズ引  
受前ト雖トモ振出人ニ對シテハ完備セル證書ナリト謂フヘク故ニ日附ヲ變更ス  
ルハ新ニ手形ヲ振出シタルモノニシテ又新タニ印紙ヲ貼用セサレハ無効ナリト  
其原則ニ基ツキ甲者約束手形ニ署名シタル後ニ至リ受取人ノ手ニ在ルトキ乙者  
保證人トシテ署名セルハ手形振出ノ當時ノ契約ノ履行ニ非サレハ證書ヲ無効ト  
スト判決セリ(シラーシ對ブラックストック)Clerk v. Blackstock)故ニ變造セル手形ハ其  
情ヲ知ルト知ラサルトモ論セズ讓受人ノ手ニ於テハ無効ナリ  
誤謬ヲ正シ以テ關係人ノ意思ヲ貫徹セシムルノ變更ハ印紙條例ヲ以テ無効ニ至  
ルコトナシ例ヘハ振出人手形ヲ流通セシムルノ意ヲ以テ之ニ裏書セルニ或ハ差  
圖人ノ文字ヲ記入セサリシヲ記入スルハ變造ト見做スヘカラスナリ



英國爲替手形條例ハ其第六十四條ヲ以テ重要ナル變造ノ手形ヲ無効トスルノ明文ヲ掲シ爲替手形約束手形若クハ引受ニシテ關係人全体ノ合意ナリシテ重要ナル變更ヲ受ケタルトキハ無効タルヘシ但シ變更ヲ爲シ承認シ若シハ承諾シテモノ及ヒ其以後ノ裏書人ハ此限ニ在ラズ而シテ左ノ事項ニ關スル變更ハ重要ナリトス

第一 日附

第二 支拂金額

第三 支拂期限

第四 支拂地

第五 引受人ノ承諾ヲ經スシテ(一般引受ヲ爲シタル)手形ニ支拂地ヲ記入スルコト

然レトモ重要ナル變更ト雖トモ其痕跡手形面ニ顯然タラサルトキハ正當所持人ハ之カ爲メニ其權利ニ影響ヲ被ムルコトナシ其證書ノ所載ニ從ヒ支拂ヲ請求スルヲ得ルナリ

之ニ反シテ變更ノ痕跡手形面ニ顯然タルトキハ善意ナル有償讓受人ト雖トモ決シテ讓渡人ノ權利ヨリ優等ナル權利ヲ得ヘカラス故ニ其救済權ニ於テモ又同シ爲替手形ノ振出人受取人若クハ約束手形ノ受取人ノ變更ハ手形ヲ無効トスト雖トモ負債ヲ消滅セズ然レトモ裏書讓受人ノ變更ハ當ニ關係人全体ニ對スル救済權ヲ失フノミナラス又裏書讓渡人ニ對スル貸金ヲモ消滅スヘシ何トナレハ裏書讓受人自カラ手形ノ變更ヲ爲シ裏書讓渡人ニ貸金ノ辨償ヲ請求スルヲ得ルトスルハ大ニ正理ニ反スルモノト謂ハサルヘカラスレハナリ加之裏書讓渡人ニ責任ヲ負擔セシメ變更ニ關スル辨權ヲ裏書讓受人ニ實行セシムルハ以前ノ關係人ニ依ラシムルニ非スシテ裏書讓受人ニ依ラシムルモノナルノミナラス證明ノ困難ヲ負ハシムルニ至ルヘキナリ

若シ原告變更セル手形ニ基ツキ變更セル儘ノ請求ヲ爲シタルトキハ被告ハ特ニ變更ヲ陳セズシテ可ナリ何トナレハ被告ノ署名セル手形ニ非サレハナリ然レトモ原告ニシテ變更セサルモノトシテ起訴セズ被告ハ特ニ變更ヲ抗辨シ以テ其責任ヲ免カルハ陳セサルヘカラス

又變更手形面ニ顯然ナルトキハ原告ニ證明ノ責任アリトス即チ原告ハ手形ヲ無効トスルカ如キ變更ニ非サルヲ證セサルヘカラス

### 第二十七回

### 第二節 偽造 (Forgery)

偽造

偽造ノ何タルハ刑法ニ於テ論スヘキコトナレハ茲ニハ唯民事上偽造ハ如何ナル効果ヲ生スヘキモノナルヲサテ説カントス

手形上ノ權利ヲ證明セントスルニ當リ偽造ニ據ラサルヘカラサルトキハ善意ナル有償所持人ト雖モ起訴スルノ權利ナク又之ヲ保有スル能ハサルナリ故ニ引受人若シクハ(約束手形)振出人偽造ヲ經テ權利ヲ得タルモノニ支拂ヲ爲スモ未ク其義務ヲ免レタルモノト謂フヘカラス又支拂人銀行若シクハ引受人金額ヲ大ニシタル偽造手形ヲ支拂フモ正當手形ノ金額トノ差ヲ振出人ニ負擔セシムル能ハサルナリ

然レトモ振出人其所爲ヲ以テ偽造ヲ容易ナラシムルカ若シクハ之ヲ爲スノ機會ヲ與ヘタルトキハ振出人自カラ損失ヲ負擔セサルヘカラス銀行ノ一花客外國ニ

ニ〇

旅行スルニ當リ無記名式ノ小切手ニ署名シ之ヲ其妻ニ托シ商業上ノ運用ヲ許セリ而シテ其妻之ニ金額ヲ記入スルニ當リ「金ナル文字ト五十圓ナル文字ト」間ニ餘白ヲ存セリ然ルニ番頭之ニ三百ナル文字ヲ記入シテ銀行ヨリ支拂ヲ受ケタリ是事件ニ於テ裁判所ハ小切手記入ノ方式其當ヲ得サルモノニシテ反テ偽造ヲ誘導シタルモノナリ故ニ損失ヲ負擔スルモノハ銀行ニ非スシテ其花客ニ在リト判決セリ(ヤング對シロート) [Young v. Grote]

又(インガム對プリムローズ) [Ingham v. Primrose] ニ於テ引受人削除スルノ意ヲ以テ (animus cancellandi) 爲替手形ヲ裂キテ二トセリ然ルニ人アリ引受人ノ面前ニ於テ之ヲ繼キ合セテ情ヲ知ラサル第三者ニ讓渡セリ是場合ニ於テ裁判所ハ善意ナル有償裏書讓受人ハ完全ナル權利ヲ得ルモノナリト判決セリ

事實ノ錯誤ニ因テ爲シタル支拂ハ返辨ヲ求ムルヲ得ヘキハ一般ノ原則ナリ故ニ手形ノ割引ヲ爲シタル後ニ於テ被移轉人其偽造ナルヲ發見セハ其支拂ヒタル金額ヲ請求スルヲ得何トナレハ約因全ク欠缺スレハナリ然レトモ支拂ヲ爲シタルモノニ過失不注意等アルトキハ取戻ノ權利ナキナリ「プラインス對ニール」 [Price v.

(Neale) の訴件ニ於テ支拂期限ヲ異ニセル二箇ノ爲替手形アリテ支拂人引受ヲ爲サズシテ其一ヲ支拂ヒ他ノ一ハ先ツ引受ヲ爲シテ後之カ支拂ヲ爲セリ然ルニ其後振出人ノ署名偽造ナルコトヲ發見セリ「ロードマン」(Lodman)曰ク引受人ハ振出人ノ手蹟ヲ知ルノ義務アリ故ニ偽造ノ署名アル手形ノ支拂ヲ爲シタルハ錯誤ト謂ハシヨリ寧ロ其過失不注意ト謂ハサルヘカラスト又「スミス對マーサー」(Smith v. Mercer)ノ訴件ニ於テ裁判所ハ銀行ハ其得意ノ手蹟ヲ知ラサルヘカラスト故ニ偽造ナルヲ知ラズシテ正當所持人ニ支拂ヲ爲シタルトキハ之レカ取戻ヲ請求スル能ハスト判決セリ然レトモ銀行ノ一週間ヲ經テ偽造ノ通知ヲ爲シタルハ其怠慢ナリト論スルモノモアリタリ

又「コックス對マシューマン」(Cocks v. Masternan)ノ訴件ニ於テ偽造手形ノ支拂ヲナシタル銀行カ其翌日ノ一時ニ偽造ノ通知ヲナシテ金圓ノ取戻ヲ請求シタルニ判事盡ク同説ヲ主張シテ曰ク原告其當日ニ通知ヲナシ以テ被告ヲシテ其以前ノ關係人ニ通知ヲナスノ機會ヲ與ヘシメハ金圓ノ返還ヲ求ムルヲ得ヘキヤ否ヤノ疑問ニ就キテハ更ニ説明セズシテ可ナリ然レトモ所持人ハ手形ノ満期日ニ於テ拒絕

セラレタリヤ否ヤヲ知ルノ權利アリ而シテ既ニ金圓ノ支拂ヲ受ケテ終日之ヲ保有セルトキハ支拂ヲナシタルモノハ之レカ返還ヲ請求スルヲ得ズ實ニ所持人ハ拒絕ノ翌日マテ關係人ニ通知ヲナスノ義務ナシト雖トモ又之ヲナスノ自由ナキニ非ス而シテ支拂ヲナセルモノハ其過失ヲ以テ所持人ニ支拂ノ當日拒絕ノ通知ヲナスノ權利ヲ奪フ能ハサルナリト

紛失手形

第四章 紛失手形 (Chapter IV of a Lost Bill or Note)

遺失セル手形ヲ拾得セルモノハ決シテ之レカ所有權ヲ得ルモノニ非ス故ニ一方ニ於テハ正當所有者ノ訴ニ對抗スルヲ得サルヘク又他ノ一方ニ於テハ引受人若シクハ約束手形ノ振出人ニ對シテ手形上ノ權利ヲ執行スルヲ得サルナリ然リト雖トモ引渡ノミヲ以テ移轉スルヲ得ヘキ手形ノ場合ニ於テハ其被移轉人ハ遺失者ニ對シテ之ヲ保有シ且手形上ノ責任アルモノニ對シテ支拂ヲ強ユルノ權利アリ之ニ反シテ流通セストノ文字ヲ記入セル手形ハ毫モ此危險ナキナリ  
遺失者ノ盡スヘキ手續ニ付キ一言センニ凡ソ手形郵送中ニ紛失セルモ驛遞官ニ對シテ訴權ナシ何トナレハ驛遞官ハ其部下ノ官吏ノ過失不注意ノ責任ヲ負フモ

ノニアラサレハナリ又紛失者ハ直チニ其旨ヲ責任アル關係人ニ通知スヘキナリ  
 是レ通知ニ依テ支拂ヲナスコ當リ相當ノ注意ヲ盡スヲ得セシムルニ在リ又紛失  
 ノ旨ヲ世上ニ公告スヘシ是レ其情ヲ知ツテ割引ヲナセルモノアレハ詐偽ヲ行ヒ  
 タルノ確證トナスヲ得ヘケレハナリ公告必シモ完全ナルコ非ス又必用欠クヘカ  
 ラサルコ非ス只責任ヲ負フヘキモノ其事實ヲ知ルヲ以テ足レリトス  
 既ニ論セル如ク裏書ヲ以テ移轉スルヲ得ヘキ手形ハ偽造ニテハ所有權ヲ移轉セ  
 ス又偽造裏書ヲ以テ請求スルモノコ支拂ヲナシタル引受人ハ其義務ヲ免ルヘキ  
 コ非サルナリ

手形ヲ紛失若シテハ滅失セルモノト雖トモ満期日ニ於テハ支拂ヲ請求スヘシ又  
 拒絶ノ通知ヲナスヘキナリ何トナレハ賠償ノ契約ヲナシ或ハナサスシテ支拂ヲ  
 受ケルコトアルヘシ又以前ノ關係人ハ拒絶ノ通知ヲキニ於テハ責任アルモノコ  
 對スル救済權實行ノ期ヲ失ヘハナリ  
 原告ノ手形ヲ提出スル能ハサル場合ニ三アリ

第一 被告ノ手裏ニアルトキ

第二 手形滅失セルトキ

第三 手形紛失セルトキ

第一 手形被告ノ手裏ニ在ルトキハ原告之ニ對シテ提出ノ告知ヲナスコトヲ得  
 ヘシ而シテ被告之ヲ肯セサルトキハ原告ハ口頭ニテ其所載ノ事項ヲ證スル  
 ヲ得ヘシ

第二 手形滅失セルトキハ口頭ノ證明ヲ許シ以テ正當所有者ニ請求權ヲ與フヘ  
 シト判決シタルコトアリタリ然レトモ此原則ハ今日廢滅ニ歸シ滅失セル流  
 通手形ノ所有者ハ慣習法ニ於テハ請求權ナク又約因恢復ノ權利ナキナリ

第三 裏書或ハ引渡ノミヲ以テ流通スルヲ得ヘキ爲替手形約束手形又ハ小切手  
 ヲ紛失セルトキハ慣習法ニ於テ手形上ノ權利ナク又約因恢復ノ訴權ナキナ  
 リ

然レトモ流通セサル手形(惟受取人ノミコ支拂フヘキモノ或ハ特ニ流通ヲ制  
 限セルモノ)ニ於テハ手形上ノ權利若クハ約因恢復ノ訴權ヲ失フコトナキナ  
 リ

満期日前ニ手形ヲ紛失セルトキハ所持人ハ振出人ニ對シテ第二通ヲ請求スルヲ得ヘシ然レトモ先ツ補償ノ契約ヲナシ、ルヘカラス然ルトキハ振出人ハ其請求ニ應ズヘキモノトス又手形ニ關スル訴訟ニ於テ充分ナル補償ノ證アレハ裁判官時ニ紛失ヲ以テ答辯ノ具トナスヲ許サ、ルコトアリ  
又貸債主其手形ヲ債主ニ送附スルニ其命セル方法ヲ取リタルトキハ途中ノ紛失ハ送附ヲ受クルモノ、負擔クルヘシ

### 第二十八回

## 第五章 手形關係人間ノ救濟權 (Chapter V. Legal

*Remedies as between Parties to a Bill or Note.*)

手形關係  
人間ノ救  
濟權

本章ニ於テハ唯救濟權ノ大要ヲ述フルノミ其詳細ノ手續ニ至テハ條例ヲ參照シテ可ナルヘシ

第一 手形關係人間ノ位置ニ附隨セル救濟權ヲ舉クレハ左ノ如シ

(一) 契約ヲ完結シ完全ノ權利ヲ移轉スルニ其移轉人ノ署名、裏書、或ハ引渡ヲ要スル場合ニ於テ之ヲ拒ミタルトキハ損害ヲ要求シ損害要求適當ナラ

サレハ其義務ノ直接履行ヲ請求スルヲ得ヘシ

(二) 所持人タルノ權利アルモノ其占有ヲ奪ハレタルトキハ被害者ハ衡平法庭ニ請フテ其引受ヲ命スルノ令狀ヲ求ムルヲ得ヘシ榮譽支拂人ハ手形面ノ金額及拒絕證書調製ニ必用ナル入費ヲ支拂ヒタルトキハ所持人ヨリ手形及拒絕證書ヲ受クルノ權利アリ故ニ所持人之ヲ拒ミタルトキハ損害賠償ノ責ヲ免カル、能ハス(爲替手形條例第六十八條第六項)

(三) 不正ニ得タル手形ノ裏書流通若シハ讓渡ヲ禁スルノ令狀ヲ發スルコトアリ又正當所持人ノ手ニ販スルマテ起訴ナルヲ差留ムヘシ而シテ禁令ヲ請フモノ、權利不確定ナレハ假令狀ヲ附與シ或ハ不正ノ手形ニシテ正當所持人ニ移リテ効力ヲ生スルノ恐アルトキハ裁判所ハ之ヲ削除シ命スルコトアリ

手形ノ拒絕アリタルトキハ所持人ハ手形若シハ約因上ノ權利アリ然レトモ手形ヲ以テ起訴スルノ便ナルニ如カス其理由三アリ(一) 貸債ヲシテ確固ヲラシム(二) 許多ノ證據ヲ要セス(三) 支拂證明ノ責被告ニアリ然ルニ約因ニ依テ起訴セハ原告未

支拂ヲ受ケサルコトヲ證セサルハカラス

第二 手形上ノ訴訟ヲ論スルニ付テハ對手訴權起訴地訴訟手續訴訟ノ併合審理

證據損害訴訟入費判決執行等ニ區別セサルハカラス然レトモ皆條例ノ所定

ヲ述フルニ過キサレハ茲ニ之ヲ省畧スヘシ爲替手形條例第五十七條ニ依レ

ハ手形ノ拒絕ヨリ生スル損害ヲ以テ左ノ三項トス(一)手形面ノ金額(二)利子請

求次第支拂フヘキ手形ニ於テハ支拂呈示ノ時其他ノ場合ニ於テハ滿期日ヨ

リ(三)畧記ノ入費若シハ拒絕證書ノ必用アレハ其調製ノ入費

外國ニ於テ拒絕セラレタル手形ニ於テハ以上ノ損害ニ代ユルニ(一)戻爲替手

形(二)其支拂マテノ利子トス

### 第六章 手形ニ關スル出訴期限 (Chapter VI. Statute of Limitations)

手形ニ關スル出訴期限

出訴期限ハ必ズ訴權ヲ生シタルトキヨリ起算スルモノニシテ總テ一般ノ契約ト

異ナルコトナシ故ニ日附後定期拂ノ手形ニ於テハ滿期日ヨリ起算スルモノニシ

テ振出シタル時ニ非ス

一覽後拂ノ手形ニ於テハ支拂呈示ヲナサレハ訴權ヲ生セズ故ニ又出訴期限ヲ

起算スルコトナシ一覽後定期拂ノ手形ニ於テハ手形ノ呈示ヲナシテ支拂期限ヲ

定ムル者ナレハ其期限ノ經過スルニ非レハ出訴期限ヲ起算セズ

一覽拂若シハ請求次第支拂フヘキ手形ニ於テハ一覽或ハ請求ハ決シテ先期條件

ヲ爲スニ非ズ即時ニ支拂フヘキモノナルノ意ナリ故ニ請求次第支拂フヘキ手形

ハ特ニ訴權ヲ停止猶豫スルノ書類ナクレハ出訴期限ハ證書ノ日附ヨリ起算スル

モノニシテ請求ノ期ヨリ起算スルニ非ズ

請求後定期拂ノ約束手形ハ一覽後拂ノ約束手形ト同シ即チ請求及期限ノ經過ハ

先期條件ヲ爲スモノニシテ滿期日ヨリ出訴期限ヲ計算スルナリ又通知後十二ケ

月拂ノ爲替手形ニ於テハ通知及其後十二ケ月ノ經過スルニ非サレハ出訴期限ヲ

計算セズ

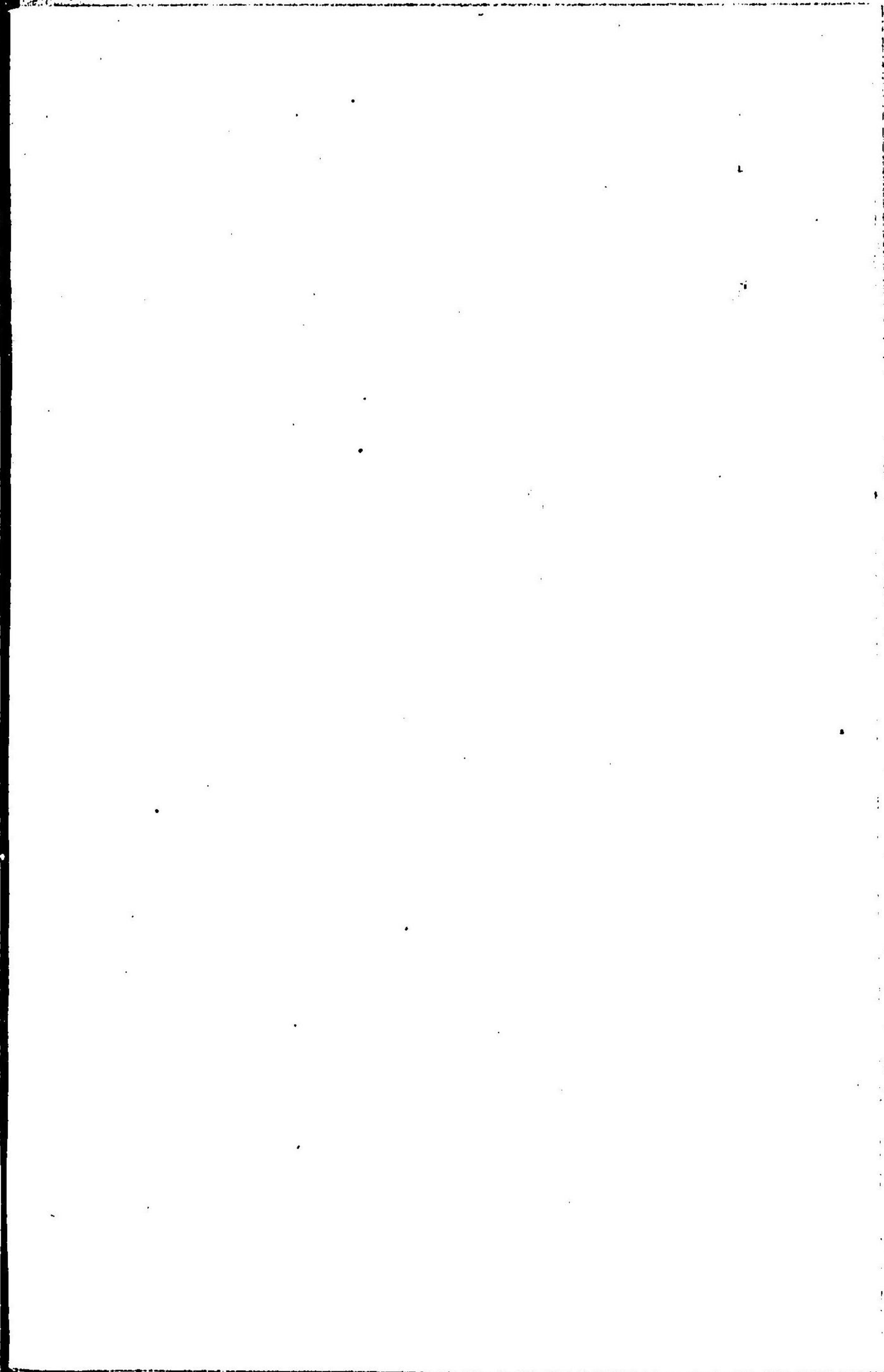
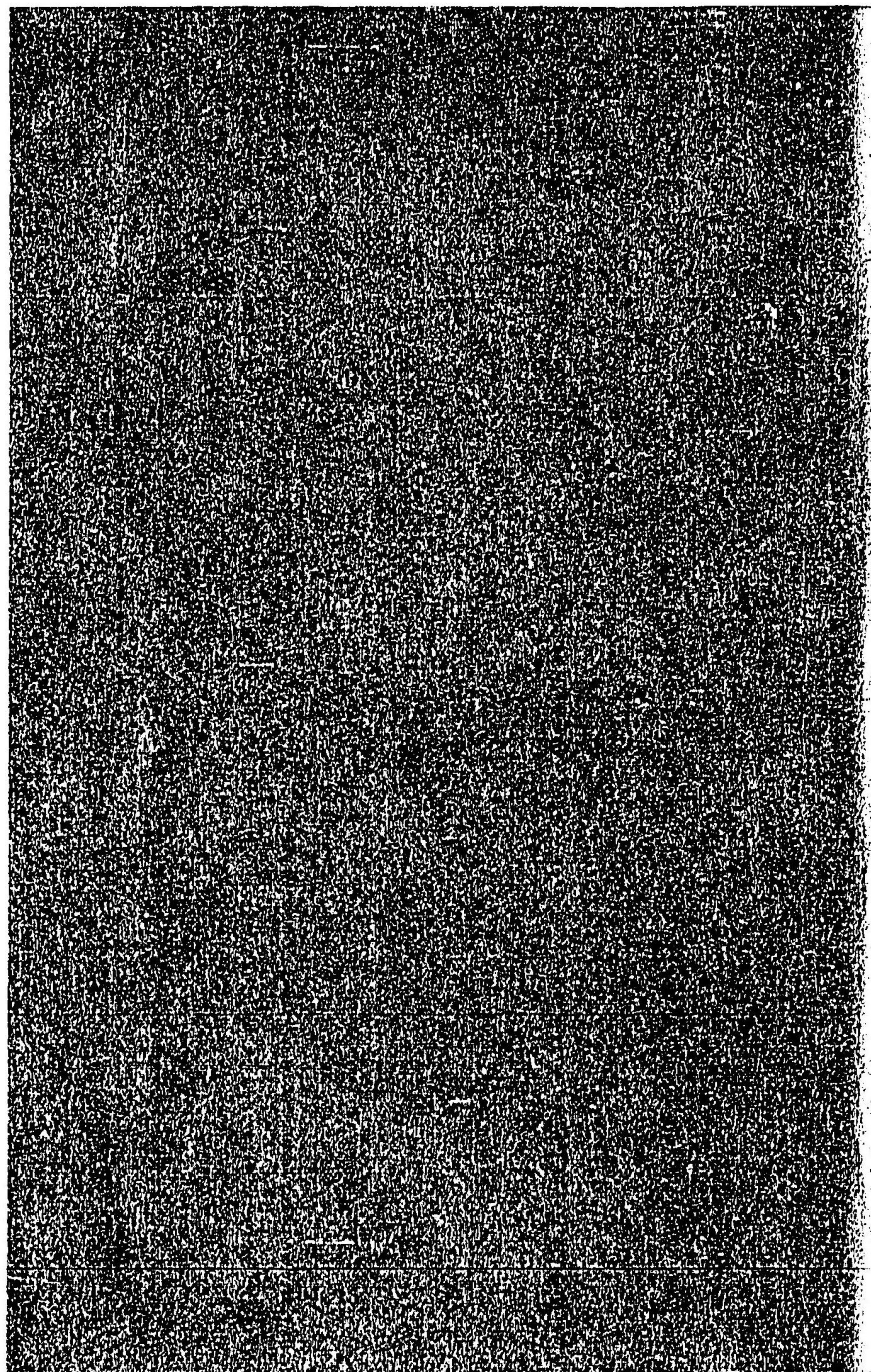
融通引受人ノ訴權ハ實際ノ支拂ヲ爲シタルトキニ在リ故ニ補償ヲ得ルノ權利ニ

關スル出訴期限モ亦此期ヨリ起算スルナリ

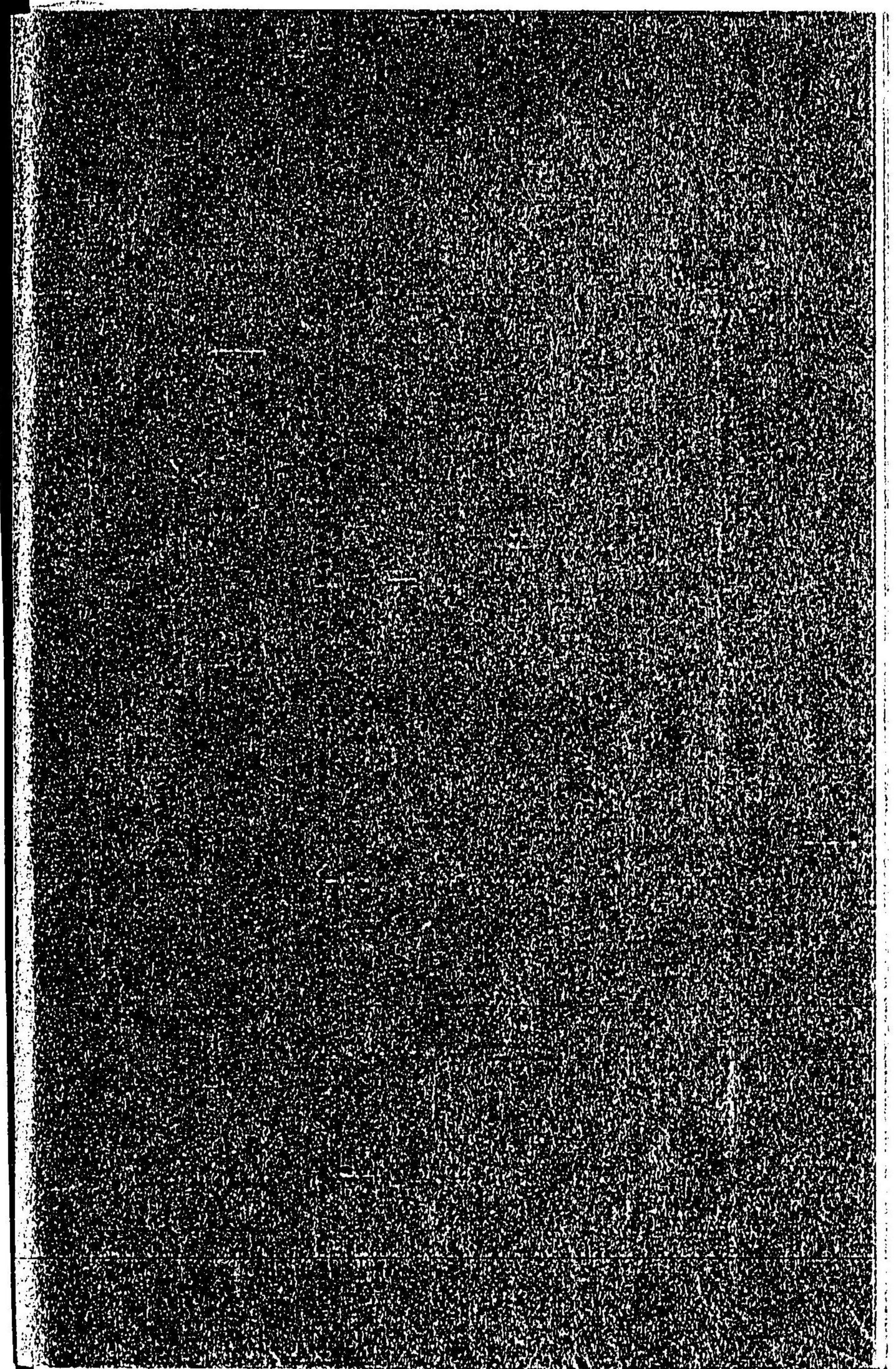
又引受ノ拒絕アリタル後更ニ支拂ノ拒絕アリタルトキハ出訴期限ハ引受ノ拒絕

アリタル時ヨリ計算スルナリ  
此他細則ナキヨ非スト雖トモ皆爲替字形條例或ハ例産條例ノ規定ニシテ茲ニ之  
ヲ説明スルノ價值ナキヲ以テ之ヲ省略ス

流通證書法(完結)







035461-000-8

14-5248

流通証書法

岡野 敬二郎 / 述

M24

BBO-0661

